LP-2500

ユーザーズガイド

プリンタドライバの機能説明やプリンタの操作方法、各種トラブルの解決方法について記載しています。

NPD0158-00

EPSON ESC/Page はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、Power Macintosh、AppleTalk、EtherTalk、Mac OS、TrueType は Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Arial and Times New Roman are trademarks of The Monotype Corporation and may be registered in certain jurisdictions.
Wingdings is a trademark of Microsoft Corporation and may be registered in certain jurisdictions.
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

© セイコーエプソン株式会社　2003

もくじ

Windows をお使いの方へ

Mac OS（8.6-9.x）をお使いの方へ

Mac OS X（10.2.x）をお使いの方へ

使用可能な用紙と給紙方法

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参 考 補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *1 用語の説明を記載していることを示しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows XP の画面を使用しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 95」、「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows NT4.0」、「Windows 2000」、「Windows XP」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS/Macintosh の表記について

Apple® Mac OS® バージョン 8.6 〜 9.2.2
Apple® Mac OS® X バージョン 10.2 およびそのアップデート版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS 8/9」、「Mac OS X」と表記しています。また、システム条件を表すために「Mac OS 8.6-9.x」、「Mac OS X 10.2 以降」のように省略したバージョンを表記することがあります。なお、これらの OS を総称する場合や Macintosh のハードウェア自体を表す場合は、「Macintosh」と表記します。

Windows をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

印刷を始める前に

「セットアップガイド」の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。また、プリンタ接続先の設定は正しいですか。ご利用の接続方法によって、設定が異なります。以下の説明をお読みください。

パラレルケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータをパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」の説明に従って EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。

本書 14 ページ「印刷の手順」

USB ケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、「セットアップガイド」の説明に従って EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアを正しくインストールしていれば問題なく印刷を始めていただけます。

本書 14 ページ「印刷の手順」

万一印刷できない場合は、以下のページを参照してください。

本書 372 ページ「USB 接続時のトラブル」

ネットワークケーブルで接続している場合

オプションのインターフェイスカードを介してプリンタをネットワークに接続している場合は、「セットアップガイド」の説明に従って EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアをインストールしても、接続先の設定を正しく行わないと印刷できません。接続先が正しければそのまま印刷を始めていただけますが、印刷できない場合は以下のページを参照してプリンタの接続先を変更してください。

本書 96 ページ「プリンタ接続先の変更」

接続先が正しく設定されていれば、問題なく印刷を始めていただけます。

本書 14 ページ「印刷の手順」

参考

ネットワーク上のプリンタを共有する場合は、以下のページを参照してください。

本書 73 ページ「プリンタを共有するには」

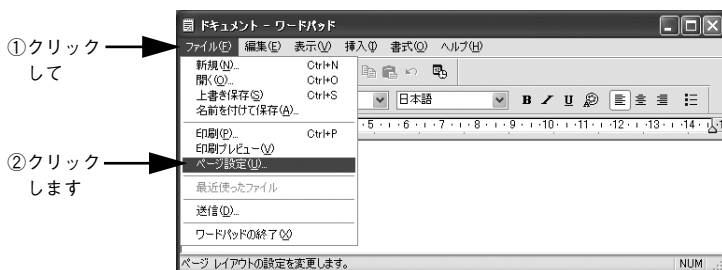
印刷の手順

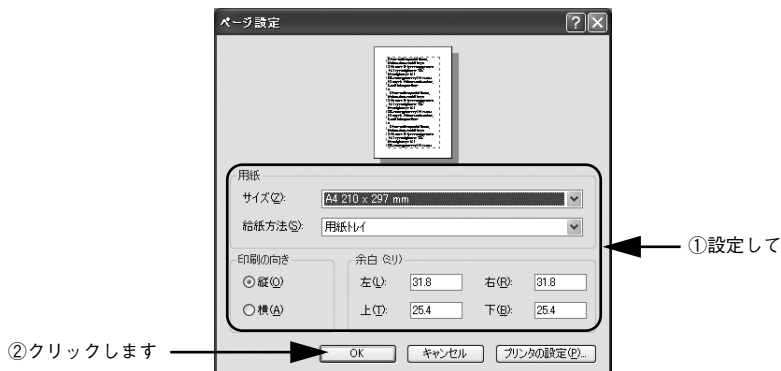
ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」を例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

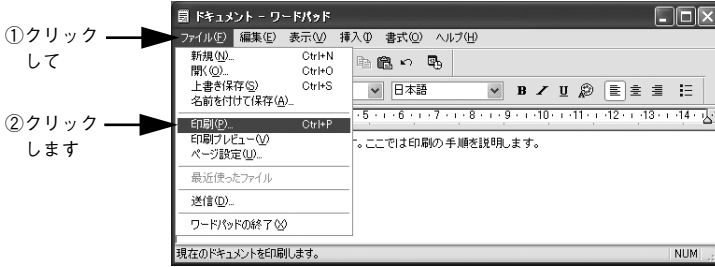
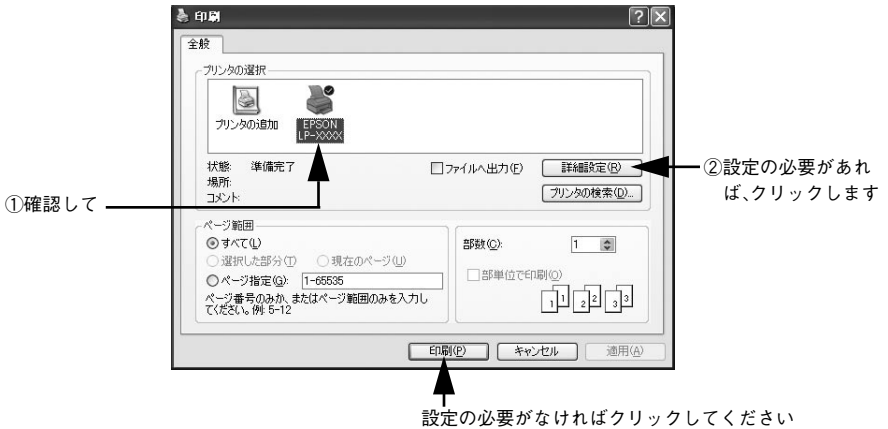
1 ［ワードパッド］を起動します。

- Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして［ワードパッド］を起動し、5 に進みます。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

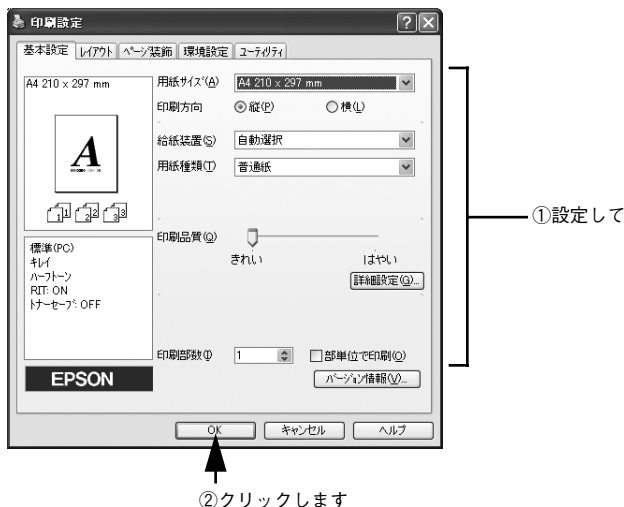
このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

3 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、［OK］ボタンをクリックします。

余白の最小値は、本機の印刷可能領域である上下左右 5mm まで設定することができます。

4 印刷するファイルを作成します。

5 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

6 LP-2500が選択されていることを確認します。プリンタドライバの設定を確認または変更する場合は、［詳細設定］（Windows XP 以外の場合は［プロパティ］）をクリックします。プリンタドライバの設定を確認しない場合は、［印刷］または［OK］ボタンをクリックし、印刷を開始します。

参考　Windows 2000の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

7 **各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。**

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞ 本書 21 ページ「［基本設定］ダイアログ」

参考 ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

8 **［印刷］または［OK］ボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られて印刷が始まります。

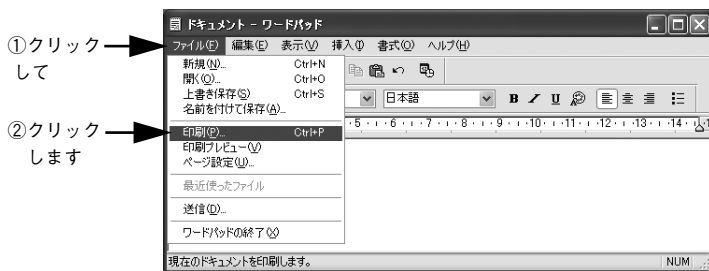
以上で印刷の操作は終了です。

設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。以下 Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。

2 プリンタ名にEPSON LP-2500が選択されていることを確認して［詳細設定］(Windows XP 以外の場合は［プロパティ］）ボタンをクリックします。

参考	Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

[スタート] メニューから開く

Windows の [スタート] メニューから開くことができる [プリンタと FAX] (Windows XP 以外の場合は [プリンタ]) フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

参考 [プリンタと FAX] / [プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

[プリンタと FAX] / [プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。以下代表的な手順を説明します。

1 Windows の [スタート] メニューから [プリンタとFAX] / [プリンタ] を開きます。

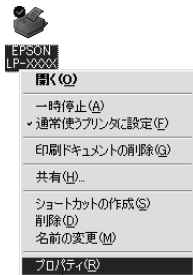
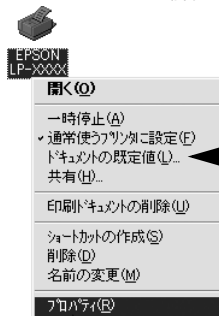
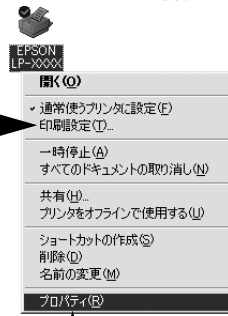
- **Windows XP の場合**

① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、❷ へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタと FAX] をクリックします。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

[スタート] ボタンをクリックして [設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

2 **LP-2500のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。**

Windows 2000/XPの場合は［印刷設定］または［プロパティ］で、Windows NT4.0の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

参考

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows NT4.0/2000/XPで［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。
- Windows NT4.0で［ドキュメントの既定値］を設定するにはPower Users以上の権限が、Winodws 2000/XPで［印刷設定］を設定するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

<例> Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行います。

☞ 本書 21 ページ「[基本設定] ダイアログ」

②レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷や割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行います。

☞ 本書 29 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

③ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したり、日付やユーザー名を入れて印刷します。

☞ 本書 34 ページ「[ページ装飾] ダイアログ」

④プリンタの環境設定

プリンタに装着したオプションを認識させたり、プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

☞ 本書 44 ページ「[環境設定] ダイアログ」

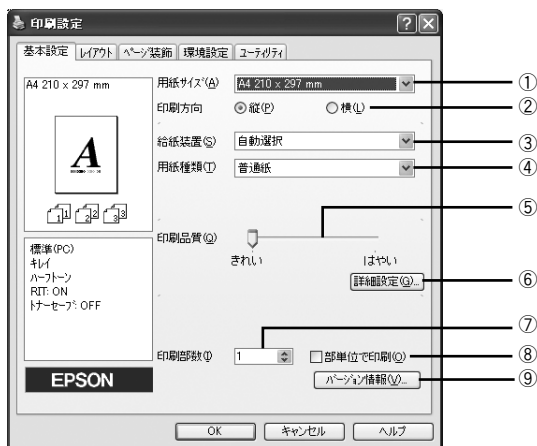
⑤ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

☞ 本書 58 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例> Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。

参考

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合は、OS が独自にサポートしている用紙サイズも合わせて表示します。
  本書 233 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートしていない大きい用紙サイズ（A4、Letter を超えるサイズ）を選択した場合、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：
［用紙サイズ］リストにない用紙サイズを、［ユーザー定義サイズ］として設定できます。設定できるサイズは以下の通りです。
用紙幅：76.2 ～ 216.0mm（3.00 ～ 8.50 インチ）
用紙長：127.0 ～ 355.6mm（5.00 ～ 14.00 インチ）
本書 27 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

②印刷方向
印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかをクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせてください。

③給紙装置
給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］と［用紙種類］の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイまたは手差しガイドから給紙する場合に選択します。
用紙カセット	オプションの用紙カセットから給紙する場合に選択します。

参考

- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラーが発生します（用紙サイズチェック機能有効時）。なお、［用紙サイズのチェックをしない］を有効 / 無効に設定するには、［拡張設定］ダイアログで行います。
  本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 29 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

④用紙種類

特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。

☞ 本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は［自動選択］に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙（大）、厚紙（小）	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］は［用紙トレイ］に設定されます。厚紙の場合は、使用する用紙サイズによって設定は以下のように異なります。 • 厚紙（大）： 用紙の横幅が 133mm 以上（A5、B5、A4、Half-Letter など）の厚紙を使用する場合に選択します。 • 厚紙（小）： 用紙の横幅が 133mm 未満の厚紙を使用する場合に選択します。
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。

参考

- ［プリンタ設定］ダイアログで用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  ☞ 本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑤印刷品質

印刷品質（解像度）は、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。

なお、解像度 1200dpi でよりきれいに印刷する場合は、［詳細設定］ダイアログで設定します。

☞ 本書 25 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑥［詳細設定］ボタン

グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブを設定するには、［詳細設定］ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログを開きます。

本書 25 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑦印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を設定します。

⑧部単位で印刷

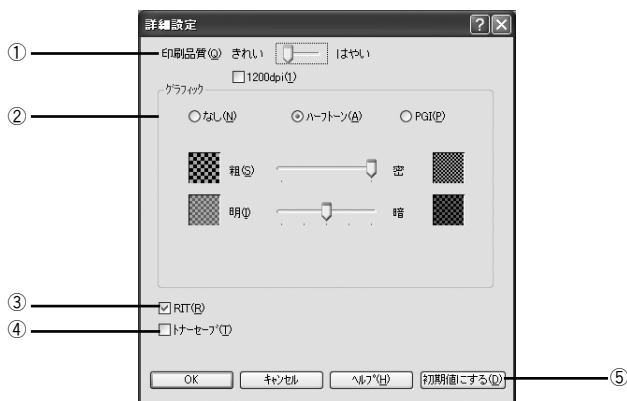
2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。

> **参考**
> アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位で印刷］で設定してください。

⑨［バージョン情報］ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。印刷条件の詳細な設定ができます。

① 印刷品質

印刷品質を［はやい］（300dpi）、［きれい］（600dpi）、［1200dpi］のいずれかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。
1200dpi	［きれい］の 2 倍の解像度でさらにきれいに印刷できます。ただし、プリンタはより多くのメモリを必要とします。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。

②グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

項目	説明
なし	グラフィックの印刷処理を行いません。グレイスケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI*1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。ただし、[印刷品質] を [1200dpi] に設定した場合は、PGI 処理を使用する必要がないので設定できません。

*1　PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

参考

- プリンタのメモリが少ないと、[PGI] で印刷できない場合があります。[PGI] 処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300dpi) に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI] を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は [PGI] 以外の設定にして印刷してください。

粗密：

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。[密] 側にスライドするとより細かく、[粗] 側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗：

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明] 側にスライドするとより明るく、[暗] 側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

③RIT

RIT*1 (Resolution Improvement Technology) を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。ただし、[印刷品質] を [1200dpi] に設定した場合は、RIT 処理を使用する必要がないので設定できません。

*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。

参考

RIT 機能を有効にしてグラデーション (無段階に階調が変化する画像) を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

④トナーセーブ

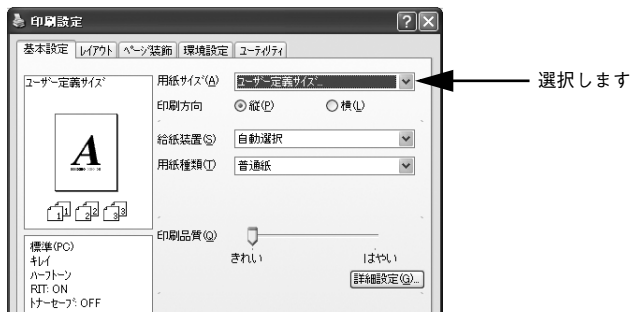
印刷濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

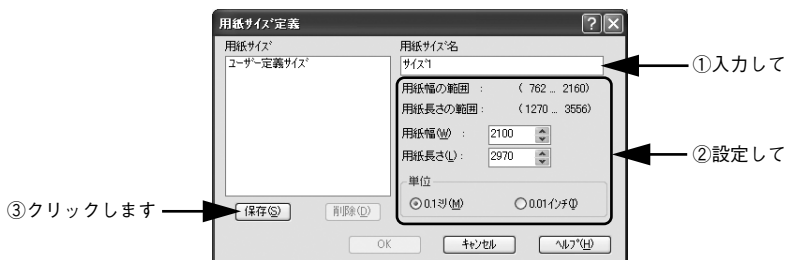
⑤[初期値にする] ボタン

[詳細設定] ダイアログの設定を初期値に戻します。

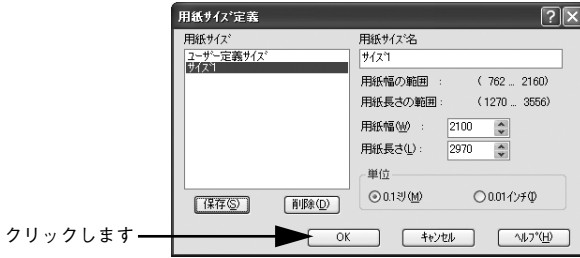
任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから［保存］ボタンをクリックします。**

- 数値の単位は、［0.1ミリ］または［0.01インチ］のどちらかを選択します。
- 設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
  用紙幅：76.2～216.0mm（3.00～8.50インチ）
  用紙長：127.0～355.6mm（5.00～14.00インチ）

参考

- 用紙サイズは20件まで登録することができます。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

参考	不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。 本書 250 ページ「不定形紙への印刷」

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 30 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

②割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け設定］ボタンをクリックします。

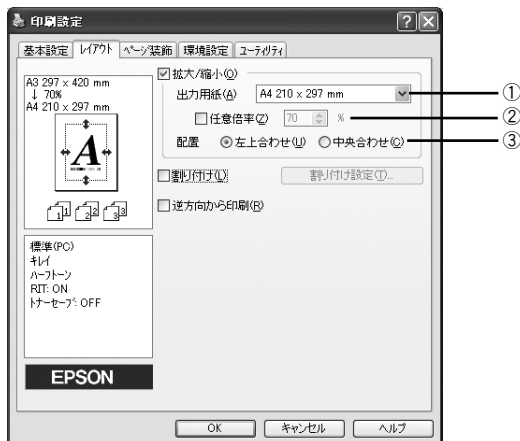
☞ 本書 32 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

③逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズの原稿を、指定したサイズに拡大または縮小して印刷します。

<例>Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①出力用紙

［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズを、ここで指定した用紙サイズに拡大または縮小して印刷します。なお、縮小拡大率は、画面の左側に表示されます。

②任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

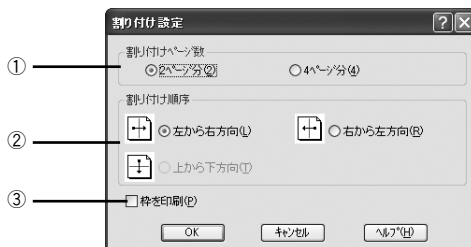
1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。**

3. **［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。**

4. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

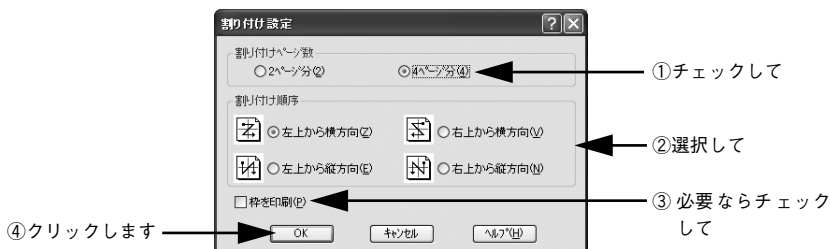
③枠を印刷

割り付けたページの周りに枠線を印刷するときにチェックマークを付けます。

割り付け印刷の手順

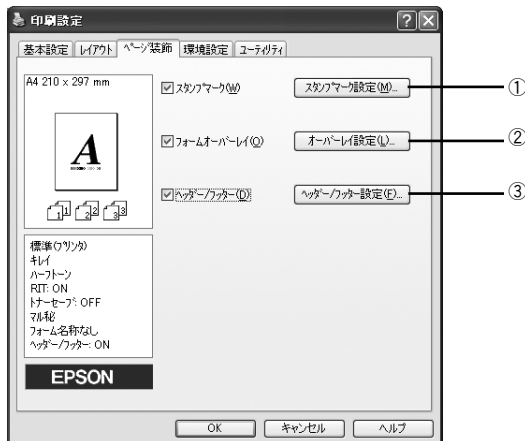
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いてから［割り付け設定］ダイアログを開きます。

2 ［割り付けページ数］の［4 ページ分］をクリックしてから、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定します。

3 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、フォームオーバーレイ印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 37 ページ「スタンプマークを印刷するには」

②フォームオーバーレイ

フォームデータを重ね合わせて印刷します。

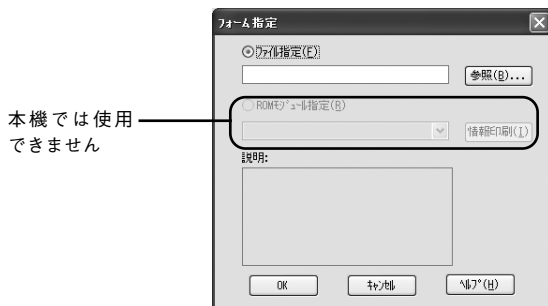
参考

- フォームオーバーレイとは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能のことです。この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票などを用意する必要がなくなり、また、フォームの変更などに迅速に対応することができるようになります。
- 本ドライバにはフォームデータは添付されておりません。フォームデータを作成・編集するには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ EPSON Form!4 が必要です（オーバーレイユーティリティをインストールすると、［オーバーレイ設定］ダイアログの機能が拡張されます）。詳細はフォームオーバーレイユーティリティに添付の取扱説明書を参照してください。
☞ 本書 282 ページ「フォームオーバーレイユーティリティソフト」
- ［拡張設定］ダイアログの［印刷モード］で［標準（PC)］を選択している場合は、フォームオーバーレイ印刷はできません。
☞ 本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

重ね合わせるフォームデータを選択するには、［オーバーレイ設定］ボタンをクリックして［オーバーレイ設定］ダイアログを開きます。

［フォーム］リスト：
フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示されません。

［詳細］ボタン：

- ［フォーム］リストでフォーム名を選択して［詳細］ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。
- ［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して［詳細］ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!4）で作成したフォームファイルを指定できます。

ファイル指定：
コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。［参照］ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。

③ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、[ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

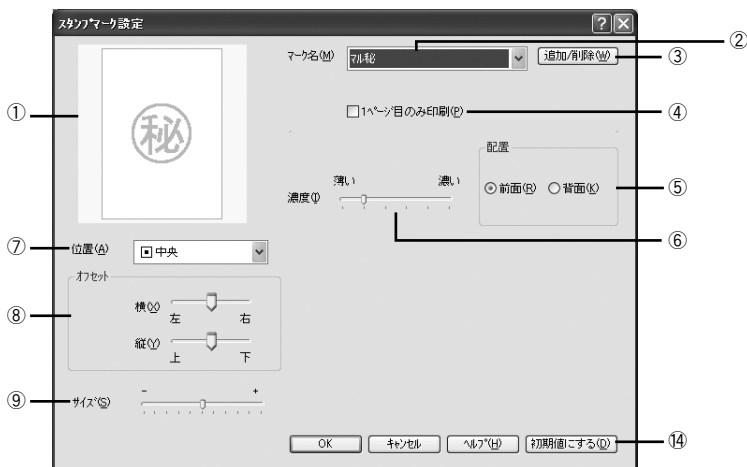
[ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号 *）を選択して、[OK］ボタンをクリックします。

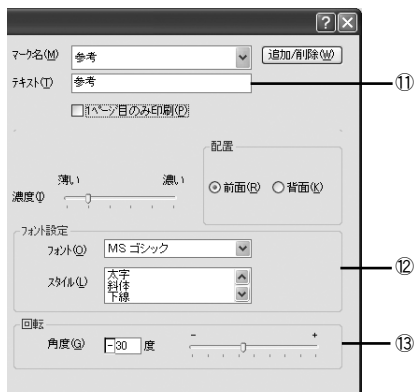
* ［部番号］が選択されると、プリンタドライバによる部単位印刷が行われ、印刷部数に応じた番号が部単位に印刷されます。

参考

Windows NT4.0/2000/XP では、[動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の設定によって［ヘッダー/ フッター］の設定が変更できなくなります。
☞本書 56 ページ「[動作環境設定］ダイアログ」

スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ダイアログが開きます。

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP* 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

* BMP：画像データを保存する際のファイル形式の 1 つ。

本書 40 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④ 1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。この項目が選択されていない場合は、すべてのページにスタンプマークが印刷されます。

⑤ 配置

スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合がありますので、注意してください。

⑥ 濃度

スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦ 位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧ オフセット

スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

⑨ サイズ

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

参考	［位置］、［オフセット］、［サイズ］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑩ ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）

登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪ テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）

登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 / 削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫ フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）

登録したテキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬ 回転（登録したテキストマーク選択時のみ）

登録したテキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

⑭［初期値にする］ボタン

［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

2. 印刷したいスタンプマークを選択して、各項目を設定します。

3. ［OK］ボタンをクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

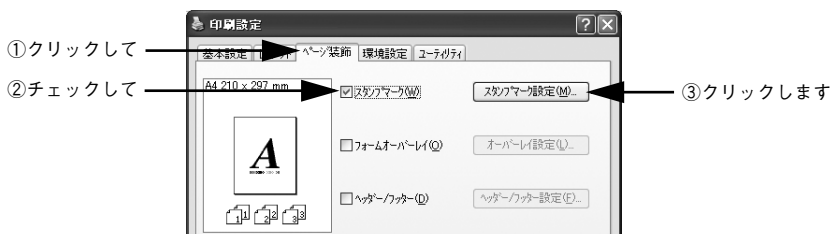
オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

参 考

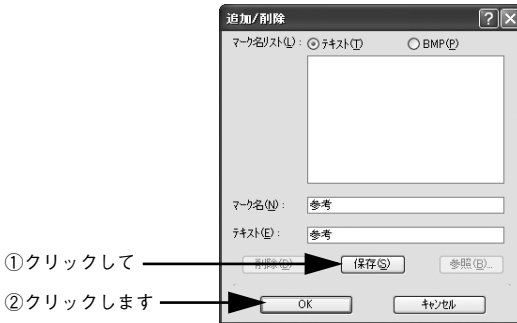
- オリジナルスタンプマークは 10 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1 ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

2 ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

参考　直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

4 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

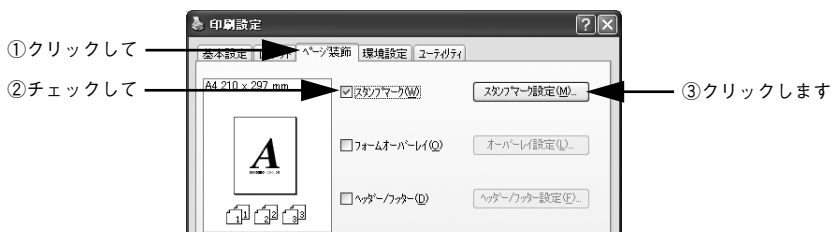
参考　登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを、［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

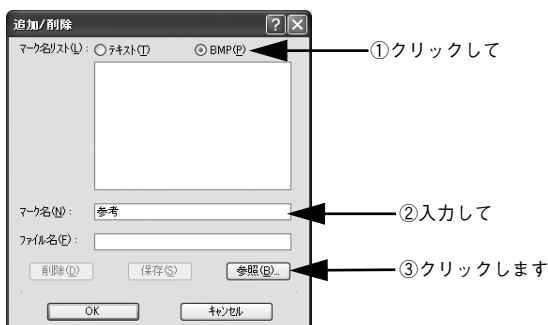
5 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

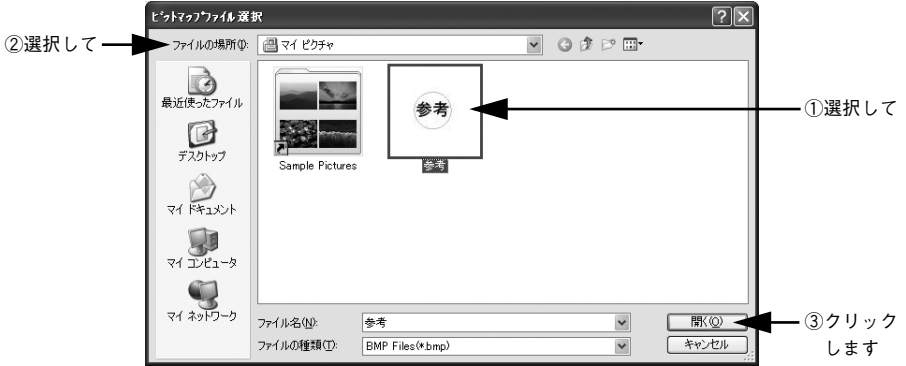
画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトを使ってスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

3. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。

5 ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［開く］（OS によっては［OK］）ボタンをクリックします。

<例>［マイピクチャ］フォルダ内の「参考.bmp」ファイルを選択している場合

6 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

> **参考**
> 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを、［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

7 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や機種または開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
プリンタ（オプション情報）	○	−	−	○	△
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
プリンタ設定	○	−	−	○	△
拡張設定	○	○	○	−	−
動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
プリンタ（オプション情報）	−	−	−
ステータスシート印刷	○	○	○
プリンタ設定	−	−	−
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
− :非表示（選択・設定できません）

参考

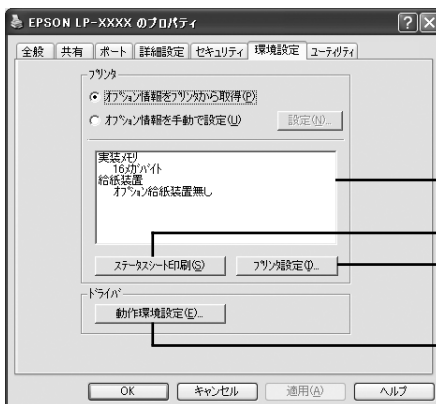
オプションの設定は、［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して［環境設定］ダイアログを開かないと設定できません。また、Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更できます。［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。
本書 17 ページ「設定画面の開き方」

以下に代表的な画面を掲載して、項目の説明をします。

Windows 95/98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

Windows NT4.0/2000/XP

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

項目	説明
オプション情報をプリンタから取得	EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプション情報を取得することができます。
オプション情報を手動で設定	［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書 47 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

参考

- オプションの設定方法については以下のページを参照してください。
  本書 294 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」
- アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［プリンタ設定］ボタン

クリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。

本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

④［拡張設定］ボタン

印刷モード、TrueType フォントの置き換え、印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズチェック、高速グラフィックなどの設定を行うときにクリックします。

本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑤［動作環境設定］ボタン

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開くと、［動作環境設定］ボタンがあります。クリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

本書 56 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

参考

お使いの OS やダイアログの開き方、また管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。

本書 44 ページ「［環境設定］ダイアログ」

参考

設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

標準メモリ（16MB）と増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。

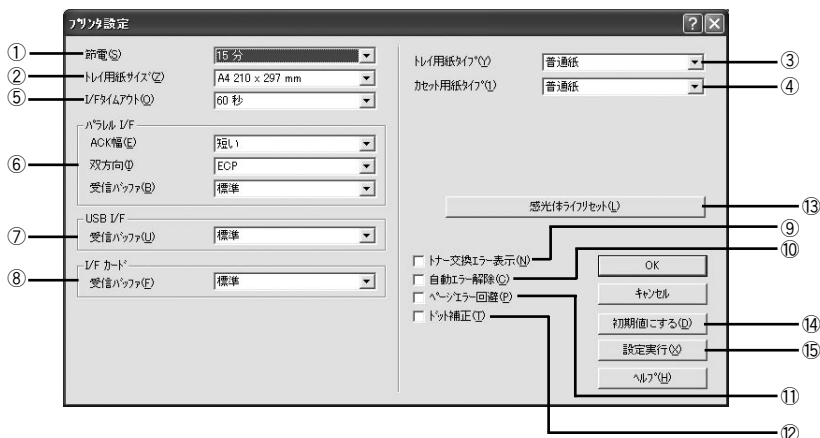
②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再クリックします。

［プリンタ設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダ内の本機のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。［環境設定］ダイアログを開き、［プリンタ設定］ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

参考	お使いの OS やダイアログの開き方､また管理者権限の有無によって､設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。 本書 44 ページ「［環境設定］ダイアログ」

①節電

節電状態に入るまでの時間 *（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 15 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

* オフ（節電しない）の設定はできません。

②トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

参考	［基本設定］ダイアログで設定した［ユーザー定義サイズ］は選択できません。 本書 27 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

③トレイ用紙タイプ

用紙トレイにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHPシート、ラベル）を設定します。

- 印刷時に設定する［基本設定］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションの増設 1 段カセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［基本設定］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。

本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

④カセット用紙タイプ

オプションの増設 1 段カセットユニットにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき）を設定します。

- 印刷時に設定する［基本設定］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションの増設 1 段カセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［基本設定］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。

本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

参考

［カセット用紙タイプ］は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着して利用できる場合のみ設定できます（設定できない場合は、表示されません）。

本書 44 ページ「［環境設定］ダイアログ」

⑤I/F タイムアウト

インターフェイスを自動切り替えするときのタイムアウト時間を、20～600 秒の範囲で 10 秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。

⑥パラレル I/F

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

ACK 幅：

パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。

設定値	説明
短い（初期設定）	約 1μS に設定します。
標準	約 10μS に設定します。

双方向：
パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。

設定値	説明
ECP（初期設定）	双方向通信について、ECP モードに対応します。
OFF	双方向通信を行いません。
ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。

参考
- ［ニブル］と［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
- ［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。

受信バッファ：
パラレルインターフェイスの受信バッファを設定します。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑦USB I/F：受信バッファ
USB インターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑧I/F カード：受信バッファ
本機に装着したオプションのインターフェイスカードの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってから電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑨トナー交換エラー表示
ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

設定値	説明
チェックなしーオフ（初期設定）	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。
チェックありーオン	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑩自動エラー解除

一部のエラー（ページエラーオーバーラン、用紙交換、メモリオーバー）が発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。

設定値	説明
チェックなしーオフ（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、［印刷可］スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
チェックありーオン	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

⑪ページエラー回避

複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。

設定値	説明
チェックなしーオフ（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
チェックありーオン	ページエラー回避機能を使用します。

参考

- ページエラー回避機能を使用すると場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常はオフに設定し、ページエラーが発生するときだけオンに設定してください。
- ［ページエラー回避］をオンにすると、メモリ不足によるメモリオーバーエラーも回避できる場合があります。なお、オンにしてもメモリオーバーエラーが発生した場合は、メモリを増設してください（使用する［受信バッファ］の設定を［最小］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

⑫ドット補正

1200dpi 印刷時に極細線（1 ドット相当の細い線）がとぎれて印刷されてしまうときにドット補正を行ってください。

設定値	説明
チェックなしーオフ（初期設定）	ドット補正を行いません。
チェックありーオン	ドット補正を行います。

参考

［印刷モード］が［標準（PC）］のときは有効になりません。

⑬［感光体ライフリセット］ボタン

［感光体ライフリセット］ダイアログが表示されます。感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットする場合は［OK］ボタンをクリックします。

参考	新しい感光体ユニットと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は感光体ライフを正しく表示できなくなります。

⑭［初期値にする］ボタン

［プリンタ設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

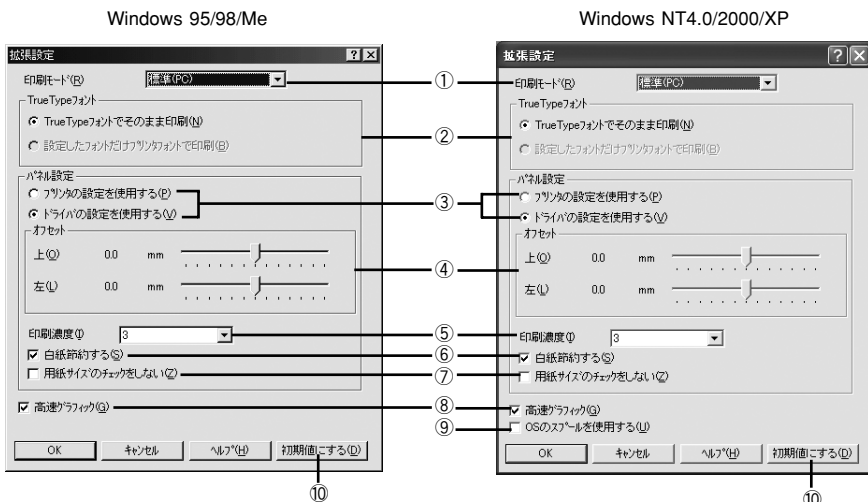
⑮［設定実行］ボタン

［プリンタ設定］ダイアログの設定を変更した場合に、設定した内容を有効にします。

参考	設定を変更しただけでは有効になりません。設定を有効にするには、［設定実行］ボタンをクリックしてから［OK］ボタンをクリックして［プリンタ設定］ダイアログを閉じてください。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。

> **参考**
> お使いの OS やダイアログの開き方、また管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
> 本書 44 ページ「［環境設定］ダイアログ」

①印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
標準（PC）	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。［標準（PC）］を選択している場合は、フォントの置換はできません。
標準（プリンタ）	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。

> **参考**
> - お使いのコンピュータの処理能力が高い場合は［標準（PC）］を選択してください。プリンタ側の負荷を軽くすることができます。
> - お使いのコンピュータの処理能力が低い場合は［標準（プリンタ）］を選択してください。コンピュータ側の負荷を軽くすることができます。

②TrueType フォント

TrueType フォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

項目	説明
TrueType フォントでそのまま印刷	TrueType フォントをそのまま印刷します。
設定したフォントだけプリンタフォントで印刷	TrueType フォントを、プリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。

参考 ［印刷モード］が［標準（PC）］の場合、フォントの置き換えはできません。

③プリンタの設定を使用する / ドライバの設定を使用する

以下の④［オフセット］、⑤［印刷濃度］、⑥［白紙節約する］、⑦［用紙サイズのチェックをしない］は、プリンタ本体とプリンタドライバのどちらの設定を優先するかをクリックして選択できます。

項目	説明
プリンタの設定を使用する	プリンタ本体の設定を優先します（プリンタドライバでは設定できません）。
ドライバの設定を使用する	プリンタドライバでの設定を優先します（プリンタ本体の設定を無視します）。

④オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）

左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

⑤印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

参考

- ［印刷濃度］の調整は、主にグラフィックに有効です。
- ［印刷濃度］を設定しても思った通りの印刷結果にならない場合は、［明暗］を調整することにより改善される場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
  本書 25 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑥白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑦用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑧高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷する機能です。

参 考	グラフィックが正常に印刷されなかった場合はチェックボックスのチェックを外してください。

⑨OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000/XP）

チェックマークを付けると、OS のスプール機能を使用します。

参 考	アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になったり、印刷に要する時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。このような場合は、チェックマークを外してお使いください。

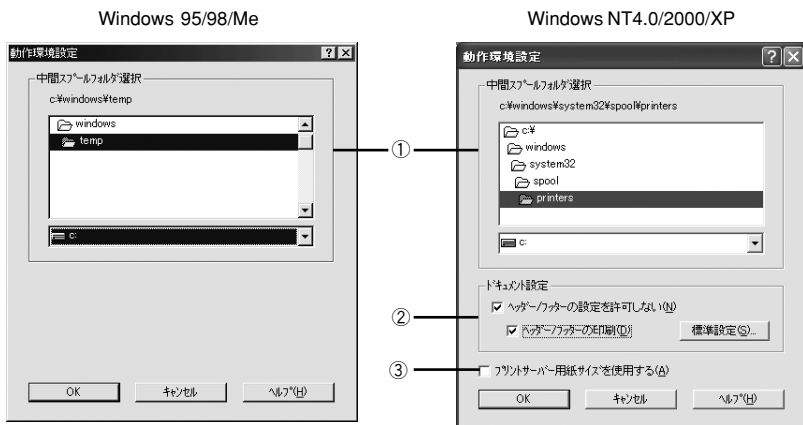
⑩［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

> **参考**
> お使いの OS やダイアログの開き方、また管理者権限の有無によって、設定できない場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
> 本書 44 ページ「［環境設定］ダイアログ」

Windows 95/98/Me

① 中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定を変更する必要はありません。

> **参考**
> - Windows NT4.0/2000/XP で中間スプールフォルダを選択する場合は、すべての権限において選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定が「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
> - 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000/XP）

［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］と［ヘッダー / フッターの印刷］両方をチェックして［標準設定］ボタンをクリックすると、ヘッダー / フッターをここで設定できます。

［ページ装飾］ダイアログのヘッダー / フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

本書 34 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」

	［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	［ヘッダー / フッターの印刷］	
		チェックなし	チェックあり
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー/ フッター］チェックボックスはチェックなしのままで、設定は変更できません。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー/ フッター］チェックボックスはチェックありのままで、設定は変更できません。
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタン	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックしてヘッダー/ フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー/ フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー/ フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー/ フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。

参考

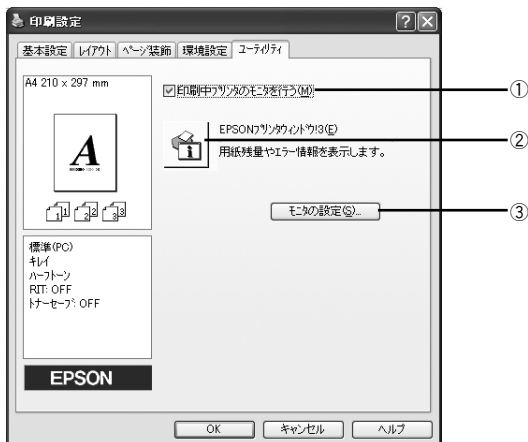
- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）しか設定できません。ヘッダー/ フッター印刷を管理する必要がある場合はここで設定してください。

③プリントサーバ用紙サイズを使用する（Windows NT4.0/2000/XP）

チェックマークを付けると、プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙サイズの他に、OS に登録されている独自の用紙サイズを使用可能にします。追加された用紙サイズは、［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストに合わせて表示されます。

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ !3 に関わる設定を行います。

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

①印刷中プリンタのモニタを行う

チェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

参考

- Windows NT4.0/2000/XP で、［プリンタ］フォルダ（XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。
- NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷時、または 16 進ダンプモード時には［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してください。

②EPSON プリンタウィンドウ !3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできる EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動します。

本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

③［モニタの設定］ボタン

EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定する場合にクリックします。

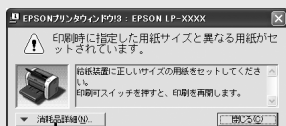
本書 62 ページ「モニタの設定」

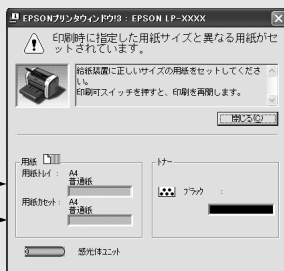
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

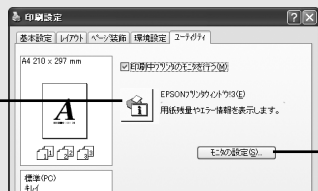
EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

プリンタエラーを表示します

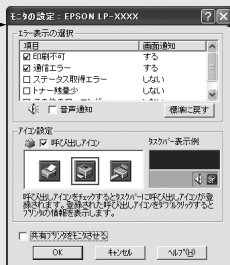
ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

- ［ユーティリティ］ダイアログから
- タスクバーの呼び出しアイコンから

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、次の接続形態において使用できます。
- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ
- NetWare 共有プリンタ

参考	NetBEUI を使用した直接印刷、IPP 印刷、Novell NDPS 印刷の場合はモニタすることができません。

また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下のネットワーク形態で接続されている必要があります。
- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP 接続
- Windows NT4.0 での LPR 接続
（ネットワークプリンタを Windows クライアントから利用する場合）
- Windows 2000/XP での TCP/IP または LPR 接続
（ネットワークプリンタを Windows クライアントから利用する場合）

参考
- Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。
- NetWare および NetBEUI、EpsonNet Internet Print を利用してネットワーク印刷を行う場合、ジョブ管理機能は使用できません。
- Windows NT4.0 での LPR 接続、または、Windows 2000/XP での TCP/IP あるいは LPR 接続の共有プリンタを、Windows NT4.0/2000/XP クライアントから利用する際に、クライアントへのログオンユーザーとサーバへの接続ユーザーが異なる場合、ジョブ管理機能は使用できません。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく上での制限事項について説明します。

- **Windows XP をご使用時の制限事項**
  Windows XP のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。
  * 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

- **Windows 95 をご使用時の制限事項**
  Windows 95 で本ユーティリティをお使いいただくには、Winsock2 および日本語ダイアルアップネットワーク 1.3（DUN1.3）がインストールされている必要があります。EPSON プリンタウィンドウ !3 は、これらのソフトウェアモジュールを使用してプリンタの情報を取得します。

- **NetWare プリンタを監視する際の制限事項**
  NetWare プリンタを監視する場合は、Novell 社が提供しているクライアントを使用する必要があります。以下のクライアントにおいて動作確認済みです（2003 年 3 月現在）。

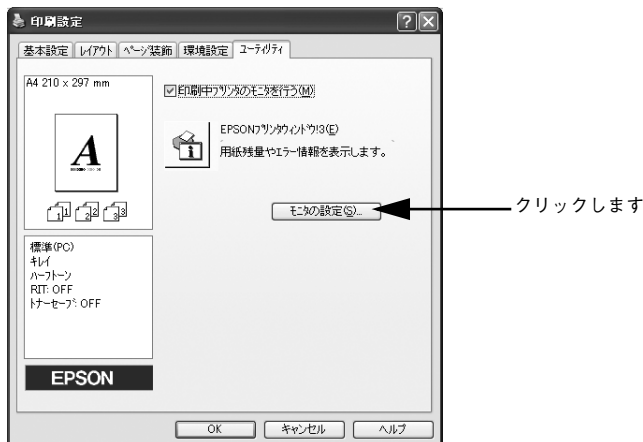
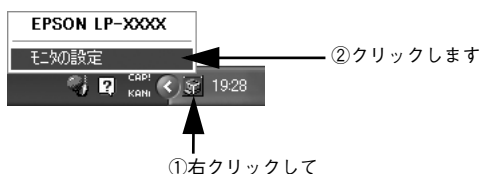
OS	クライアント
Windows NT4.0/2000/XP	Novell Client for Windows NT/2000/XP Ver. 4.83（要 SP1 適用）
Windows 95/98	Novell Client for Windows 95/98 Ver. 3.32
Windows Me	Novell Client for Windows Me Ver. 3.3

参考
EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、［モニタの設定］ボタンをクリックします。

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

［方法 2］
上記［方法 1］の［モニタの設定］から EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバーにある呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

[モニタの設定] ダイアログ

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニング（警告）を、画面通知するかどうかを選択します。チェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

参考	お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③[標準に戻す] ボタン

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

[呼び出しアイコン] をクリックしてチェックマークを付けると､EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタや好みに合わせてクリックして選択できます。

参考	タスクバーに設定したアイコンをマウスで右クリックすると、メニューが表示されて [モニタの設定] ダイアログを開くことができます。

⑤ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、[プリンタ詳細] ウィンドウにジョブ情報を表示します。

本書 67 ページ「[ジョブ情報] ウィンドウ」

⑥印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

本書 68 ページ「[印刷終了通知] ダイアログ」

⑦共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。
☞ 本書 73 ページ「プリンタを共有するには」

参考
ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報を表示する］と［印刷終了を通知する］が表示されます。
☞本書 60 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

☞ 本書 66 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

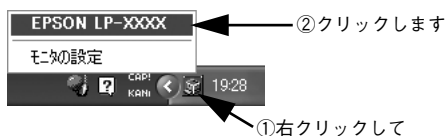
プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログを開き、[EPSON プリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。プリンタプロパティの開き方は、次のページをご覧ください。

☞ 本書 17 ページ「設定画面の開き方」

< 例 > Windows XP でアプリケーションソフトから開いた場合

［方法 2］

［方法 1］の画面にある［モニタの設定］から、EPSONプリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバー上の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

☞ 本書 62 ページ「モニタの設定」

> **参考**
>
> アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。
>
> - ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
> - エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法、または対処方法を選択するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞ 本書 68 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦消耗品

ジョブ管理ができる場合に［プリンタ詳細］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

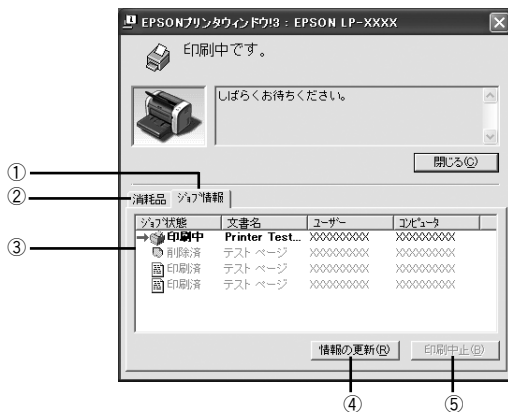
⑧ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示します。

☞ 本書 67 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

参考	ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。 ☞本書 62 ページ「モニタの設定」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリンタジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品

［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。

本書 66 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

④［情報の更新］ボタン

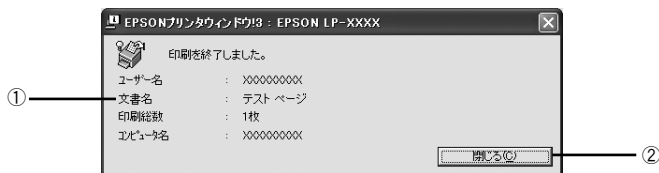
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤［印刷中止］ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

[印刷終了通知] ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 62 ページ「モニタの設定」

① 印刷終了通知

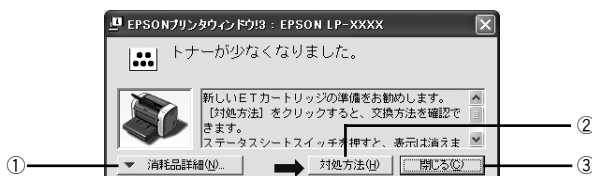
印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

② [閉じる] ボタン

ダイアログを閉じます。

参考	[ユーティリティ] ダイアログの [印刷中プリンタのモニタを行う] がチェックされていない場合は、印刷終了通知は行われません。 本書 58 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

① [消耗品詳細] ボタン

クリックすると、[プリンタ詳細] ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 66 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

② [対処方法] ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③ [閉じる] ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows 共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログ内の［モニタの設定］で［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。
- サーバ側とクライアント側で、Printer Interface モジュールの Ver.4.xxx 以上が導入されていること。Printer Interface モジュールのバージョンを確認するには、EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウを開き、タイトルバー左端にあるアイコンをクリックして［バージョン情報］をクリックします。
- Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合の注意事項
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されていること。

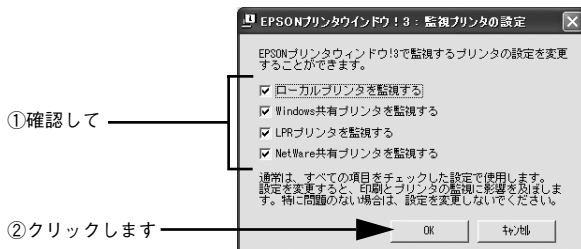
監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1 監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。

Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2 監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

［キャンセル］ボタンをクリックすると設定した内容をキャンセルします。

以上で設定は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順

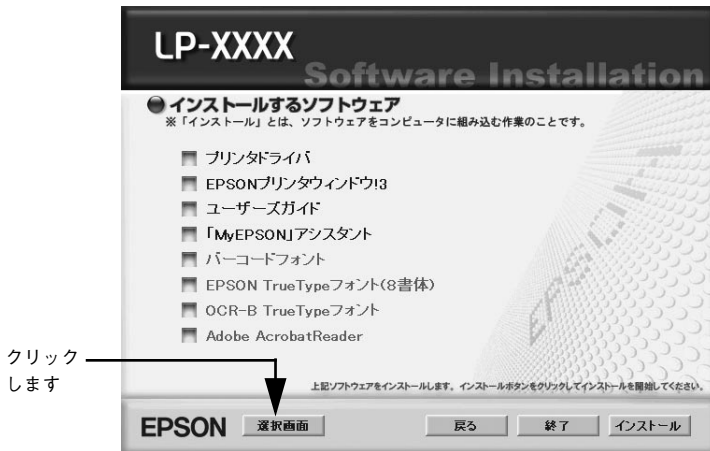
EPSON プリンタウィンドウ !3 は、通常プリンタドライバに引き続いてインストールします。EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを単独でインストールする手順は以下の通りです。

1. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
   - ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する] をクリックします。**

4 ［ソフトウェアのインストール］を選択して次に進みます。

参考	［LPT 接続時の印刷の高速化］は Windows 2000/XP の場合のみ表示されます。 本書 102 ページ「パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化（Windows NT4.0/2000/XP）」

5 ［選択画面］ボタンをクリックします。

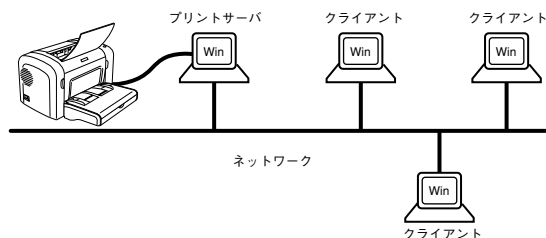
6 ［EPSON プリンタウィンドウ !3］のみをチェックして、［インストール］ボタンをクリックします。

参考 その他の項目（プリンタドライバなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

7 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

この後は画面の指示に従ってください。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリントサーバとクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。なお、プリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされているものとして説明します。

参考	・本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。 ・画面は Microsoft ネットワークの場合です。

- プリントサーバ側の設定
  本書 74 ページ「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」
  本書77 ページ「Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバの設定と代替/ 追加ドライバのインストール」
- クライアント側の設定
  本書 85 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
  本書 88 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
  本書 90 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

プリントサーバの設定

最初にプリントサーバにプリンタドライバがインストールされていることを確認してから、以下の設定を行ってください。プリンタドライバがインストールされていない場合は、「セットアップガイド」を参照して添付のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMからインストーラを起動してインストールしてください。

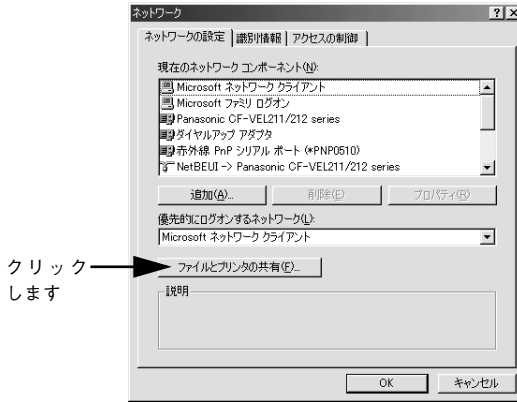
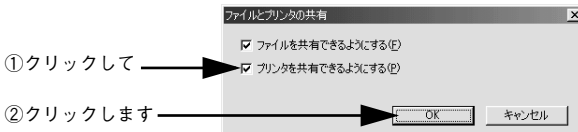
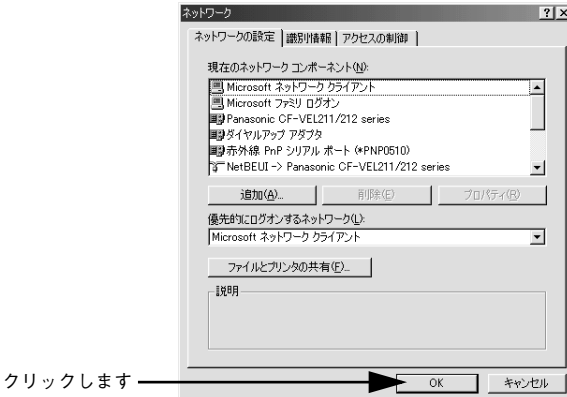
> **参考**
> EPSONプリンタウィンドウ!3を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるようにEPSONプリンタウィンドウ!3を設定してください。
> 本書62ページ「モニタの設定」

Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

Windows 95/98/Meが稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

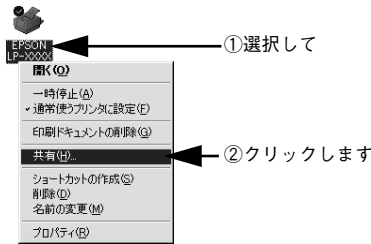
1. **Windowsの［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

2. **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

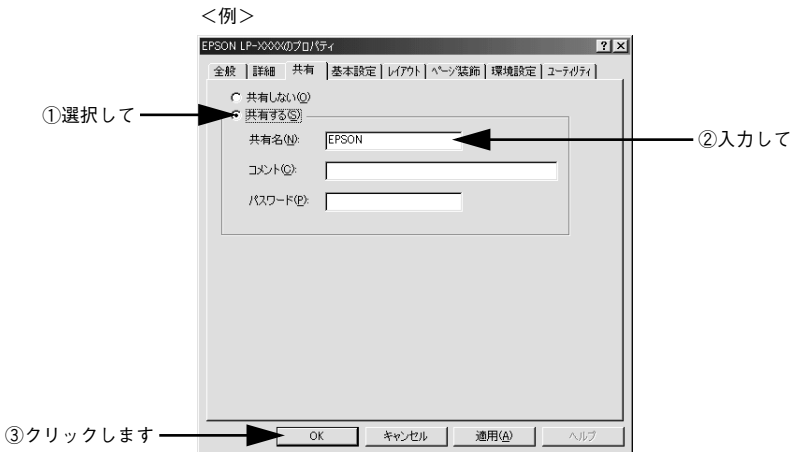
3 ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

参考

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-2500のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

<例>

参考　エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

9. **EPSONプリンタウィンドウ!3を使用している場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。**

本書62ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。
本書84ページ「クライアントの設定」

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000/XPが稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、以下の手順に従ってください。また、代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

参考

- 代替/追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows NT4.0、Windows 2000/XP）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- Windows NT4.0/2000の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XPの場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows NT4.0で代替/追加ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4以降が対象となります。
- サーバとクライアントが同じOSの場合は、代替/追加ドライバをサーバにインストールする必要はありません。
- 代替/追加ドライバ機能は、Windows NT4.0では「代替ドライバ」、Windows 2000/XPでは「追加ドライバ」と表示されます。
- 代替/追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをクライアントにインストールする場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3はクライアントにインストールされません。印刷に問題はありませんので、そのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側からEPSONプリンタウィンドウ!3を使って確認することはできません。
- EPSONプリンタウィンドウ!3をクライアントにインストールする場合や、代替/追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMを使ってプリンタソフトウェアをローカルプリンタとしてクライアントにインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更します。
本書96ページ「プリンタ接続先の変更」

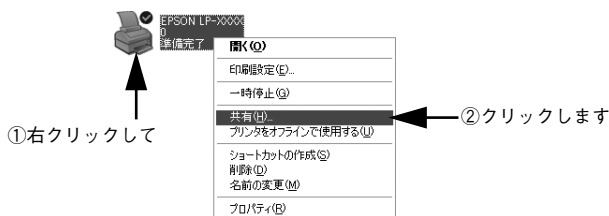
1. Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタと FAX］を開きます。

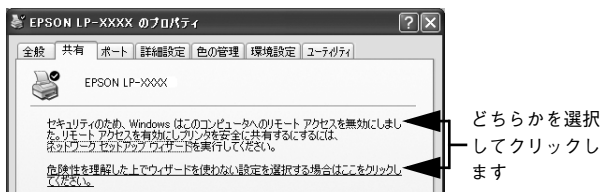
- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。

2. LP-2500 のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。

参考

Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

Windows XP の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

＜例＞Windows XP

参考	エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

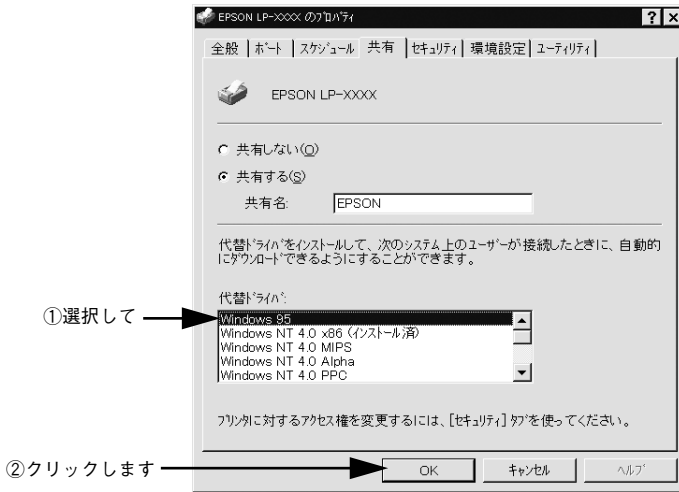
- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の **4** へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、［OK］ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書 85 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 88 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
☞ 本書 90 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

- **Windows NT4.0 プリントサーバの場合：**

① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、[Windows 95] をクリックして選択します。

② [OK] ボタンをクリックします。

参考

- Windows NT4.0 クライアント用の代替 /追加ドライバ[Windows NT 4.0 x86]はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- [Windows 95] 以外の代替 / 追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の代替ドライバはインストールできません。
- Windows 2000/XP のドライバを代替 / ドライバとして登録することはできません。

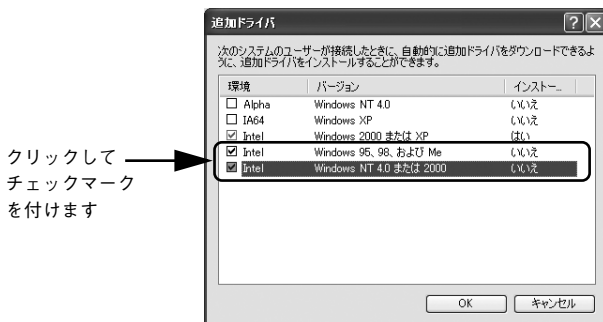
- **Windows 2000/XP サーバの場合：**

①［追加ドライバ］ボタンをクリックします。

<例>Windows XP

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95 または 98
	Windows NT4.0	Intel Windows NT 4.0 または2000
Windows XP	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
	Windows NT4.0	Intel Windows NT4.0 または 2000

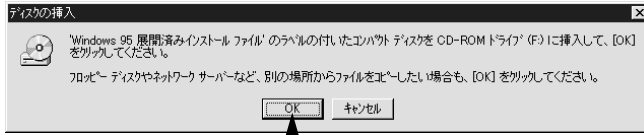
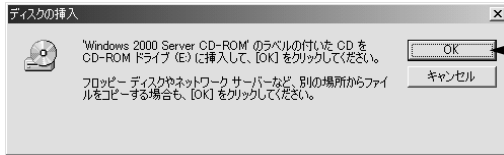
<例>Windows XP

参考

- Windows 2000/XP専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］/［Intel Windows 2000 または XP］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

③［OK］ボタンをクリックします。

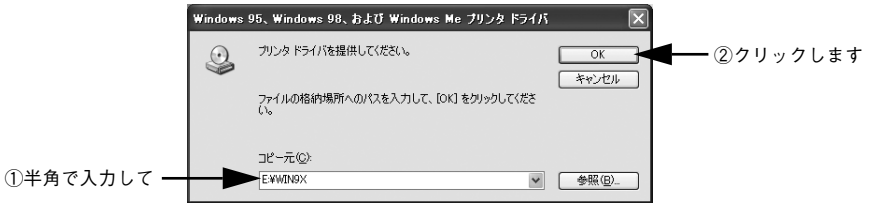
5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

メッセージが表示されない場合は、そのまま 6 へ進みます。

<例> Windows NT4.0 の場合

<例> Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

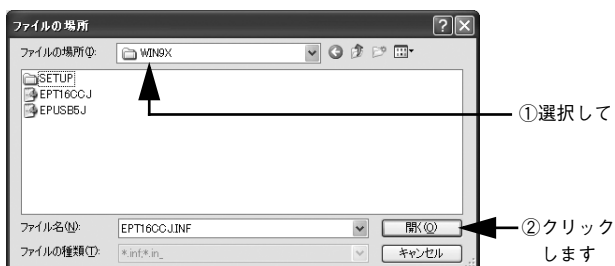
6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000

参考

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
  ①［参照］ボタンをクリックします。

  ②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000/XPの場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

Windows NT4.0 の場合は、代替 / 追加ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。

参考

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

本書 62 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 84 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、プリントサーバからプリンタドライバをクライアントにコピーしてインストールする方法を説明します。プリントサーバOSがWindows NT4.0/2000の一般的なネットワーク環境では、この代替/追加ドライバ機能でクライアントにプリンタドライバをインストールできます。以下のページを参照してください。

本書85ページ「Windows 95/98/Meクライアントでの設定」
本書88ページ「Windows NT4.0クライアントでの設定」
本書90ページ「Windows 2000/XPクライアントでの設定」

参考

- 代替/追加ドライバ機能は、プリントサーバ（Windows NT4.0、Windows 2000/XP）にクライアント用のプリンタドライバをあらかじめインストールしておくことができる機能です。これにより、クライアントがネットワークプリンタに接続したときに、プリントサーバからプリンタドライバをコピー（インストール）することができ、クライアントのインストール手順を簡略化することができます。
- 代替/追加ドライバ機能は、Windows NTでは「代替ドライバ」、Windows 2000/XPでは「追加ドライバ」と表示されます。
- クライアントがServer系のOSでは、代替/追加ドライバ機能は使用できません。

代替/追加ドライバ機能を利用してプリンタドライバをインストールすると、EPSONプリンタウィンドウ!3はインストールされません。印刷に問題はありませんのでそのままお使いいただけますが、共有しているプリンタの状態をクライアント側からEPSONプリンタウィンドウ!3を使って確認することはできません。

EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールする場合や、代替/追加ドライバ機能を使用できない場合は、本機に添付のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMを使ってローカルプリンタとしてインストールし、プリンタの接続先をネットワークプリンタに変更してください。

本書96ページ「プリンタ接続先の変更」

参考

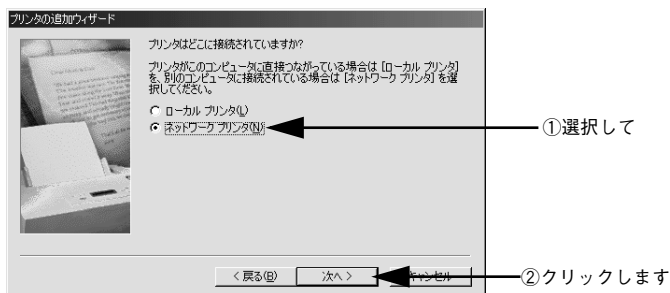
- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。
本書 74 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用する場合は、共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。
本書 62 ページ「モニタの設定」

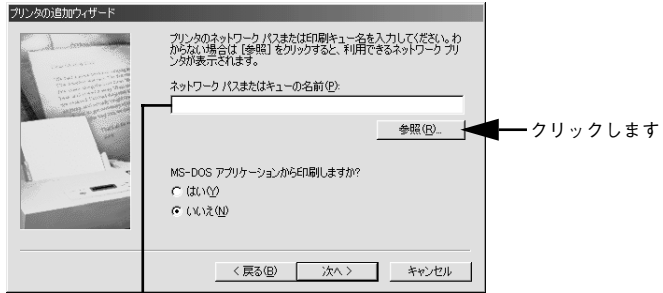
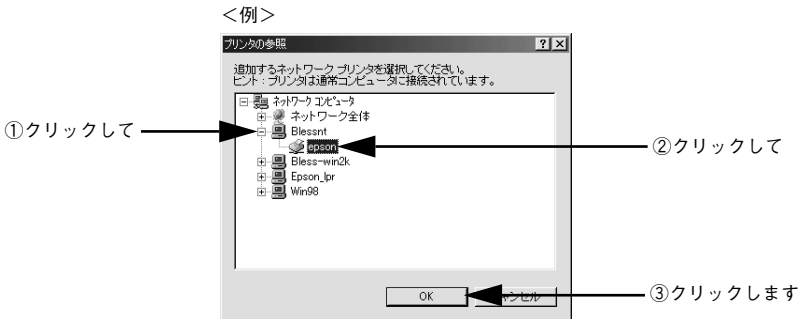
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

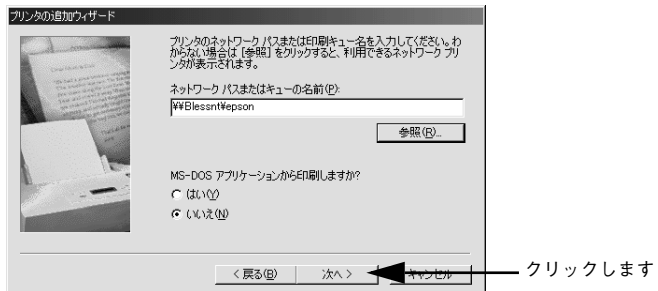
Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

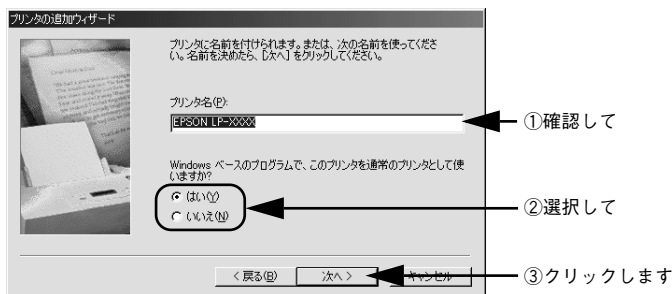
1. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2. **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。**

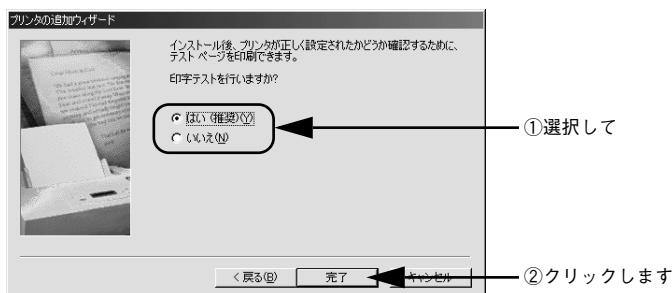
3. **［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。**

4 ［参照］ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

参考	プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

参考	すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

参考	プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。

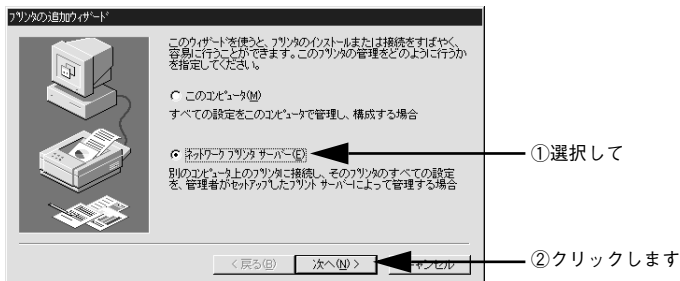
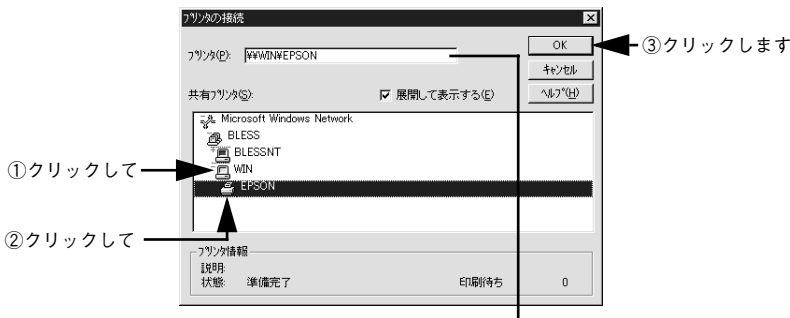
印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、[はい] または [いいえ] ボタンをクリックして対処してください。

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

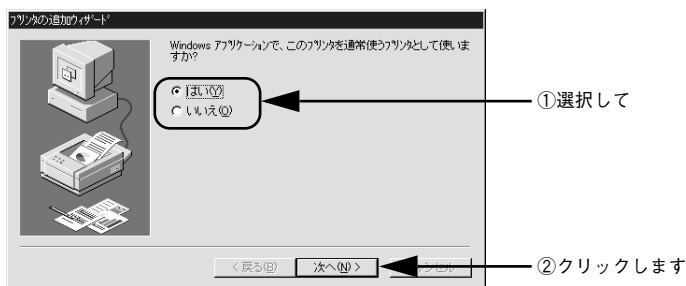
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

6 [完了] ボタンをクリックします。

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタとFAX］を開きます。

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタとFAX］をクリックします。

参考 Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

② プリンタの追加ウィザードを起動します。

- **Windows 2000 の場合**

①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

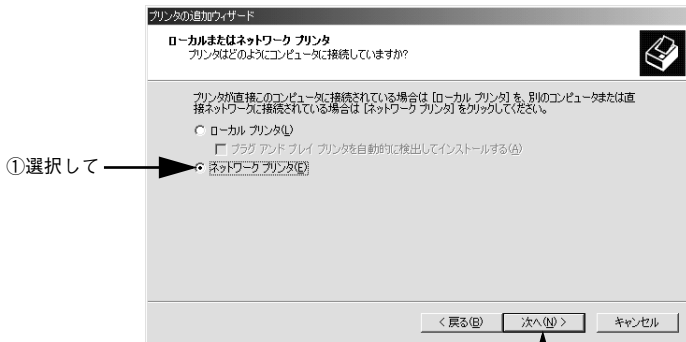
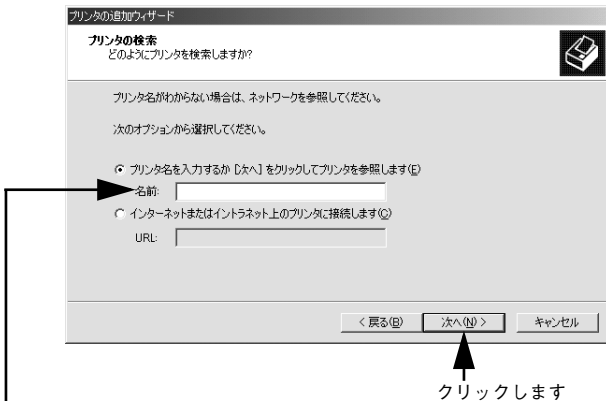
- **Windows XP の場合**

①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

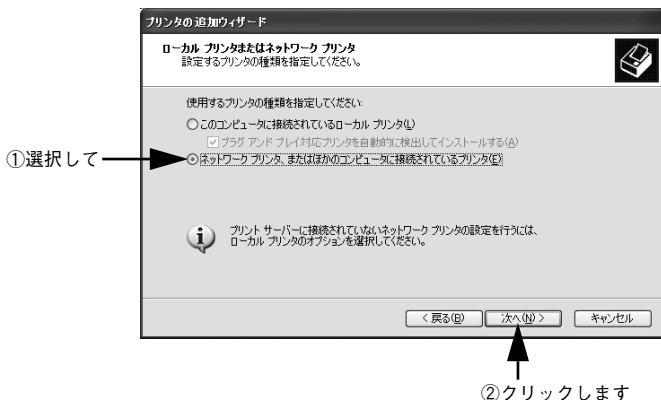
3 **使用する共有プリンタを探します。**

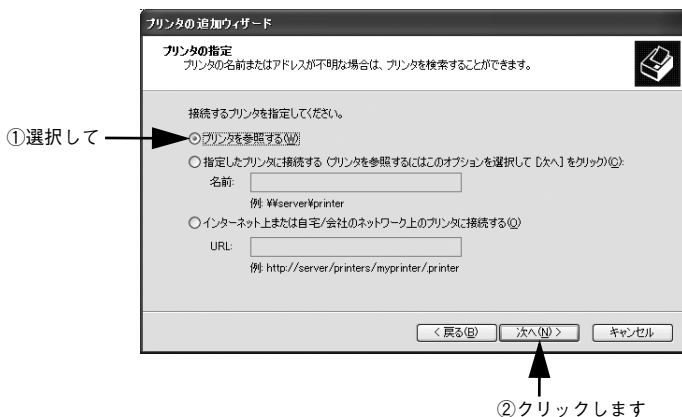
- **Windows 2000 の場合**

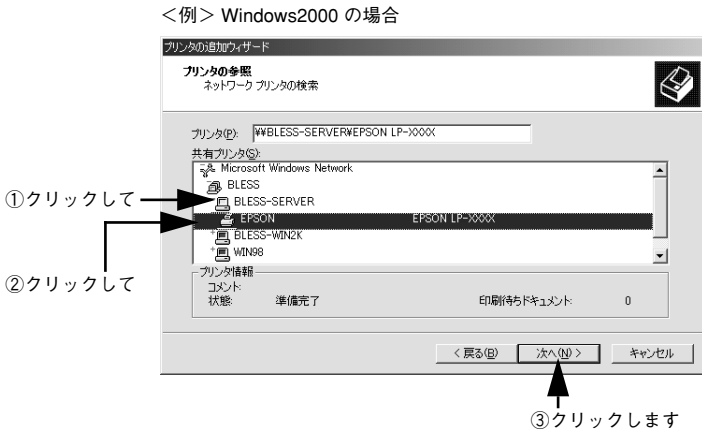
①［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

②［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

参考	ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- **Windows XP の場合**

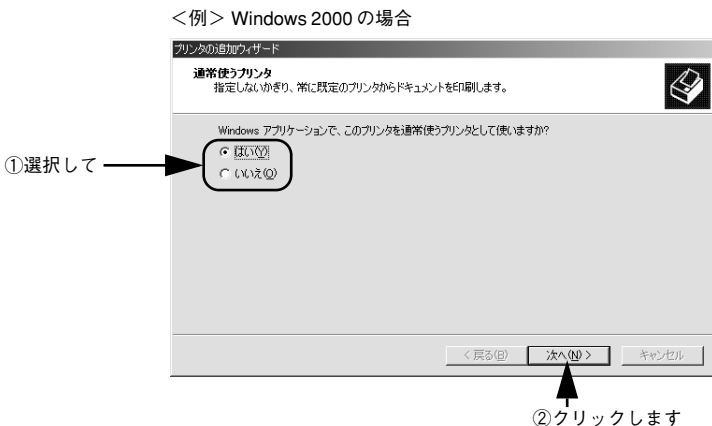
① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

② [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

参考

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、[指定したプリンタに接続する] をクリックして [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

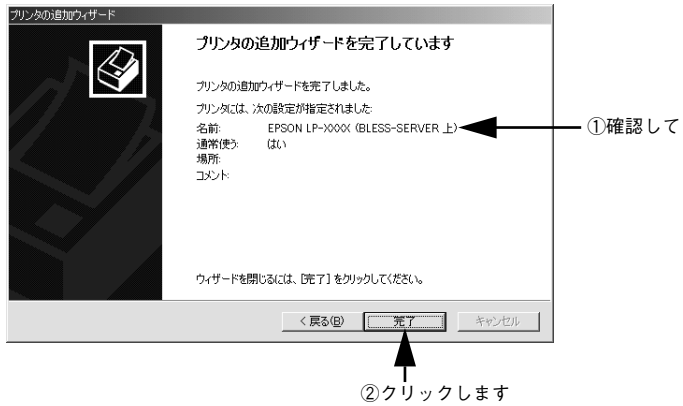
4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例> Windows2000 の場合

参考

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

5 Windows 2000/XP の場合、通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000 の場合

6 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000 の場合

以上でクライアントの設定は終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。

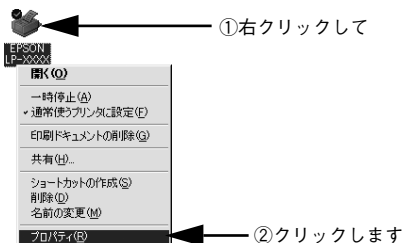
Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから以下の手順を続けてください。

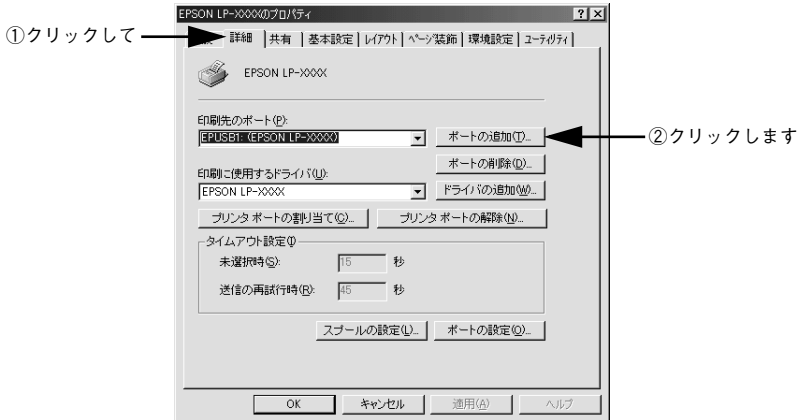
参考 プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-2500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

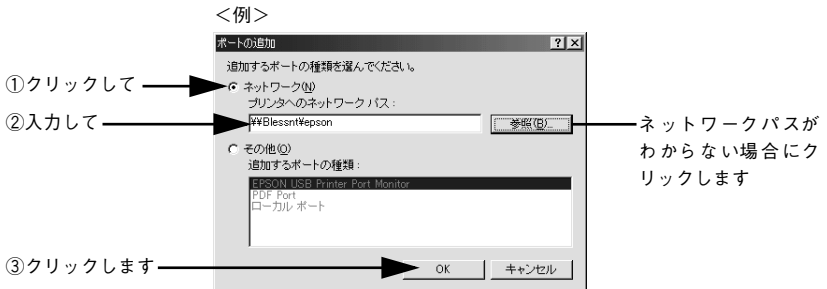
- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

参考

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

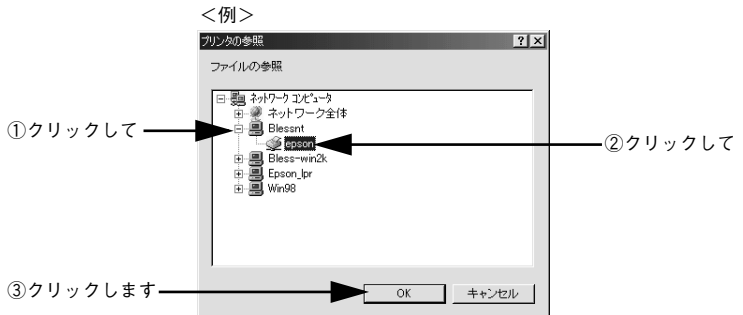
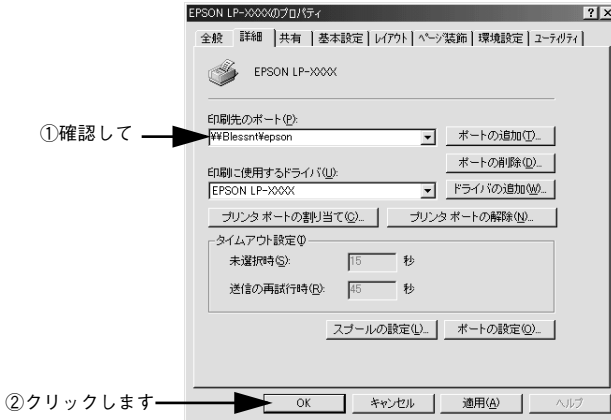
- PRN：EPSON PC シリーズ/NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 **［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

＜例＞

参考

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000 の場合

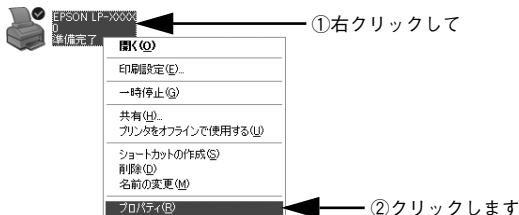
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

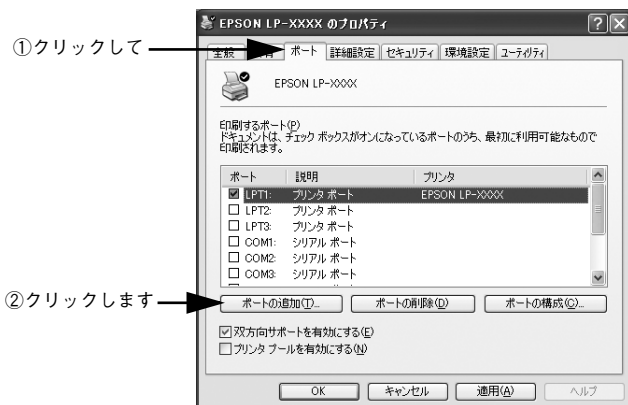
- Windows XP の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-2500のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。

参考

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

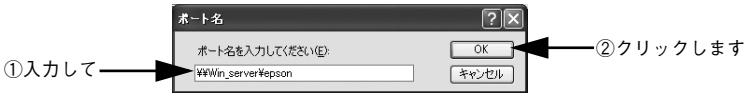
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

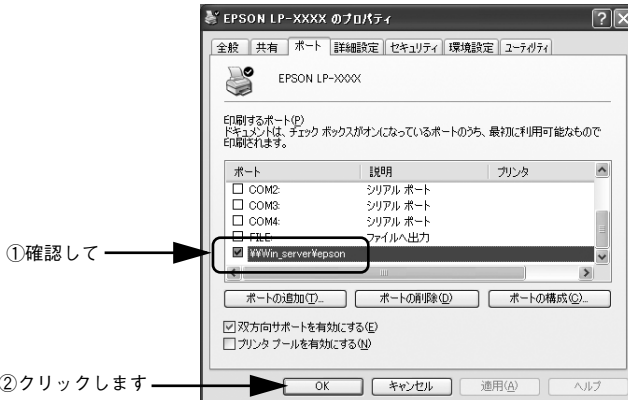
5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例>

6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。

<例>

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化（Windows NT4.0/2000/XP）

Windows NT4.0/2000/XP をご利用で本機をパラレル接続している場合、印刷データの転送方法として DMA 転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA 転送とは

通常、印刷データはコンピュータの CPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法では CPU に負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP* コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

* ECP：Extended Capability Port の略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバで DMA 転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **BIOS* セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS を設定してください。

* BIOS：Basic Input/Output System の略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

> **参考**
> この BIOS の設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってプリンタソフトウェアを再度インストールしてください。
> 本書 112 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いの OS ごとの説明に進んでください。

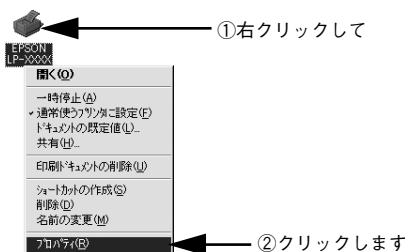
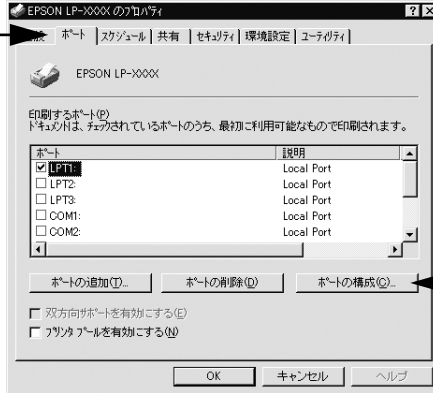
Windows NT4.0 の設定確認

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは設定されていることを確認します。

参考

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- DMA 転送をご利用になる場合、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を使ってローカルプリンタとしてプリンタソフトウェアがインストールされている必要があります。
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順4の［DMA を使用する］のチェックを外してください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-2500 のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 **本機が接続されているポートのタブをクリックして、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。**

コンピュータのLPT1ポートにプリンタを接続している場合は、[LPT1]を選択します。

> **参考**
> コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。
> - LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
> - IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で確認の方法は終了です。

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールする必要があります。

参考

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSONプリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

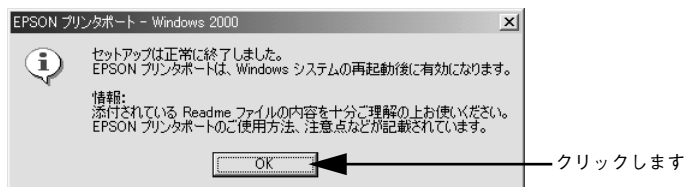
2 **ウィルスチェックプログラムに対処します。**

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける]をクリックして次へ進みます。

3 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する] をクリックします。**

4 ［LPT 接続時の印刷の高速化］をクリックします。

5 ［はじめにお読みください］をクリックして参考情報をお読みいただいてから、［エプソンプリンタポートのインストール］をクリックしてインストールを実行します。

6 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。

7 Windows を再起動します。

注 意	必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、印刷ができなくなったり、動作が不安定になります。

8 LP-2500 プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。

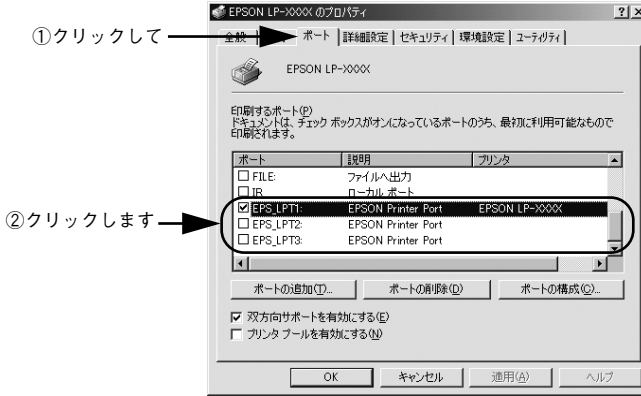
- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、8 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタと FAX］をクリックします。
④ LP-2500 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- **Windows 2000 の場合**

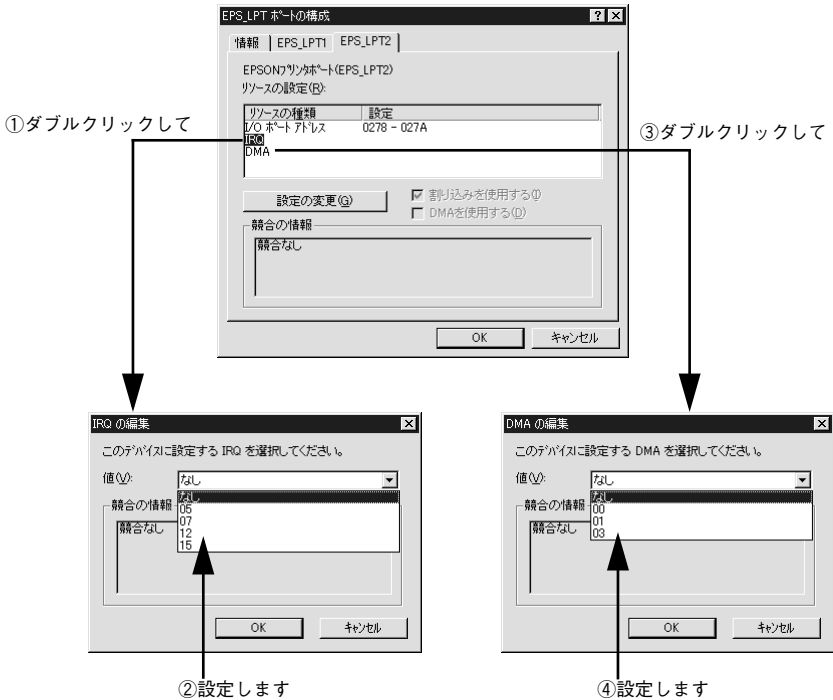
①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
② LP-2500 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

9 ［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
  ［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
  次の 9 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
  次の 9 へ進みます。

⑩ EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

③ [OK] ボタンをクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

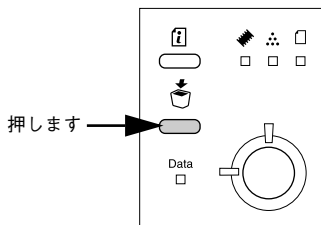
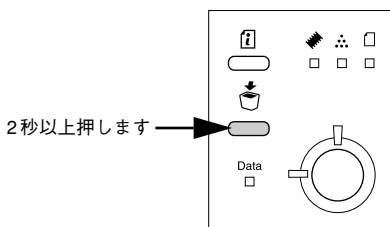
これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

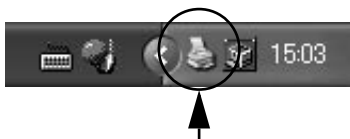
参考	プリンタドライバを再インストールした場合には、⑦ ~ ⑨ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

プリンタ本体での中止方法

● 印刷中のデータ（ジョブ単位）を削除する場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。

● すべての印刷データを削除するには、［ジョブキャンセル］スイッチを約2秒以上押し続けます。プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。

プリンタドライバからの中止方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。

2. 中止したい印刷データをクリックして選択し、[ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

参考

- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Meで本製品をUSB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- Windows NT4.0/2000/XP 上の EPSON プリンタウィンドウ !3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから行ってください。
本書 63 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

- Windows XP
  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。
- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000
  ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- Windows XP の場合

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

クリックします

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。

- プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：

Windows 2000/XP の場合

［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［変更 / 削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

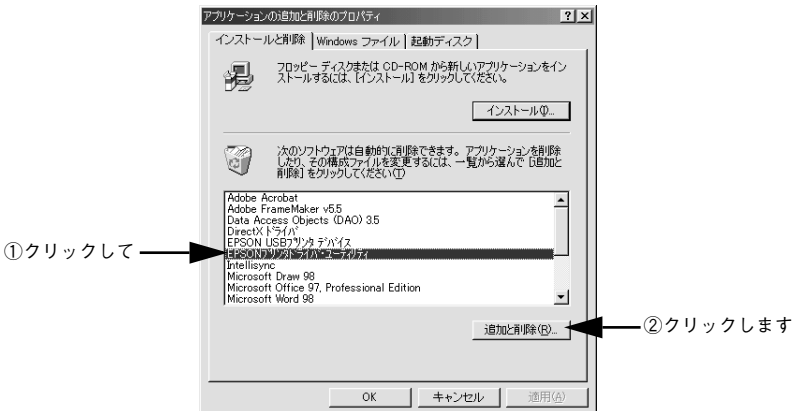
本書 117 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

＜例＞ Windows XP の場合

Windows 95/98/Me/NT の場合

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

本書 117 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

＜例＞ Windows 98の場合

- **USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：**
  ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。
  本書 119 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」

＜例＞ Windows 98の場合

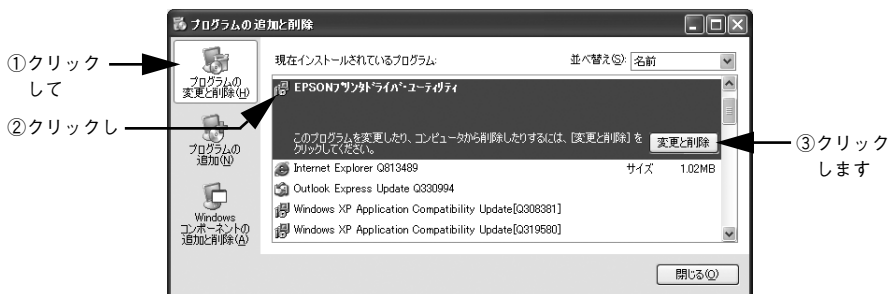
参 考	インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。 ① コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。 ②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。 ③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。 ④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

- **EPSON プリンタウィンドウ !3 のみを削除する場合：**

Windows 2000/XP の場合

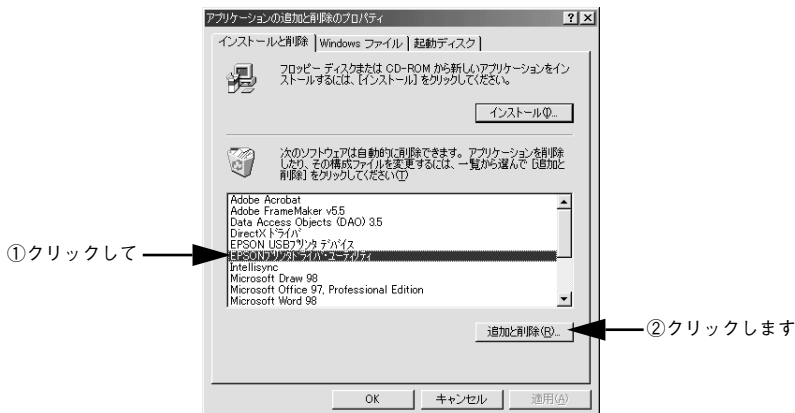
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［変更 / 削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

本書 120 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」

＜例＞ Windows XP の場合

Windows 95/98/Me/NT の場合

［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

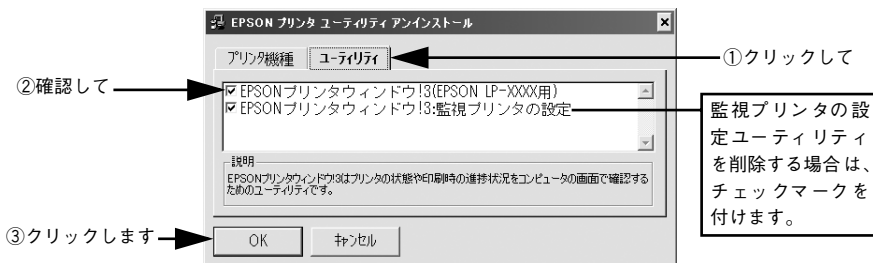
本書 120 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除」

＜例＞ Windows 98の場合

参考	Windows NT4.0/2000/XP 上の EPSON プリンタウィンドウ !3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから行ってください。 本書 63 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。
114 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-2500 のアイコンを選択します。

❻ ［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-2500 用）にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

> **参考**
> - 監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。
> - Windows NT4.0/2000/XP 上の EPSON プリンタウィンドウ !3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから行ってください。
>   本書 63 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

❼ EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-2500 用）の削除が始まります。

参考

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 **プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

参考

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

9 **終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**

以上でプリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3の削除(アンインストール)は終了です。

参考

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除

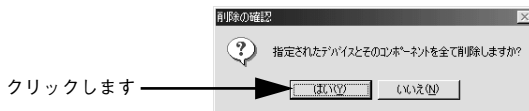
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

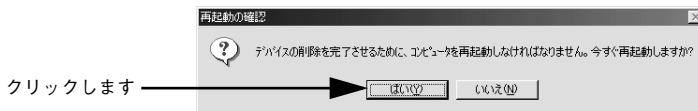
参考
- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBプリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

114 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

6 ［はい］をクリックします。

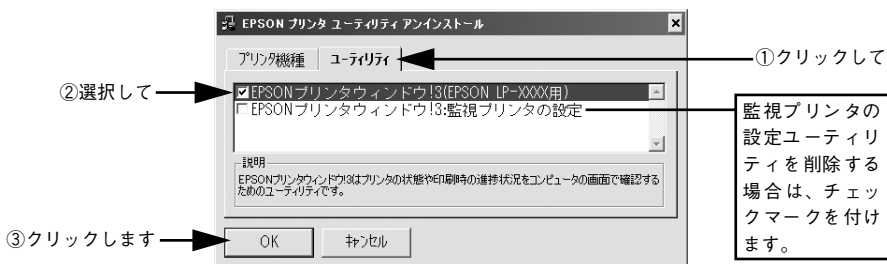
コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 114 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

❻ ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-2500 用）］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

参考

- 監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。
- Windows NT4.0/2000/XP 上の EPSON プリンタウィンドウ !3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから行ってください。
  ☞ 本書 63 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

❼ 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3（LP-2500 用）の削除が始まります。

参考

監視プリンタの設定ユーティリティを削除する場合は、次の確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

8 **終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**

以上でEPSONプリンタウィンドウ !3(LP-2500用)の削除(アンインストール)は終了です。

参考

プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

代替 / 追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP プリントサーバにクライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で代替 / 追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

なお、Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替 / 追加ドライバは削除することができません。プリンタドライバ自体を削除しても代替 / 追加ドライバは削除されません。Windows NT4.0 の代替 / 追加プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替 / 追加ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替 / 追加ドライバは問題なく動作します。

参考	代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows 2000 の場合**

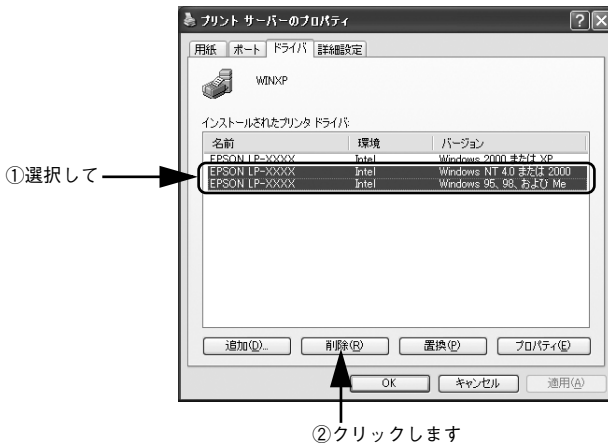
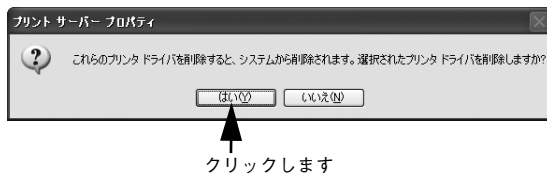
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。

5 削除したい代替/追加ドライバをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で代替 / 追加ドライバの削除は終了です。

EPSON プリンタポートの削除

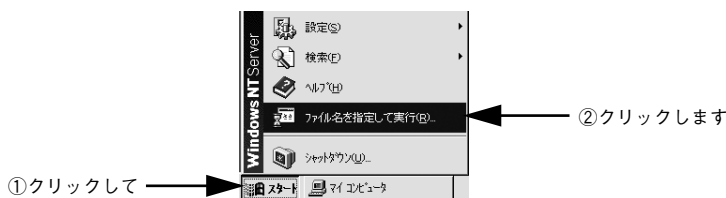
Windows 2000/XP の場合

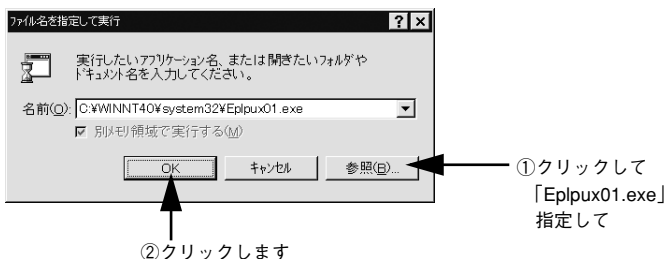
EPSON プリンタポートを削除するには、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了し、Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP）/［プログラム］（Windows 2000）－［EPSON］－［EPSON プリンタポートアンインストール］をクリックして画面の指示に従い、Windows を再起動してください。

Windows NT4.0 の場合

Windows NT4.0 用プリンタドライバをインストールすると、パラレルインターフェイス接続時に印刷の高速化をするための EPSON プリンタポートもインストールされます。この EPSON プリンタポートを削除する手順は以下の通りです。

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］をクリックします。**

3. **［参照］ボタンをクリックして、Windows NT4.0 のシステムがインストールされているディレクトリの system32¥Eplpux01.exe を指定して［OK］ボタンをクリックします。**

＜例＞Windows NT4.0のシステムをCドライブのWINNT40にインストールしている場合

参考	Eplpux01.exe が存在しない場合、EPSON プリンタポートはインストールされていませんので本作業は不要です。

これ以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

4. **Windows を再起動します。**

Mac OS(8.6-9.x)をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS 8/9 でお使いの際に関係する情報について説明しています。

印刷を始める前に

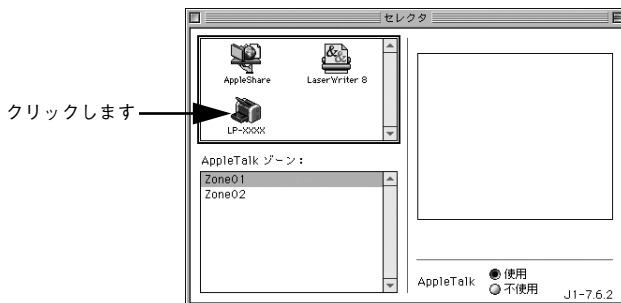
「セットアップガイド」の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［セレクタ］でプリンタを選択する手順を詳しく説明します。

- すでに本機を選択している場合は、再度選択する必要はありません。
- 他のプリンタを選択しない限り、印刷のたびに選択する必要はありません。

> **参考**
> 本機を接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかの Macintosh から本機を共有することができます。設定については以下のページを参照してください。
> 本書 156 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
> 本書 159 ページ「Macintosh でプリンタを共有するには」

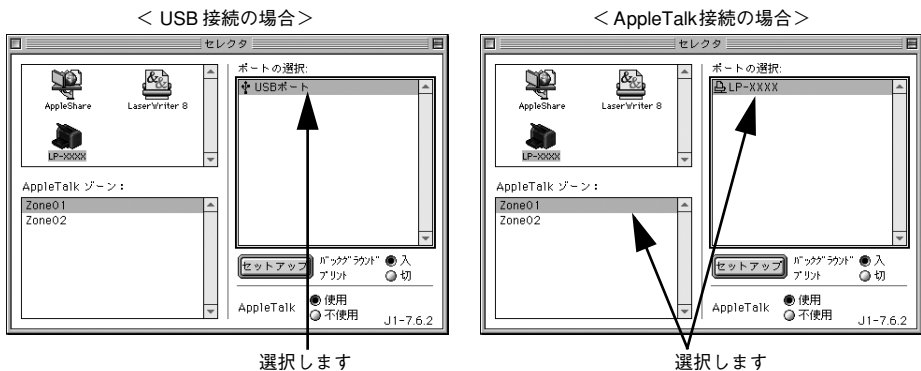
1. プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2. アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3. プリンタドライバ［LP-2500］を選択します。

参考

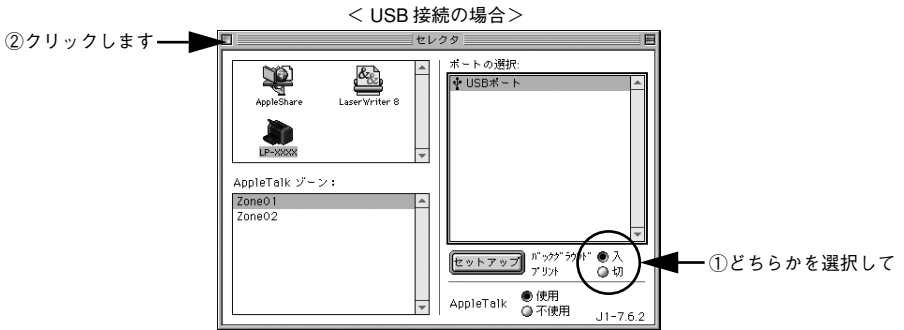
- オプションのインターフェイスカード（PRIFNW3S）を装着してネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- AppleTalkゾーンの一覧は､ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

4 **USB ポートまたはプリンタを選択します。**

- USB 接続の場合：USB ポートを選択します。同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。
- AppleTalk 接続の場合：AppleTalk ゾーンとプリンタを選択します。

＜ AppleTalk接続の場合＞

参考

- AppleTalk 接続の場合は、プリンタ名が変更されている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。
- USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］の［入 / 切］を設定して、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

＜ USB 接続の場合＞

参考

- ［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。
- ［セットアップ］ボタンをクリックすると、プリンタの基本動作が設定できます。
本書 156 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

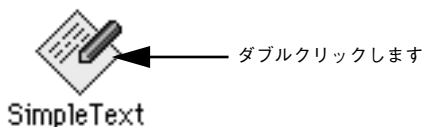
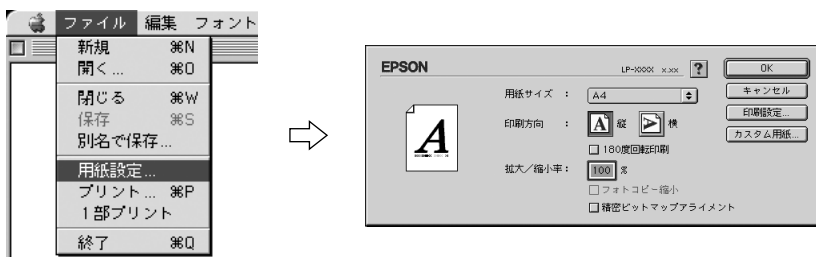
以上でプリンタの選択は終了です。印刷を始めていただけます。
本書 130 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

用紙設定

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、「SimpleText」を例に説明します。

参考	用紙設定をする前に、お使いのプリンタ用のプリンタドライバをセレクタで選択してください。 ☞本書 127 ページ「印刷を始める前に」

1. ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。

3. **必要な項目を設定します。**
設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
☞ 本書 132 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
☞ 本書 133 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4. ［OK］ボタンをクリックして終了します。
この後、印刷データを作成します。

印刷設定

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

参考	アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

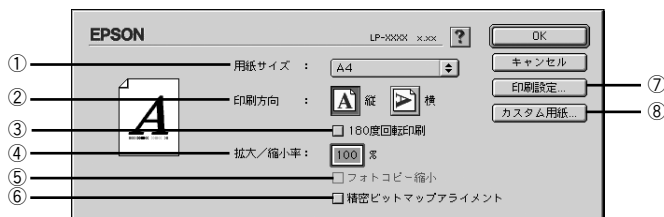
2. 印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ 本書 139 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ 本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ 本書 144 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

3. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

参 考	本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙にフィットページ印刷を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。 本書 144 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］、［横］のいずれかをクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、［フォトコピー縮小］を選択している場合は選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。
本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」

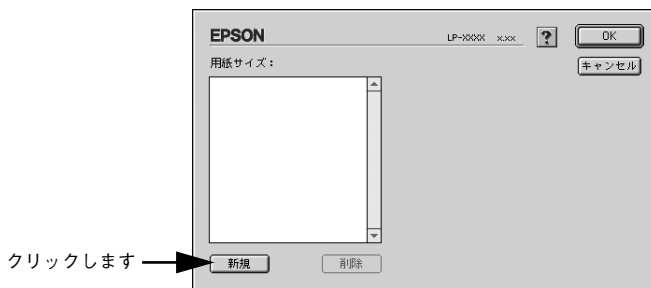
⑧［カスタム用紙］ボタン

用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。
本書 133 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

任意の用紙サイズを登録するには

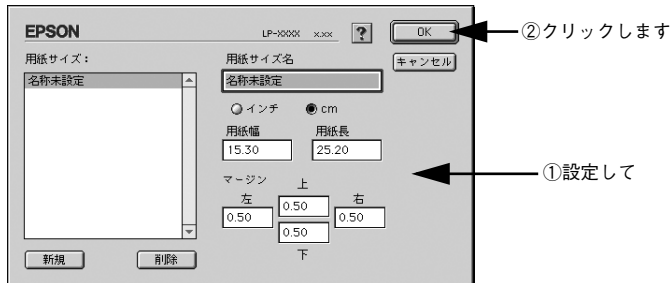
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録することができます。

1. ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

2. ［新規］ボタンをクリックします。

参考

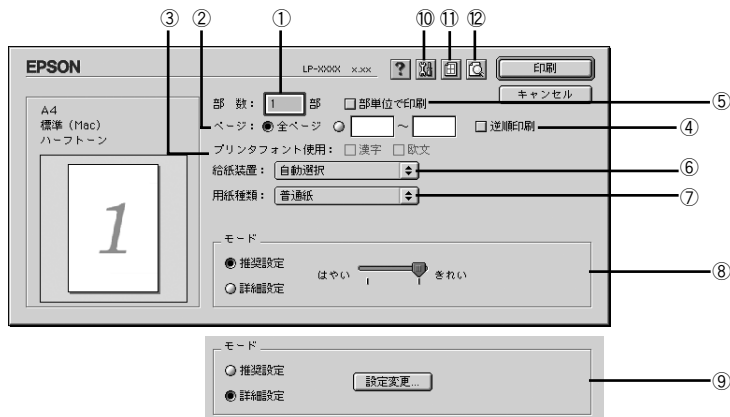
- カスタム用紙サイズは、64件まで登録できます。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

3 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
用紙幅：7.62 ～ 21.60cm（3.00 ～ 8.50 インチ）
用紙長：12.70 ～ 35.56cm（5.00 ～ 14.00 インチ）

ここで定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

参考	不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。 本書 250 ページ「不定形紙への印刷」

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑤の［部単位で印刷］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1～9999の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。

項目	説明
漢字	文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文	文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

参考

- ［印刷モード］を［標準（Mac）］に設定した場合は、フォントの置き換えはできません。
- ［印刷モード］を［CRT優先］に設定して［180度回転印刷］をする場合は、フォントの置き換えはできません。

④逆順印刷

最後のページから逆に印刷します。

⑤部単位で印刷

2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

参考	アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位で印刷］で設定してください。

⑥給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］と［用紙種類］の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイまたは手差しガイドから給紙する場合に選択します。
用紙カセット	オプションの用紙カセットから給紙する場合に選択します。

参考

- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書 144 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑦用紙種類

特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。
本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は［自動選択］に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙（大）、厚紙（小）	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］は［用紙トレイ］に設定されます。厚紙の場合は、使用する用紙サイズによって設定は以下のように異なります。 • 厚紙（大）： 用紙の横幅が 133mm 以上（A5、B5、A4、Half-Letter など）の厚紙を使用する場合に選択します。 • 厚紙（小）： 用紙の横幅が 133mm 未満の厚紙を使用する場合に選択します。
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。

参考

- EPSONリモートパネル!で用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  本書 176 ページ「［設定］ダイアログ」
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑧推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷する場合にクリックします。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。

はやい / きれい：

［推奨設定］を選択している場合は、印刷品質（解像度）を［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

なお、解像度 1200dpi でよりきれいに印刷する場合は、［詳細設定］ダイアログで設定します。

☞ 本書 139 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑨詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、［設定変更］ボタンが表示されます。グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブなど、印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定するには、［設定変更］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログを開きます。

☞ 本書 139 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑩（［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行うときにクリックします。

☞ 本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑪（［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

☞ 本書 144 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑫ （［プレビュー］アイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ダイアログが表示されて印刷結果をモニタ上で確認できます。

※※※ EPSON LP-XXXX 用プリンタドライバについて※※※

このファイルには EPSON LP-XXXX プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。
ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- プリンタフォント使用機能について ---
■プリンタフォントを使用して印刷する場合、文字と図形等を重ねて印刷すると、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、“プリンタフォント使用”のチェックをはずしてください。
■回転文字を印刷する場合、アプリケーションによってはプリンタフォントを使用できないものがあります。
■特殊文字（省略記号、単位、装飾文字、装飾英字、ローマ字、ギリシャ文字、ロシア文字、罫線の文字）を“プリンタフォント使用”で印刷した場合、正しく印字されない場合があります。この場合、“プリンタフォント使用”のチェックをはずしてください。
■180度回転を設定した場合、プリンタフォントは使用できません。

--- プレビュー機能について ---
■180度回転はプレビューに反映されません。
■図形やイメージなどの下に文字があるデータの場合、実際の印刷とプレビューが異なる場合があります。

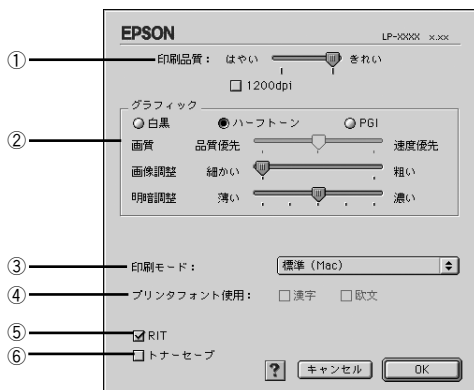
--- その他 ---
■セレクタのセットアップの最高解像度を「高解像度」に設定した場合、アプリケーションによっては正常に印刷できない場合があります。この場合、最高解像度を「標準」にしてください。
■他のプリンタを使用して作成した文書を印刷する場合、印刷方向以外は初期設定になります。この場合の用紙サイズは A4になります。

参考

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

ボタン	機能
◀▶	表示するページを 1 ページごとに切り替えます。
1 ／2	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	［プレビュー］ダイアログを閉じます。
印刷	印刷を開始します。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①印刷品質

印刷品質を［はやい］（300dpi）、［きれい］（600dpi）、［1200dpi］のいずれかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。
1200dpi	［きれい］の 2 倍の解像度でさらにきれいに印刷できます。ただし、プリンタはより多くのメモリを必要とします。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

②グラフィック

グラフィックスイメージを処理する方法を選択します。

項目	説明
白黒	グレースケールや中間色を再現しないモノクロ印刷を行います。ただし、[印刷品質]を[1200dpi]に設定した場合は、常にハーフトーン処理を行うので設定できません。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。
PGI	PGI[*1](Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をPGI処理してきれいに印刷できます。ただし、[印刷品質]を[1200dpi]に設定した場合は、PGI処理を使用する必要がないので設定できません。

[*1] PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。

参考

- プリンタのメモリが少ないと、[PGI]で印刷できない場合があります。[PGI]処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質]を[はやい](300dpi)に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI]を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は[PGI]以外の設定にして印刷してください。

画質：

[PGI]を選択したときのみ、[画質]を3段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は[速度優先]に、印刷品質を上げたい場合は[品質優先]に設定します。

画像調整：

[ハーフトーン]または[PGI]選択時の印刷粗密度を、スライドバーで2段階に調整できます。[細かい]側にスライドするとより細かく、[粗い]側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗調整：

[ハーフトーン]または[PGI]選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[薄い]側にスライドするとより明るく、[濃い]側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5段階に調整できます。

③印刷モード

印刷モードを選択します。

項目	説明
標準（Mac）	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。
標準（プリンタ）	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。
CRT 優先	すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に選択してください。

参考

- ［標準（Mac）］を選択している場合は、フォントの置き換えはできません。
- ［CRT 優先］を選択して［180 度回転印刷］をする場合、フォントの置き換えはできません。

④プリンタフォント使用

印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。

項目	説明
漢字	文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文	文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

参考

- ［標準（Mac）］を選択している場合は、フォントの置き換えはできません。
- ［印刷モード］を［CRT 優先］を設定して［180 度回転印刷］する場合、フォントの置き換えはできません。

⑤RIT

RIT*1（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。ただし、［印刷品質］を［1200dpi］に設定した場合は、RIT 処理を使用する必要がないので設定できません。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。

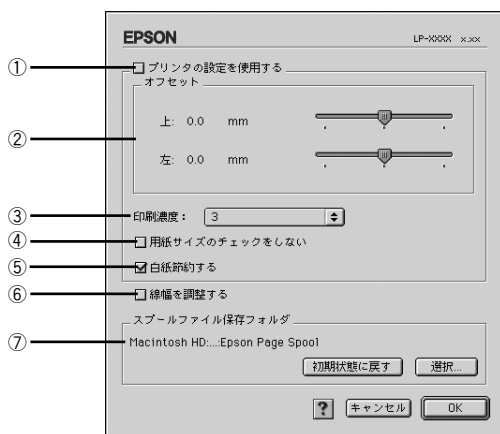
参考

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

⑥トナーセーブ

文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

[拡張設定]ダイアログ

[プリント]ダイアログの[拡張設定]アイコンをクリックすると、[拡張設定]ダイアログが表示されます。

①プリンタの設定を使用する

以下の②[オフセット]、③[印刷濃度]、④[用紙サイズのチェックをしない]、⑤[白紙節約する]は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を優先するかを選択できます。

- チェックマークを付けると、プリンタ本体の設定を優先します(プリンタドライバでは設定できません)。
- チェックマークを外すと、ここ(プリンタドライバ)での設定を優先します(プリンタ本体の設定を無視します)。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を[上](垂直位置)と[左](水平位置)で設定します。0.5mm単位で、次の範囲で設定できます。
上(垂直位置):-30mm(上方向)〜30mm(下方向)
左(水平位置):-30mm(左方向)〜30mm(右方向)

③印刷濃度

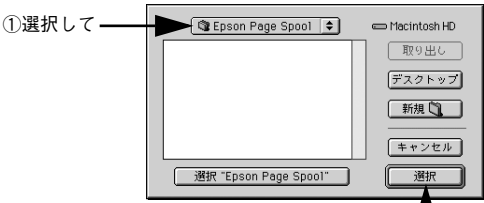
印刷濃度を、1(薄い)から5(濃い)までの5段階で調整します。

参考

- [印刷濃度]の調整は、主にグラフィックに有効です。
- [印刷濃度]を設定しても思った通りの印刷結果にならない場合は、[明暗調整]を調整することにより改善される場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
本書139ページ「[詳細設定]ダイアログ」

④用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑥線幅を調整する

図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑦スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

ボタン	機能
［選択］	［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。 ①選択して Epson Page Spool Macintosh HD 取り出し デスクトップ 新規 キャンセル 選択 "Epson Page Spool" 選択 ②クリックします
［初期状態に戻す］	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小する機能です。

本書 146 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

参 考	• 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。 • ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

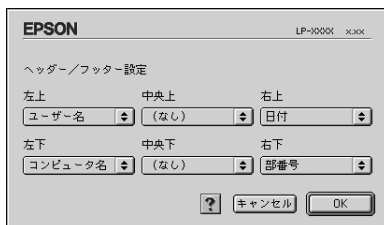
本書 148 ページ「スタンプマークを印刷するには」

④割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

本書 154 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

⑤ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号 *）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* ［部番号］が選択されると、プリンタドライバによる部単位印刷が行われます。

拡大 / 縮小して印刷するには

[レイアウト] ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。[フィットページ] をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。

① 出力用紙サイズ

[用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズを、ここで指定した用紙サイズに拡大または縮小して印刷します。

② 配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

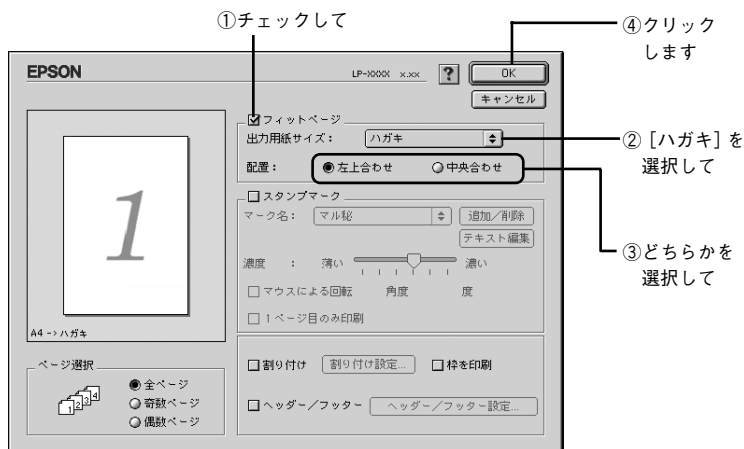
参考

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- [用紙設定] ダイアログの [拡大 / 縮小率] は無効になります。

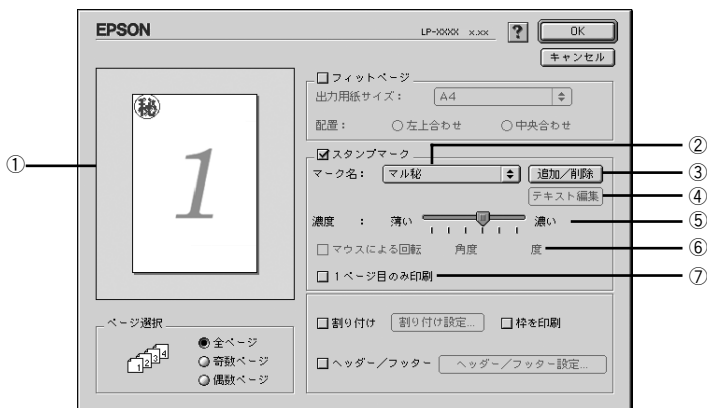
フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。**
   この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

3. **［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ（PICT*1 画像）マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1　PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

本書 150 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録時と同じダイアログが表示されて、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

⑦1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。この項目が選択されていない場合は、すべてのページにスタンプマークが印刷されます。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

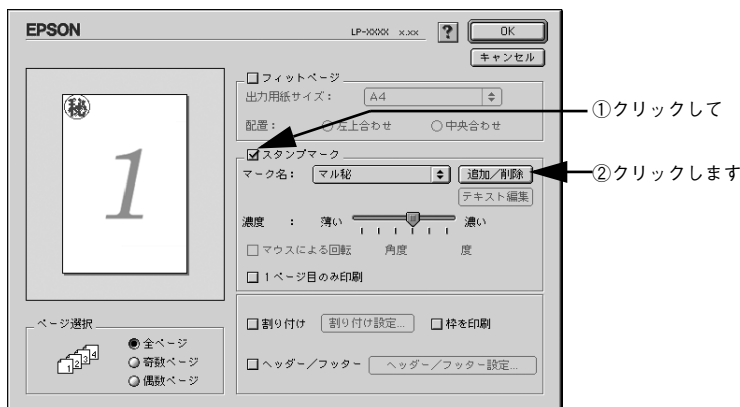
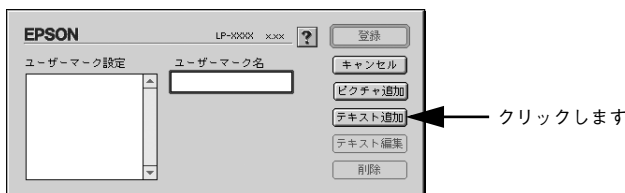
2 ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

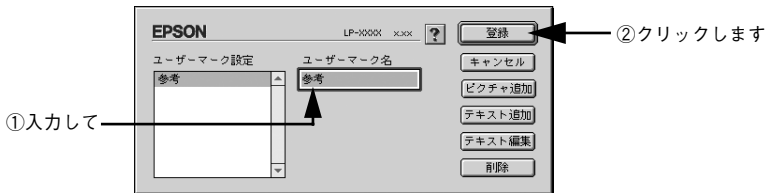
オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

参考
- オリジナルスタンプマークは 32 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

参考

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3. ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。

4. ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

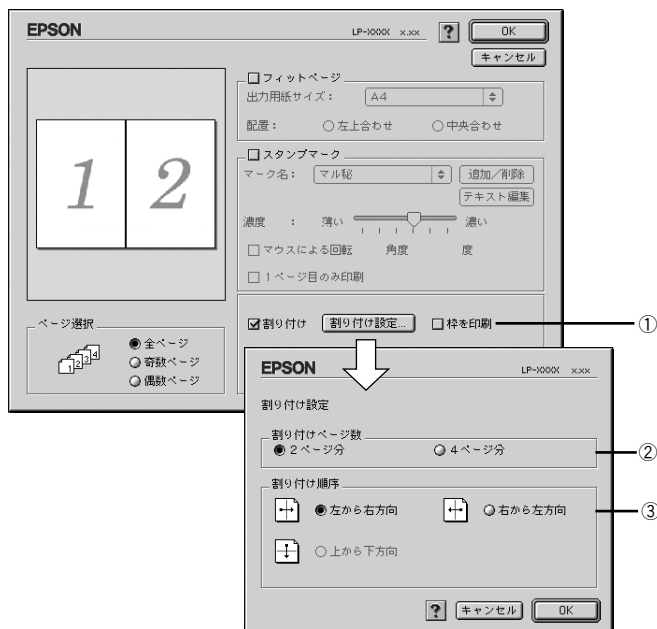
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

参考	登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックしてチェックマークを付け、［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

① 枠を印刷

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときにチェックマークを付けます。

② 割り付けページ数

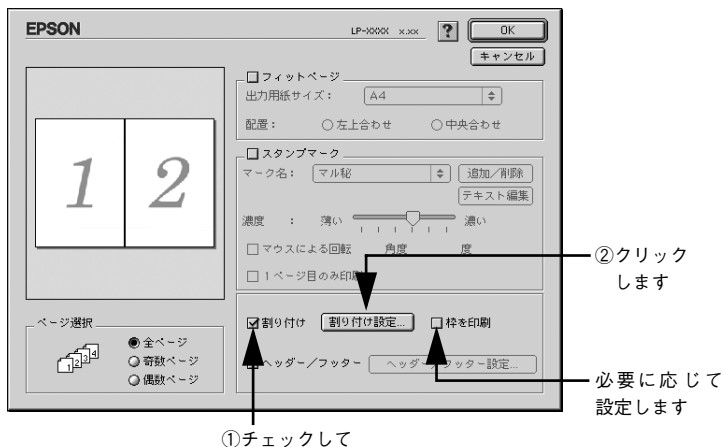
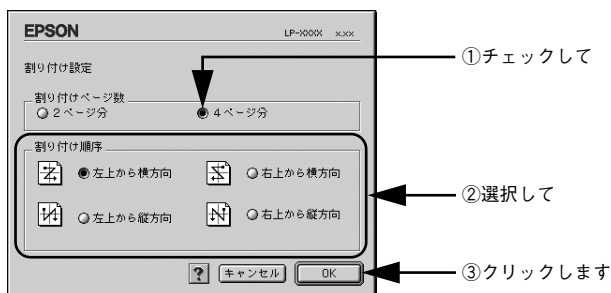
1 ページに割り付けるページ数を選択します。

③ 割り付け順序

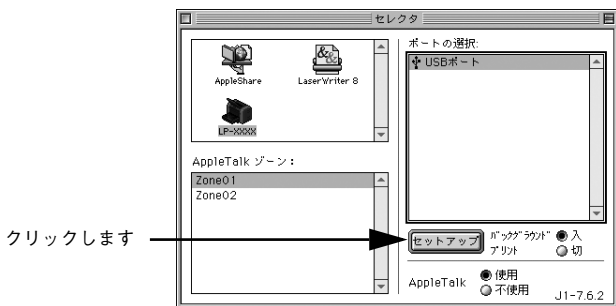
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

割り付け印刷の手順

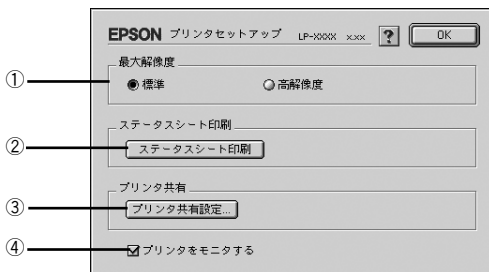
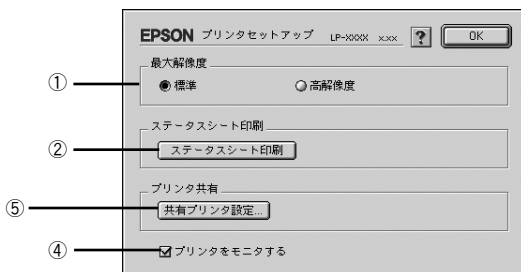
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2 ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

3 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［プリンタセットアップ］ダイアログ

［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。
☞ 本書 127 ページ「印刷を始める前に」

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Macintosh 側と共有プリンタを使用する側の Macintosh で、表示されるダイアログが以下のように異なります。

参 考	Macintosh でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。 ☞本書 159 ページ「Macintosh でプリンタを共有するには」

共有を許可する側の Macintosh

共有プリンタを使用する側の Macintosh

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を72dpi/300dpi/600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。

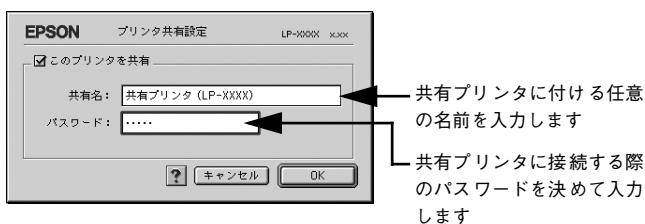
参考

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［きれい］（600dpi）または［1200dpi］に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

② ［ステータスシート印刷］ボタン

ステータスシートを印刷します。

③ ［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数の Macintosh で共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側の Macintosh で［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］ボタンをクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させます。ネットワーク上のほかの Macintosh のセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

参考

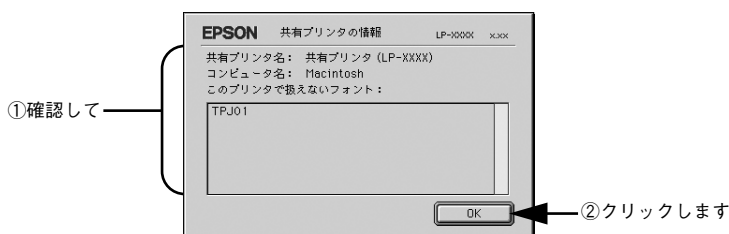
［プリンタ共有設定］は、プリンタと Macintosh を直接 USB ケーブルで接続している場合のみ設定できます。ネットワーク（AppleTalk）で接続している場合は、設定できません。

④ プリンタをモニタする

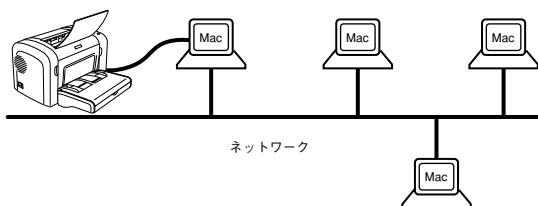
共有プリンタを使用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

⑤［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］ボタンをクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

参考　リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

Macintosh でプリンタを共有するには

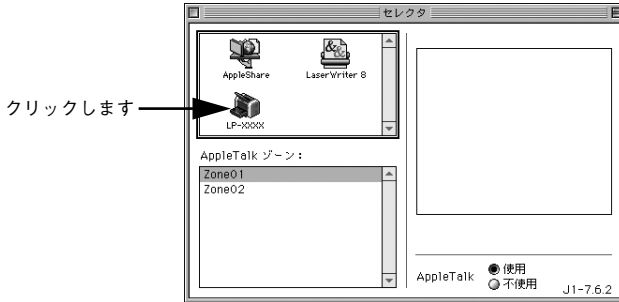
プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。

参考

- Mac OS 8.6-9.x でのプリンタ共有機能は、各ユーザーのMacintoshが Mac OS 8.6-9.x で起動している場合のみご利用いただけます。
- プリンタに装着したオプションのインターフェイスカードを介してネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接［セレクタ］からプリンタを選択して印刷することができます。
  本書 127 ページ「印刷を始める前に」

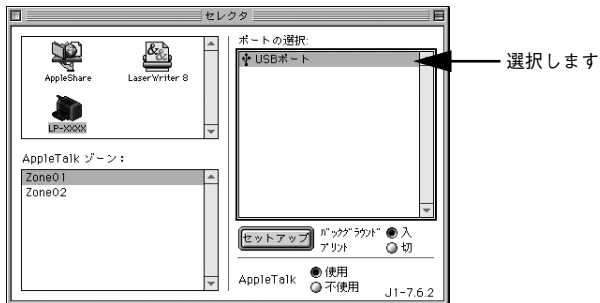
プリンタを共有するには

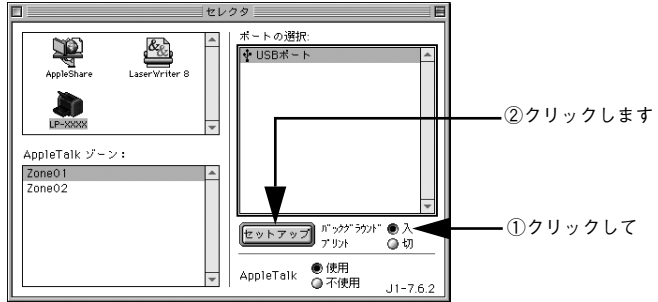
ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン (I) にします。**
2. **アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**

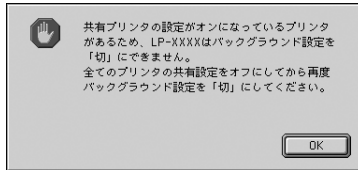
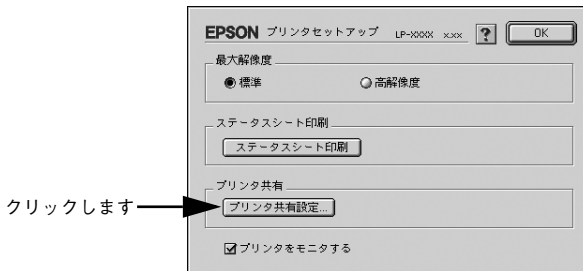
3 プリンタドライバ［LP-2500］を選択します。

参考	QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。 本書 389 ページ「Macintosh システム条件」

4 USB ポートを選択します。

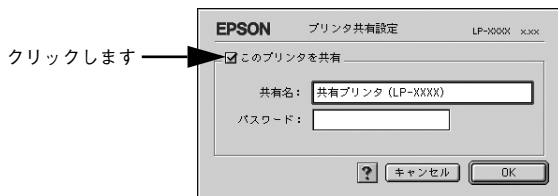
同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

参考	USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］設定して、［セットアップ］ボタンをクリックします。

- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  本書 181 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］ボタンをクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  本書 156 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

参考

プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

6 ［プリンタ共有設定］ボタンをクリックします。

参考

［プリンタ共有設定］は、プリンタと Macintosh を直接 USB ケーブルで接続している場合のみ設定できます。ネットワーク（AppleTalk）で接続している場合は、設定できません。

7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックマークを付けます。

8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

参考

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXX）」を作成しています。しばらくお待ちください。

9 ［OK］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

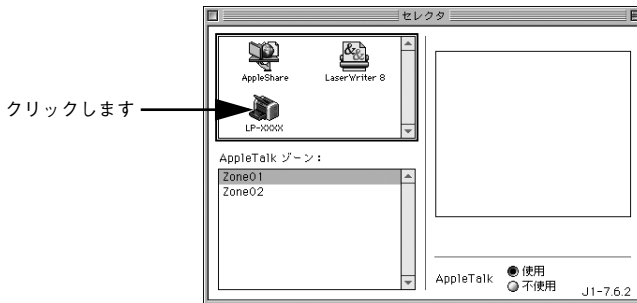
10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で共有プリンタが使用できるようになりました。

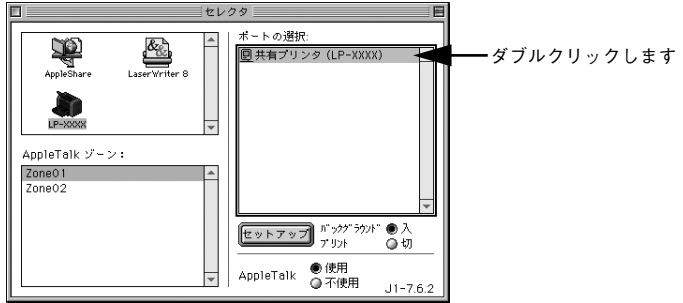
共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Macintosh から以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1 ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（I）になっていることを確認します。

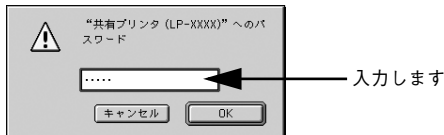
2 アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3 プリンタドライバ［LP-2500］を選択します。

参考 QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
本書 389 ページ「Macintosh システム条件」

④ 共有プリンタをダブルクリックして選択します。

- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、⑤へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、⑥へ進んでください。

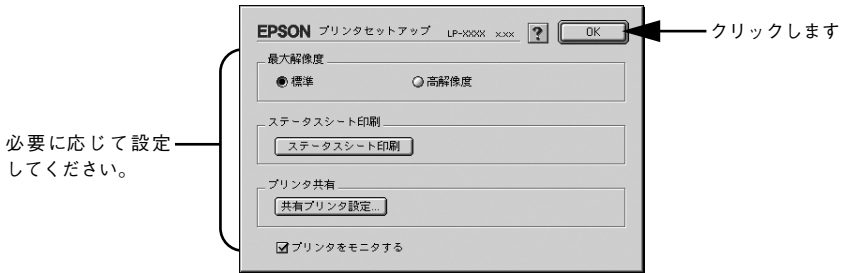
参考

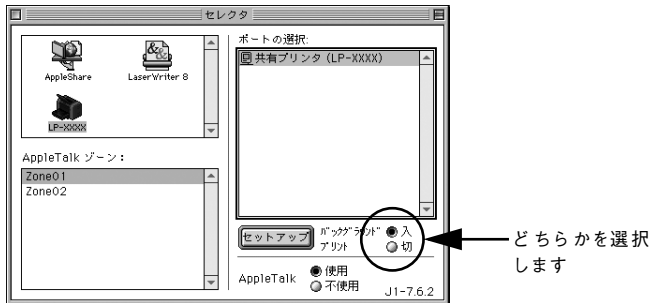
- 共有プリンタの名前は、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］ボタンを押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。⑥へ進んでください。

⑤ 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。

参考

共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。

6 ［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

☞ 本書 156 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

☞ 本書 181 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

参考	［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

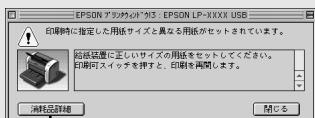
以上で共有プリンタへの接続が終了しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

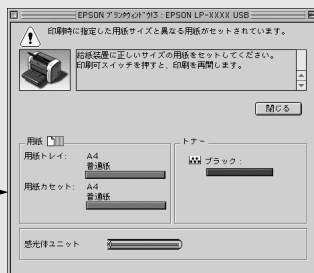
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

プリンタエラーを表示します

ポップアップウィンドウ

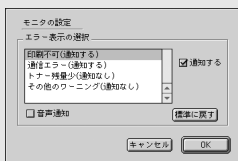
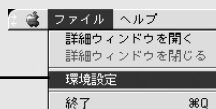
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。

[プリンタ詳細] ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

[アップル] メニューの EPSON プリンタウィンドウ !3 から [プリンタ詳細] ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定するには

[モニタの設定] ダイアログ

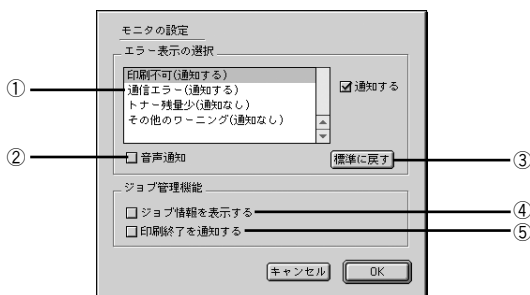
どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。

[ファイル] メニューの [環境設定] から [モニタの設定] ダイアログを開くことができます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下の条件でネットワーク接続されている必要があります。

- Open Transport Ver. 1.1.1 以上

参考	Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。

[モニタの設定] ダイアログ

EPSONプリンタウィンドウ!3 を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[モニタの設定] ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ機能を設定します。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して[通知する] チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

参考	お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③[標準に戻す] ボタン

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、[プリンタ詳細] ウィンドウにジョブ情報を表示します。

☞ 本書 171 ページ「[ジョブ情報] ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。

本書 172 ページ「[印刷終了通知]ダイアログ」

> **参考**
> ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する]と[印刷終了を通知する]が表示されます。
> 本書 168 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で[プリンタ詳細]ウィンドウを開くことができます。この[プリンタ詳細]ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も[プリンタ詳細]ウィンドウを表示することが可能です。

本書 170 ページ「[プリンタ詳細]ウィンドウ」

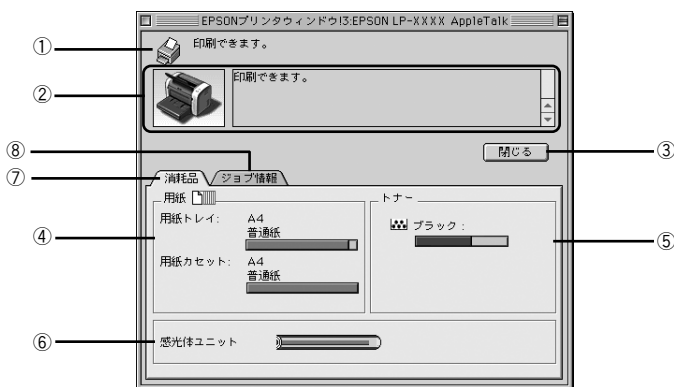
> **参考**
> EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが[セレクタ]で選択されているか確認してください。

[プリンタ詳細]ウィンドウの起動方法

[アップル]メニューから[EPSON プリンタウィンドウ !3]をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、[プリンタ詳細]ウィンドウが表示されます。

> **参考**
> アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。
> - [消耗品詳細]ボタンをクリックすると[プリンタ詳細]ウィンドウに切り替わります。
> - エラーが発生して[対処方法]ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 173 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦消耗品

ジョブ管理ができる場合に［消耗品］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

⑧ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

本書 171 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

参考

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。

本書 168 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

[ジョブ情報] ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報

ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品

[プリンタ詳細] ウィンドウを表示します。

本書 170 ページ「[プリンタ詳細] ウィンドウ」

③ジョブリスト

ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

参考	プリンタを直接（ローカル）接続したコンピュータから印刷されたジョブは表示されません。

④[情報の更新] ボタン

最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

⑤[印刷中止] ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、[印刷中止] ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

参考

印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。

本書 173 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 168 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

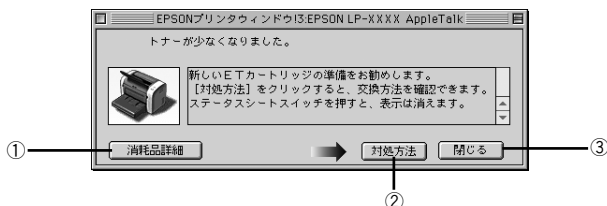
① 印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②［OK］ボタン

ダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 170 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

EPSON リモートパネル！

本機のさまざまな機能を設定するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。

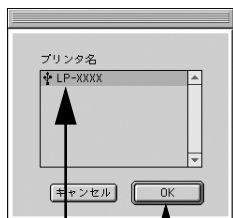
EPSON リモートパネル！の操作方法

1. プリンタの電源をオン（ I ）にします。

2. デスクトップの[EPSON リモートパネルLP-2500]アイコンをダブルクリックします。

3. プリンタの［接続方法］を選択して、［プリンタ選択］ボタンをクリックします。
   - USB 接続をしている場合は、［USB ポート］をクリックします。
   - オプションのEthernetインターフェイスカードをプリンタに装着してネットワーク環境に接続している場合は、［AppleTalk］をクリックします。

4. プリンタ名（LP-2500）をクリックして選択し、［OK］ボタンをクリックします。

USB 接続時

プリンタ名
LP-XXXX
キャンセル
OK
①選択して
②クリックします

AppleTalk 接続時

参考

- プリンタの情報が取得できない場合は、プリンタは選択できません。プリンタが正しく接続されているか、またプリンタの電源がオンになっているかどうか確認してください。
- AppleTalkゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。
- AppleTalk接続の場合は、プリンタ名が変更されている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。

5 ［設定］ボタンをクリックします。

参考

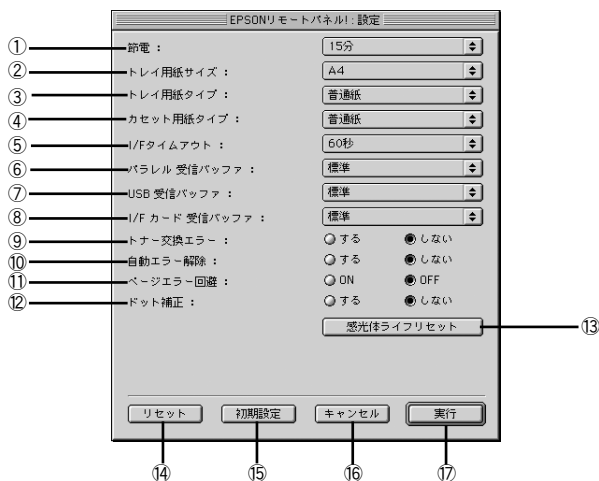
［ステータスシート］ボタンをクリックすると、現在の設定値一覧を印刷します。

6 ［設定］ダイアログで必要な設定を行ってから［実行］ボタンをクリックします。

本書176ページ「［設定］ダイアログ」

7 ［終了］ボタンをクリックします。

［設定］ダイアログ

EPSON リモートパネル！の［設定］ダイアログでは、以下の機能を設定できます。

参考	設定を変更した場合は［実行］ボタンをクリックすることで有効になります。

①節電

節電状態に入るまでの時間＊（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 15 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

＊　オフ（節電しない）の設定はできません。

②トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

参考	［用紙設定］ダイアログで設定した［カスタム用紙サイズ］は選択できません。 ☞本書 133 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

③トレイ用紙タイプ
用紙トレイにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHPシート、ラベル）を設定します。

- 印刷時に設定する［プリント］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションのロアーカセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［プリント］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
☞ 本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

④カセット用紙タイプ
オプションのロアーカセットユニットにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき）を設定します。

- 印刷時に設定する［プリント］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションのロアーカセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［プリント］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
☞ 本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

参考　オプションのロアーカセットユニットを装着している場合のみ設定できます。

⑤I/F タイムアウト
インターフェイスを自動切り替えするときのタイムアウト時間を、20～600 秒の範囲で 10 秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。

⑥パラレル受信バッファ
パラレルインターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑦USB 受信バッファ

USB インターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑧I/F カード受信バッファ

本機に装着したオプションのインターフェイスカードの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってから電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑨トナー交換エラー

ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

設定値	説明
しない（初期設定）	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。
する	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑩自動エラー解除

一部のエラー（ページエラーオーバーラン、用紙交換、メモリオーバー）が発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。

設定値	説明
しない（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、[印刷可] スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
する	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

⑪ページエラー回避

複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。

設定値	説明
OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
ON	ページエラー回避機能を使用します。

参考

- ページエラー回避機能を使用すると場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常はオフに設定し、ページエラーが発生するときだけオンに設定してください。
- ［ページエラー回避］をオンにすると、メモリ不足によるメモリオーバーエラーも回避できる場合があります。なお、オンにしてもメモリオーバーエラーが発生した場合は、メモリを増設してください（使用する［受信バッファ］の設定を［最小］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

⑫ドット補正

1200dpi 印刷時に極細線（1 ドット相当の細い線）がとぎれて印刷されてしまうときにドット補正を行います。

設定値	説明
しない（初期設定）	ドット補正を行いません。
する	ドット補正を行います。

参考

［印刷モード］が［CRT 優先］のときは有効になりません。

⑬［感光体ライフリセット］ボタン

［感光体ライフリセット］ダイアログが表示されます。感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットする場合は、［OK］ボタンをクリックします。

参考

新しい感光体ユニットと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は感光体ライフを正しく表示できなくなります。

⑭［リセット］ボタン

プリンタ本体に記憶されている設定値と［設定］ダイアログに表示されている設定値を、一度に工場出荷時の初期値に戻します。確認のダイアログが表示されますので、リセットを実行するかどうかを決定してください。

⑮［初期設定］ボタン

［設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。ただし、設定表示が初期設定になるだけですので、初期設定を有効にするには必ず［実行］ボタンをクリックしてください。

⑯［キャンセル］ボタン

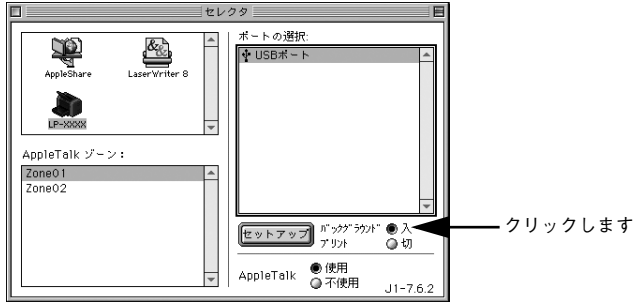
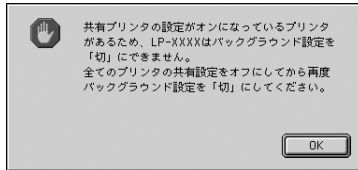
変更した設定を無効にします。

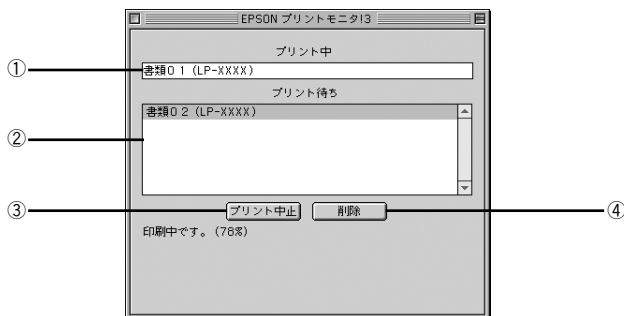
⑰［実行］ボタン

設定を変更した場合は必ずクリックしてください。設定値がプリンタのメモリに書き込まれて有効となります。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

参考

- ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。
- プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が使用できます。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

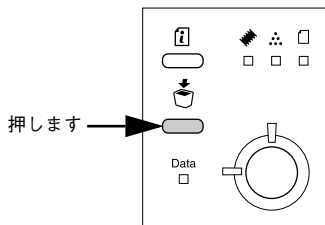
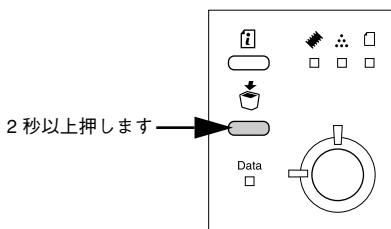
参考	印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

● 印刷中のデータ（ジョブ単位）を削除する場合は、[ジョブキャンセル] スイッチを押します。

● すべての印刷データを削除するには、[ジョブキャンセル] スイッチを約2秒以上押し続けます。プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 から印刷を中止します。**

① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
　☞ 本書 182 ページ「印刷状況を表示する」
② EPSONプリントモニタ!3で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

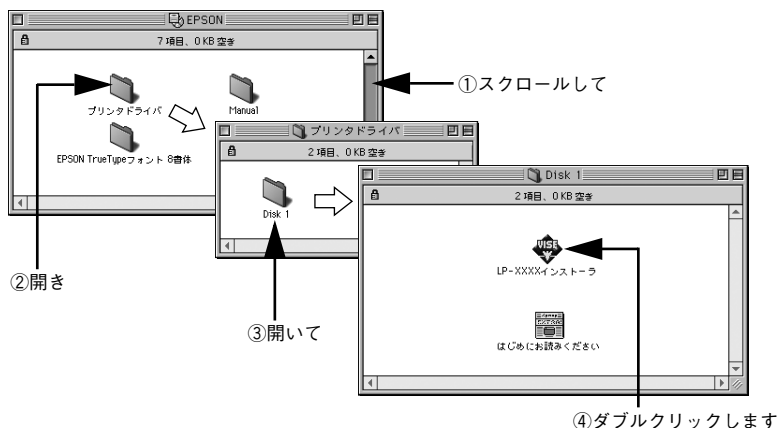
プリンタソフトウェアの削除方法

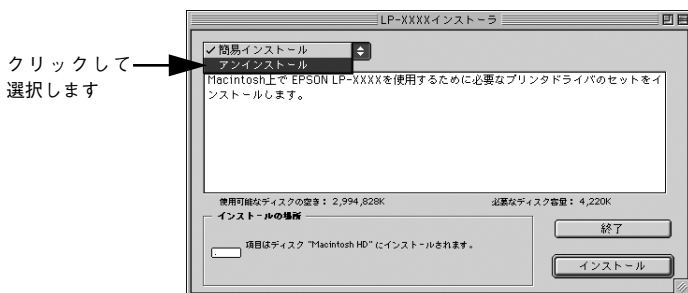
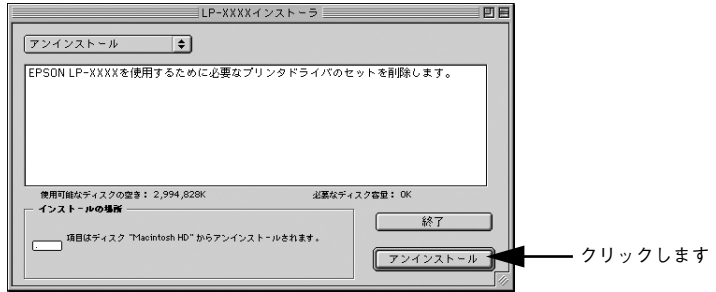
プリンタソフトウェアを削除する手順は以下の通りです。

参考	［EPSON リモートパネル LP-2500］をデスクトップ以外の場所に移動してある場合は、削除されません。

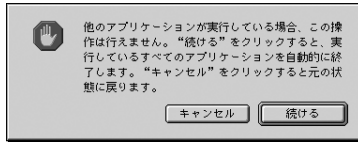
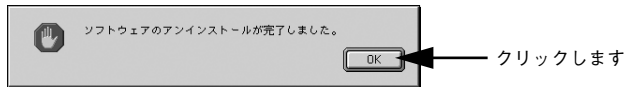
1. **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。**

2. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。**

3. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［プリンタドライバ］－［Disk 1］の順に開き、［LP-2500 インストーラ］をダブルクリックします。**
［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

4. **使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。**

5. **インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。**

6 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

Mac OS X(10.2.x)をお使いの方へ

プリンタドライバの詳細説明と、Mac OS X でお使いの際に関係する情報について説明しています。

印刷を始める前に

Mac OS X をお使いの方へのお願い

- Mac OS X でのご利用にあたっては、OS あるいはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細については下記ホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- プリンタドライバに依存しない OS の機能については、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。

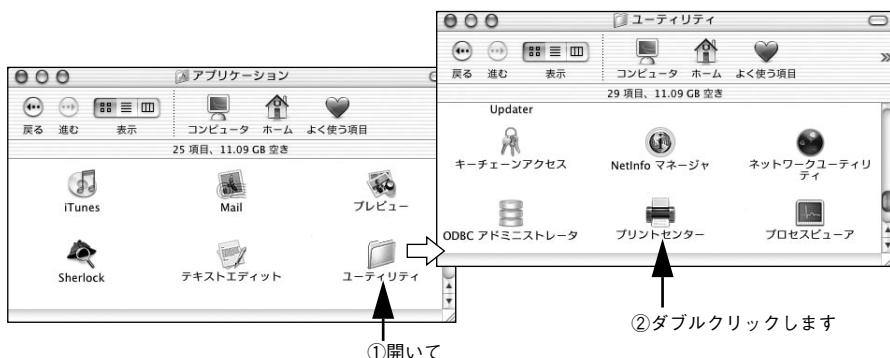
［プリントセンター］へのプリンタの追加

「セットアップガイド」の説明に従って、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタソフトウェアのインストールは終了していますか。ここでは、［プリントセンター］にプリンタを追加する手順を詳しく説明します。

- すでに本機を追加している場合は、再度追加する必要はありません。
- 追加したプリンタを削除しない限り、印刷のたびに追加する必要はありません。
- 複数のプリンタを追加している場合は、通常（デフォルトで）使うプリンタを選択できます（プリンタはアプリケーションソフトの［プリント］ダイアログからも選択できます）。

1 プリンタの電源をオン (I) にします。

> **参考**
> USB インターフェイスケーブル接続の場合、プリンタの電源をオン (I) にするだけで印刷の準備は終了です。ネットワーク接続したプリンタを登録したり、3 の［プリンタリスト］でプリンタを確認する場合のみ、以下の手順に従ってください。

2 ［アプリケーション］フォルダから［ユーティリティ］フォルダを開いて、［プリントセンター］をダブルクリックします。

3 ［追加］をクリックします。

- USB接続でもなんらかの理由でプリンタが追加されていない場合やネットワーク接続の場合は、［追加］をクリックして次の 4 に進みます。
- プリンタが追加されていれば、［追加］をクリックしないでそのまま 6 へ進みます。

4 ［EPSON USB］、［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。

- USB 接続の場合：［EPSON USB］を選択します。
- ネットワーク接続の場合：［EPSON AppleTalk］、［EPSON TCP/IP］または［Rendezvous］を選択します。なお、AppleTalk ゾーンを設定している場合は、［ApleTalk Zone］を選択します。

< USB 接続の場合>

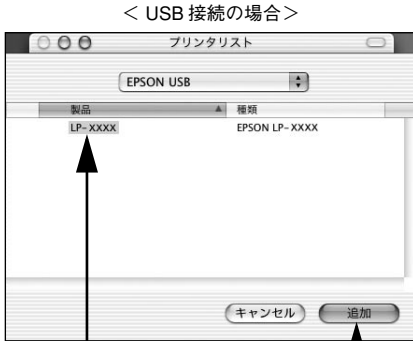
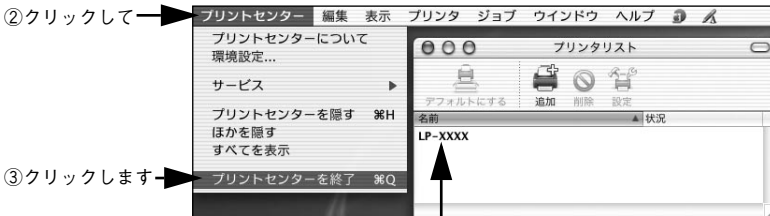
< EPSON AppleTalk接続の場合>

参考

- プリンタ名がリストに表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- オプションのインターフェイスカード（PRIFNW3S）を装着してネットワーク環境に接続している場合は、ネットワークプリンタとして共有できます。
- Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalk が使用できない場合は、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［ApplTalk］タブで使用可能になっているか確認してください。
- AppleTalkゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

5 お使いのプリンタ名（LP-2500）を選択して、［追加］をクリックします。

< USB 接続の場合>

< EPSON AppleTalk接続の場合>

6 プリンタ名（LP-2500）がリストに登録されたことを確認して、［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］をクリックします。

参考

- 複数のプリンタを追加している場合は、通常使うプリンタ（デフォルトプリンタ）として追加されます。
- デフォルトプリンタを変更するには、プリンタの名前をクリックして［デフォルトにする］をクリックします（プリンタ名が太文字で表示されます）。
- 印刷時に［プリント］ダイアログで別のプリンタを選択すると、そのプリンタが新しいデフォルトプリンタになります。

以上でプリンタの追加は終了です。印刷を始めていただけます。

☞ 本書 190 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

ページ設定

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、「テキストエディット」を例に説明します。

参考	用紙設定をする前に、お使いのプリンタが［プリントセンター］に登録されているか確認してください。 ☞本書 187 ページ「印刷を始める前に」

1. ［アプリケーション］フォルダ内の［テキストエディット］アイコンをダブルクリックして起動します。

2. ［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックします。

3. ［対象プリンタ］メニューからお使いのプリンタ（LP-2500）を選択して、必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 192 ページ「［ページ設定］ダイアログ」
☞ 本書 193 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4. ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

プリント設定

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

参考	アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

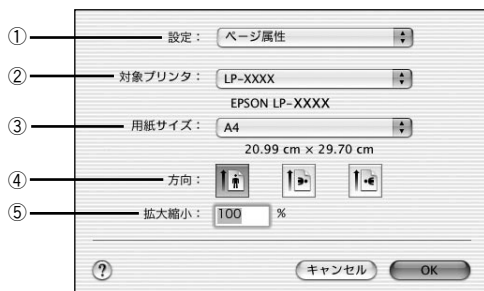
2 **印刷に必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 195 ページ「［プリント］ダイアログ」
本書 196 ページ「［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ」
本書 197 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
本書 198 ページ「［出力オプション］ダイアログ」
本書 199 ページ「［印刷設定］ダイアログ」
本書 202 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
本書 203 ページ「［カラー / グラフィック設定］ダイアログ」
本書 205 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」
本書 206 ページ「［一覧］ダイアログ」

3 **［プリント］ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

［ページ設定］ダイアログ

［ページ設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①設定

［ページ属性］、［カスタム用紙サイズ］、［一覧］ダイアログを切り替えます。

項目	説明
ページ属性	用紙サイズ、印刷方向、拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙サイズ］メニューから選択できます。 本書 193 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
一覧	［ページ設定］ダイアログの設定一覧を確認できます。

②対象プリンタ

どのプリンタを対象にページ属性を設定するか、プリンタ名を選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

③用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

④方向

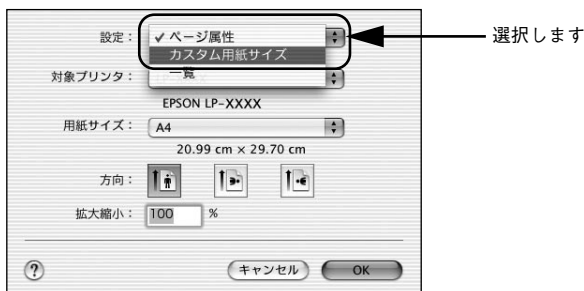
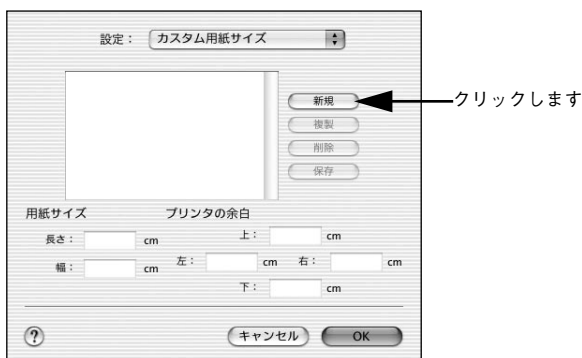
用紙に対する印刷の向きをクリックして選択します。

⑤拡大縮小

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズをカスタム用紙サイズとして登録することができます。

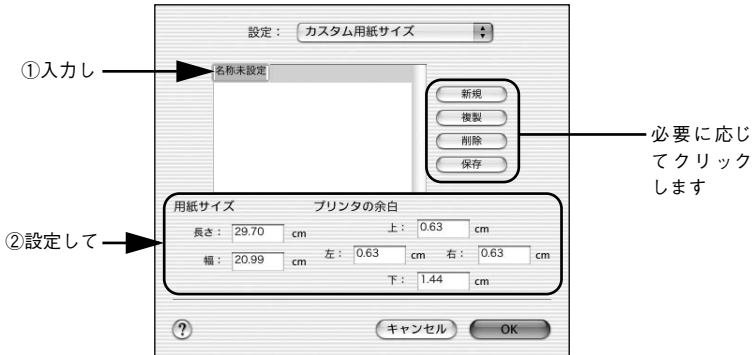
1. ［ページ設定］ダイアログを開き、［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。

2. ［新規］ボタンをクリックします。

3 **用紙サイズ名、用紙サイズ（長さ、幅）、プリンタの余白（上下左右）を設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

本機で使用できる用紙サイズの範囲は以下 *1 の通りです。

用紙幅：7.62 〜 21.60cm（3.00 〜 8.50 インチ *2）

用紙長：12.70 〜 35.56cm（5.00 〜 14.00 インチ *2）

*1 本機で有効な値です。設定を保存した際に、入力した値が OS の計算により変わる場合があります。（例：用紙幅の有効最大値は21.60cm ですが、21.59cmとして保存されます。）

*2 設定の単位をインチにするには、[システム環境設定] から [言語環境] を開き、[数] タブをクリックして [計測単位] を [ヤード・ポンド法] に設定します。

参考

- すでに登録されている用紙サイズを複製する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、[複製] ボタンをクリックします。必要に応じて設定を変更してから [保存] ボタンをクリックします。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、リストから変更したい用紙サイズを選択し、設定を変更して [保存] ボタンをクリックします。
- カスタム用紙サイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。また、本機のプリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

4 **[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。**

ここで定義した用紙サイズが [ページ属性] の [用紙サイズ] リストから選択できるようになります。

参考

不定形紙への印刷は､いくつか注意していただく点がありますので､以下のページを参照してから印刷を実行してください。

本書 250 ページ「不定形紙への印刷」

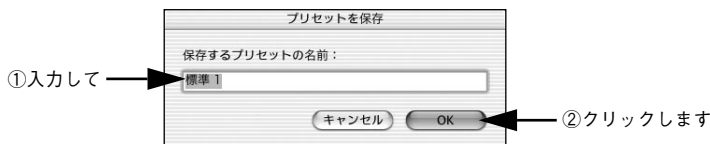
［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。設定を行うダイアログは、メニューから選択してください。

①プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。また、［プリンタリストを編集］を選択すると、［プリントセンター］の［プリンタリスト］を開くことができます。

②プリセット

［プリント］ダイアログのすべての設定を保存し、あとでまとめて呼び出すことができます。必要な設定を変更したら、メニューから［別名で保存］を選択して保存名を指定して保存してください。

保存した設定を変更したり、名称変更や削除もできます。対象となる設定名を［プリセット］メニューから選択して、さらに［保存］、［名称変更］、または［削除］をメニュー選択してください。

③設定ダイアログメニュー

［プリント］ダイアログの設定画面を切り替えます。

④プレビュー

印刷されるままの状態を画面で確認できます。

⑤PDF として保存

印刷する代わりに、PDF ファイルとして保存できます。

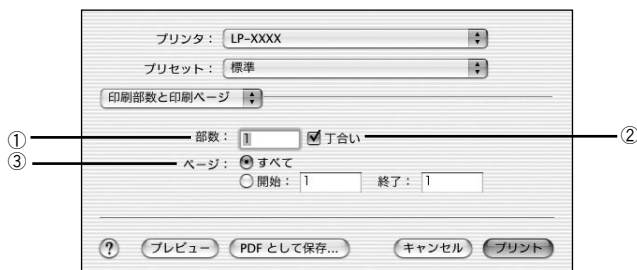
⑥キャンセル

印刷を中止します。

⑦プリント

印刷を実行します。

［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［印刷部数と印刷ページ］を選択すると、印刷部数や印刷範囲を設定できます。

① 部数

印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、②の［丁合い］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

②丁合い

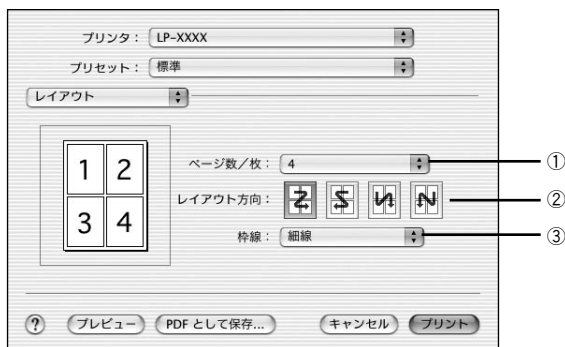
2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

参考	アプリケーションソフト側で部単位（丁合い）印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［丁合い］で設定してください。

③ページ

すべてのページを印刷する場合は［すべて］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを入力します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］を選択すると、連続したページを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷できます。

①ページ数 / 枚

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

本書 197 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

②レイアウト方向

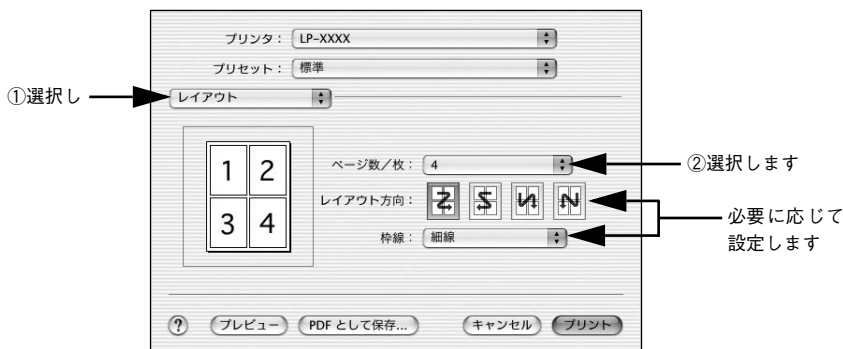
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。

③枠線

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときに、線の種類を選択します。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2. ［プリント］ボタンをクリックして印刷を実行します。

[出力オプション]ダイアログ

[プリント]ダイアログで[出力オプション]を選択すると、印刷する代わりにファイルとして保存できます。

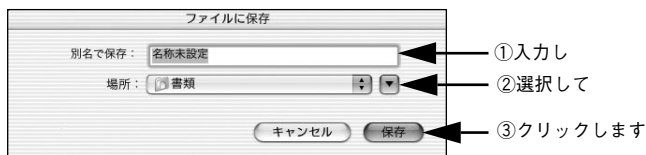
①ファイルとして保存

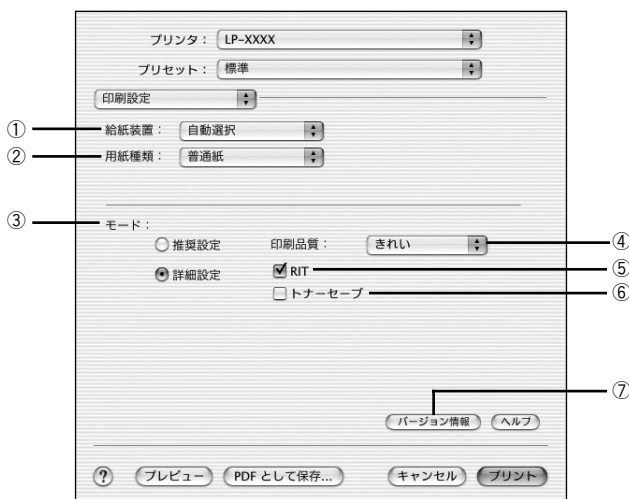
印刷する代わりにファイルとして保存する場合に、チェックマークを付けます。

②フォーマット

ファイルとして保存する場合の保存形式(フォーマット)を選択します。

③保存

ファイルとして保存する場合は、[保存]ボタンになります。クリックすると保存名と保存先を指定してから、さらに[保存]ボタンをクリックしてください。

［印刷設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［印刷設定］を選択すると、印刷に関わるさまざまな基本機能が設定できます。

① 給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］と［用紙種類］の設定に合った用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイまたは手差しガイドから給紙する場合に選択します。
用紙カセット 1	オプションの用紙カセットから給紙する場合に選択します。

参考

指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラーが発生します（用紙サイズチェック機能有効時）。なお、［用紙サイズのチェックをしない］を有効 / 無効に設定するには、［拡張設定］ダイアログで行います。

本書 202 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

②用紙種類

特殊紙（OHP シート、ラベル紙、厚紙）に印刷する場合、または「用紙タイプ選択機能」を使用する場合に選択します。

本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

項目	説明
指定しない	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用しないときに選択します。
普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき	普通紙タイプの用紙に印刷する場合で「用紙タイプ選択機能」を使用するときに選択します。「給紙装置」は［自動選択］に設定されます。
OHP シート、ラベル、厚紙（大）、厚紙（小）	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］は［用紙トレイ］に設定されます。厚紙の場合は、使用する用紙サイズによって設定は以下のように異なります。 • 厚紙（大）： 用紙の横幅が 133mm 以上（A5、B5、A4、Half-Letter など）の厚紙を使用する場合に選択します。 • 厚紙（小）： 用紙の横幅が 133mm 未満の厚紙を使用する場合に選択します。

参考

- EPSONリモートパネル!で用紙のタイプを設定していない場合は、「用紙タイプ選択機能」は使用できません。
  本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」
- 用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

③モード

項目	説明
推奨設定	一般的に推奨できる条件で印刷する場合にクリックします。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。
詳細設定	RIT とトナーセーブ機能が設定できます。

④印刷品質

［推奨設定］を選択した場合は、印刷品質（解像度）を［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げれば細かいドットできれいに印刷できます。［詳細設定］を選択した場合は、さらに［1200dpi］が設定できます。

項目	説明
はやい	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。
1200dpi	［きれい］の 2 倍の解像度でさらにきれいに印刷できます。ただし、プリンタはより多くのメモリを必要とします。

参考

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。
- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［印刷品質］を［はやい］に設定する。
- プリンタのメモリを増設する。
- Macintosh 本体のメモリを増設する。

⑤ RIT

［詳細設定］を選択すると、RIT 機能を設定できます。RIT*1（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。ただし、［印刷品質］を［1200dpi］に設定した場合は、RIT 処理を使用する必要がないので設定できません。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の輪郭補正機能です。

参考

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

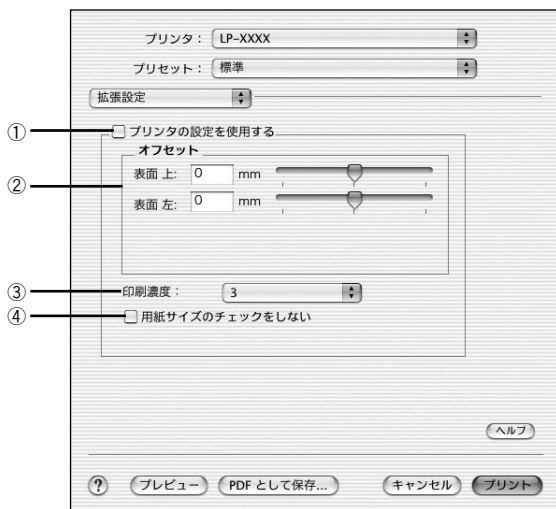
⑥ トナーセーブ

［詳細設定］を選択すると、トナーセーブ機能を設定できます。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

⑦［バージョン情報］ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［拡張設定］を選択すると、印刷に関わるさまざまな拡張機能を設定できます。

①プリンタの設定を使用する

以下の②［オフセット］、③［印刷濃度］、④［用紙サイズのチェックをしない］は、プリンタ本体とプリンタドライバどちらの設定を優先するかを選択できます。

- チェックマークを付けると、プリンタ本体の設定を優先します（プリンタドライバでは設定できません）。
- チェックマークを外すと、ここ（プリンタドライバ）での設定を優先します（プリンタ本体の設定を無視します）。

②オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-30mm（上方向）～ 30mm（下方向）
左（水平位置）：-30mm（左方向）～ 30mm（右方向）

③印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

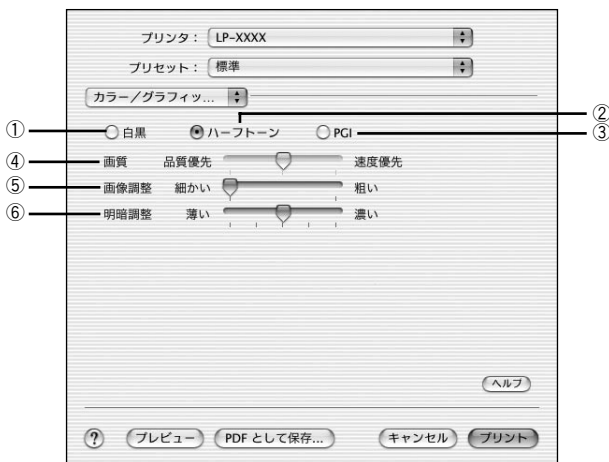
参 考

- ［印刷濃度］の調整は、主にグラフィックに有効です。
- ［印刷濃度］を設定しても思った通りの印刷結果にならない場合は、［明暗調整］を調整することにより改善される場合があります。詳しくは以下のページを参照してください。
☞ 本書 203 ページ「［カラー / グラフィック設定］ダイアログ」

④用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

［カラー / グラフィック設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［カラー / グラフィック設定］選択すると、グラフィック印刷に関わる機能を詳細に設定できます。

①白黒

グレースケールや中間色を再現しない、モノクロ印刷を行います。ただし、［印刷設定］ダイアログで［印刷品質］を［1200dpi］に設定した場合は、常にハーフトーン処理を行うので設定できません。

②ハーフトーン

グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

③PGI

PGI*1(Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を PGI 処理してきれいに印刷できます。ただし、［印刷設定］ダイアログで［印刷品質］を［1200dpi］に設定した場合は、PGI 処理を使用する必要がないので設定できません。

*1 PGI：階調表現力を 3 倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。

参考

- プリンタのメモリが少ないと、[PGI] で印刷できない場合があります。[PGI] 処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300dpi) に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI] を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は [PGI] 以外の設定にして印刷してください。

④画質

[PGI] を選択したときのみ、[画質] を 3 段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は [速度優先] に、印刷品質を上げたい場合は [品質優先] に設定します。

⑤画像調整

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。[細かい] 側にスライドするとより細かく、[粗い] 側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

⑥明暗調整

[ハーフトーン] または [PGI] 選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[薄い] 側にスライドするとより明るく、[濃い] 側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5 段階に調整できます。

［ユーティリティ］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［ユーティリティ］を選択すると、プリンタのユーティリティ機能を設定できます。

①EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使って、プリンタをモニタする場合は［プリンタをモニタする］にチェックマークを付けます。また、アイコンをクリックすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面が表示されます。

本書 209 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

②EPSON リモートパネル！

EPSON リモートパネル！を起動する場合に、アイコンをクリックします。

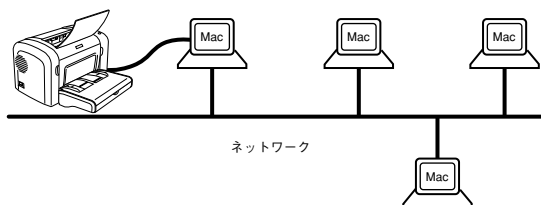
本書 217 ページ「EPSON リモートパネル !」

［一覧］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［一覧］を選択すると、［プリント］ダイアログのすべての設定を一覧で表示しますので、すべての設定を一度に確認できます。

Macintosh でプリンタを共有するには

プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。

参考

- Mac OS X 10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーの Macintosh が Mac OS X 10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- プリンタに装着したオプションのインターフェイスカードを介してネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接［プリントセンター］からプリンタを追加して印刷することができます。
  本書 187 ページ「印刷を始める前に」

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン (I) にします。**

2. **［Dock］または［アプリケーション］フォルダから［システム環境設定］を開き［共有］をクリックします。**

3 ［プリンタ共有］をクリックして［開始］をクリックします。

参考

- プリンタの共有を停止する場合は、［停止］をクリックします。
- 上記画面の［コンピュータ名］、［Rendezvous 名］、［ネットワークアドレス］は、ネットワーク環境によって異なります。

4 ［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］をクリックします。

以上で、共有の設定は終了です。

共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタは、各ユーザーの［プリントセンター］に自動的に追加されます。通常の方法でアプリケーションソフトの［ページ設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

参考

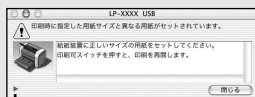
- Mac OS X 10.2 以降のプリンタ共有機能は、各ユーザーの Macintosh が Mac OS X 10.2 以降で起動している場合のみご利用いただけます。
- 共有プリンタの電源がオフ（○）でも、各ユーザーの［プリントセンター］に共有プリンタが表示されたままの場合があります。
- 共有プリンタを直接接続している Macintosh がシステム終了すると、共有プリンタは各ユーザーの［プリントセンター］から自動的に消えます。
- 各ユーザーの［プリントセンター］に複数のプリンタが追加されている場合は、共有プリンタをデフォルトプリンタとして選択するか、印刷のたびに共有プリンタを選択してください。

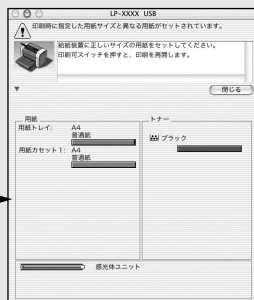
EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。また、ネットワークプリンタをモニタしてプリントジョブ情報を表示したり印刷終了のメッセージを表示することもできます。

プリンタエラーを表示します

ポップアップウィンドウ

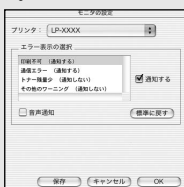
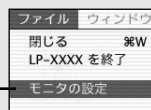
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時や消耗品残量が少なくなったときなどのプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

［ユーティリティ］ダイアログの EPSON プリンタウィンドウ !3 アイコンをクリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

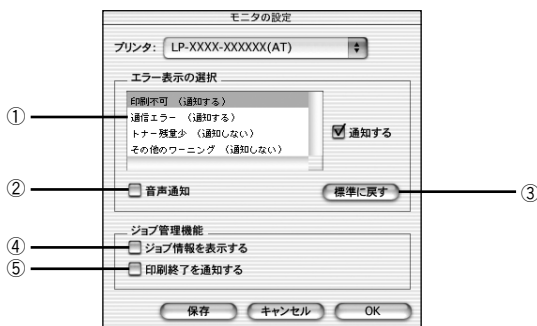
どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［ファイル］メニューから［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

ジョブ管理を行うための条件

ジョブ管理機能を使用するには、プリンタが以下の条件でネットワーク接続されている必要があります。

- Open Transport Ver. 1.1.1 以上

参考	Ethernet ネットワークに接続して使用するには、オプションの Ethernet インターフェイスカードが必要です。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［モニタの設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ機能を設定します。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して［通知する］チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

参考	お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④ジョブ情報を表示する

ジョブ管理ができる場合に、［プリンタ詳細］ウィンドウにジョブ情報を表示します。

本書 214 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

⑤印刷終了を通知する

ジョブ管理ができる場合に、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。
☞ 本書 215 ページ「[印刷終了通知］ダイアログ」

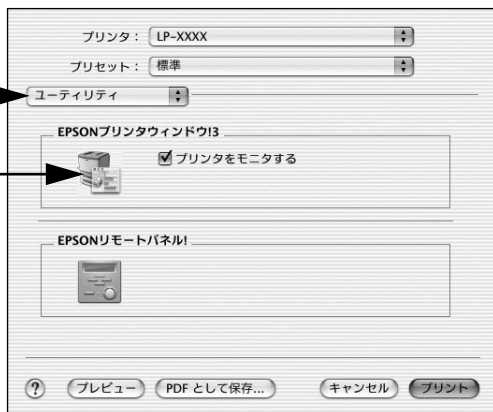
> **参考**
> ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、[ジョブ情報を表示する］と［印刷終了を通知する］が表示されます。
> ☞本書 210 ページ「ジョブ管理を行うための条件」

プリンタの状態を確かめるには

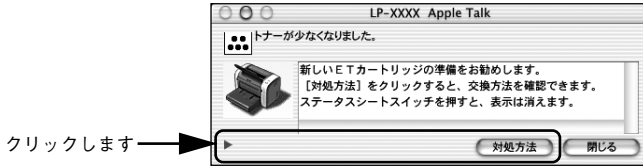
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することが可能です。
☞ 本書 212 ページ「[プリンタ詳細］ウィンドウ」

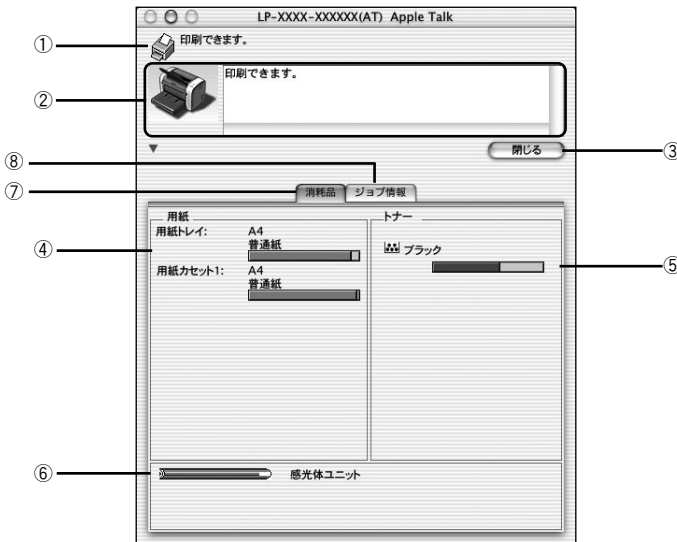
> **参考**
> EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［プリントセンター］で追加 / 選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［プリント］ダイアログから［ユーティリティ］を選択して［EPSON プリンタウィンドウ !3］のアイコンをクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

参考

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ▶（[消耗品詳細]）ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞ 本書 216 ページ「対処が必要な場合は」

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

④用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。

⑤トナー

ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑥感光体ユニット

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦消耗品

ジョブ管理ができる場合に［消耗品］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

⑧ジョブ情報

ジョブ管理ができる場合に［ジョブ情報］ウィンドウを表示させるときにクリックします。

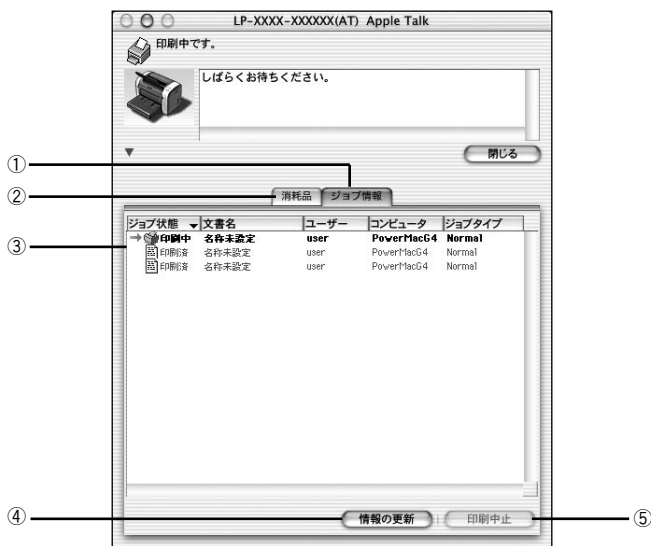
本書 214 ページ「［ジョブ情報］ウィンドウ」

参考

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に、［ジョブ情報］が表示されます。

本書 210 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

［ジョブ情報］ウィンドウ

ネットワークプリンタのジョブ情報がモニタできるように設定されている場合に表示され、プリントジョブ情報を表示します。

①ジョブ情報
ネットワークプリンタから取得したプリントジョブ情報を表示します。

②消耗品
［プリンタ詳細］ウィンドウを表示します。
本書 212 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

③ジョブリスト
ジョブの状態（待機中、印刷中、印刷済、削除済）、文書名、ユーザー名、コンピュータ名を、ジョブごとに表示します。リスト一番左の赤い矢印は、印刷中のジョブのうち実際に印刷を行っているジョブを表しています。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブに関しては、以下の情報は表示しません。

- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

> **参 考** プリンタを直接（ローカル）接続したコンピュータから印刷されたジョブは表示されません。

④［情報の更新］ボタン
最新のジョブ情報をプリンタから取得して、リストの表示を更新します。

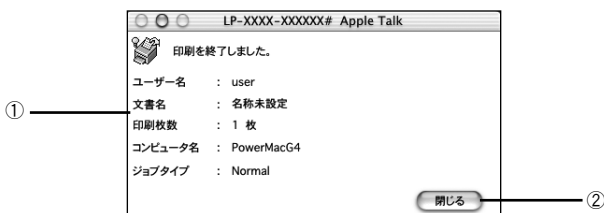
⑤［印刷中止］ボタン

印刷を中止するには、ジョブリストに表示されている印刷中または待機中のジョブをクリックして選択し、［印刷中止］ボタンをクリックします。なお、ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの印刷を中止することはできません。

参考	印刷中止を実行した後でエラーが発生した場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のメッセージに従ってエラーを解除してください。 本書 216 ページ「対処が必要な場合は」

［印刷終了通知］ダイアログ

印刷の終了が通知できるように設定されている場合は、ジョブの印刷終了時にメッセージを表示します。設定方法については、以下のページを参照してください。

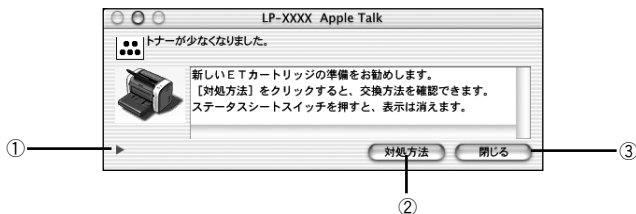
本書 210 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

①印刷終了通知

印刷が終了したジョブのユーザー名、文書名、印刷総数、コンピュータ名を表示します。

②［閉じる］ボタン

ダイアログを閉じます。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①（［消耗品詳細］）ボタン

クリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 212 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

③［閉じる］ボタン

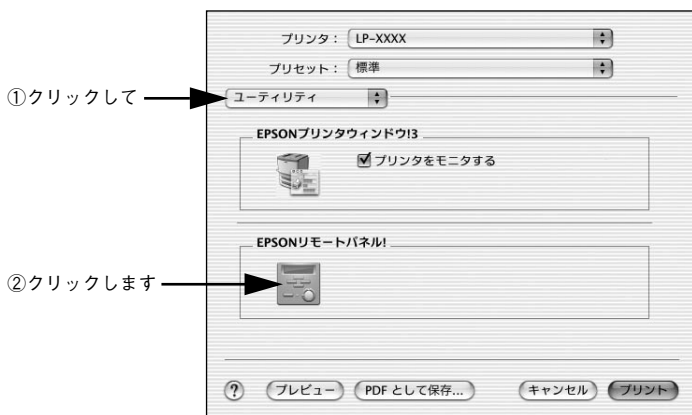
ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

EPSON リモートパネル！

本機のさまざまな機能を設定するには、EPSON リモートパネル！をお使いください。

EPSON リモートパネル！の操作方法

1 **プリンタの電源をオン（ I ）にします。**

2 **［プリント］ダイアログから［ユーティリティ］を選択して、［EPSON リモートパネル！］アイコンをクリックします。**

3 **プリンタ名（LP-2500）を確認して、［設定］ボタンをクリックします。**

＜例＞USB 接続の場合

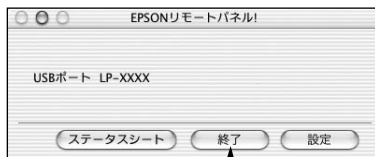
参考

- プリンタの情報が取得できない場合は、警告メッセージが表示されます（プリンタ名は表示されません）。プリンタが正しく接続されているか、またプリンタの電源がオンになっているかどうか確認してください。
- ［ステータスシート］ボタンをクリックすると、現在の設定値一覧を印刷します。

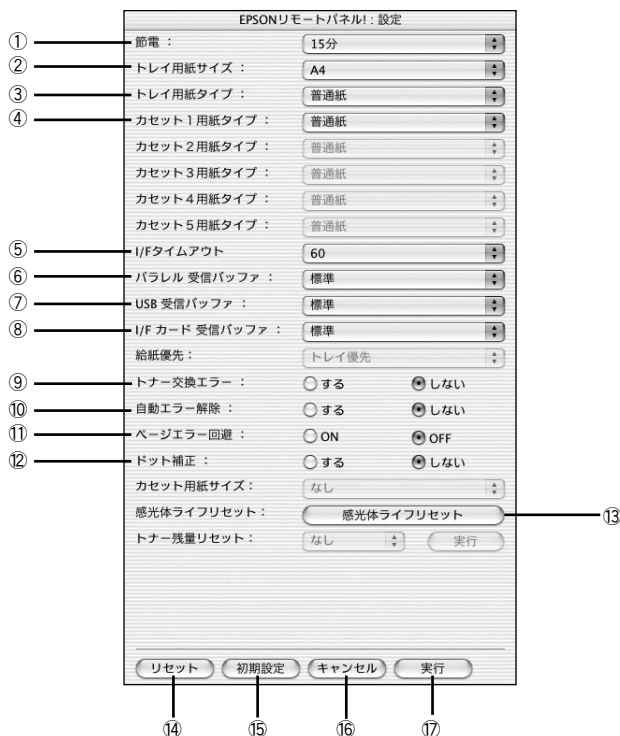
4 **［設定］ダイアログで必要な設定を行ってから［実行］ボタンをクリックします。**

本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」

5 ［終了］ボタンをクリックします。

<例>USB 接続の場合

以上で設定作業は終了です。

［設定］ダイアログ

EPSON リモートパネル！の［設定］ダイアログでは、以下の機能を設定できます。

参考	● 本機に必要のない設定はグレーで表示されています（設定は変更できません）。 ● 設定を変更した場合は［実行］ボタンをクリックすることで有効になります。

①節電

節電状態に入るまでの時間＊（5分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 15 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

＊　オフ（節電しない）の設定はできません。

②トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

参考	［用紙設定］ダイアログで設定した［カスタム用紙サイズ］は選択できません。 本書 193 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

③トレイ用紙タイプ
用紙トレイにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき、OHPシート、ラベル）を設定します。

- 印刷時に設定する［プリント］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションのロアーカセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［プリント］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
  本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

④カセット 1 用紙タイプ
オプションのロアーカセットユニットにセットした用紙のタイプ（普通紙、レターヘッド、再生紙、色つき）を設定します。

- 印刷時に設定する［プリント］ダイアログの［用紙種類］と合わない場合は、最良の印刷結果が得られません。
- 標準の用紙トレイとオプションのロアーカセットユニットに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合は、給紙装置ごとに用紙のタイプを設定します。印刷時に［プリント］ダイアログの［用紙種類］を指定することにより、同じ用紙サイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
  本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

参考
オプションのロアーカセットユニットを装着している場合のみ設定できます。

⑤I/F タイムアウト
インターフェイスを自動切り替えするときのタイムアウト時間を、20 〜 600 秒の範囲で 10 秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。

⑥パラレル受信バッファ
パラレルインターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑦USB 受信バッファ

USB インターフェイスの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後に必ず電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑧I/F カード受信バッファ

本機に装着したオプションのインターフェイスカードの受信バッファを設定します。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってから電源の再投入をしてください。

設定値	説明
標準（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
最大	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
最小	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

⑨トナー交換エラー

ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

設定値	説明
しない（初期設定）	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。
する	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

⑩自動エラー解除

一部のエラー（ページエラーオーバーラン、用紙交換、メモリオーバー）が発生した場合、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。

設定値	説明
しない（初期設定）	上記のエラーが発生した場合、[印刷可］スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止して処理を再開しません。
する	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約 5 秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

⑪ページエラー回避

複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。

設定値	説明
OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
ON	ページエラー回避機能を使用します。

参考

- ページエラー回避機能を使用すると場合によっては印刷時間が長くなりますので、通常はオフに設定し、ページエラーが発生するときだけオンに設定してください。
- ［ページエラー回避］をオンにすると、メモリ不足によるメモリオーバーエラーも回避できる場合があります。なお、オンにしてもメモリオーバーエラーが発生した場合は、メモリを増設してください（使用する［受信バッファ］の設定を［最小］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

⑫ドット補正

1200dpi 印刷時に極細線（1 ドット相当の細い線）がとぎれて印刷されてしまうときにドット補正を行います。

設定値	説明
しない（初期設定）	ドット補正を行いません。
する	ドット補正を行います。

⑬［感光体ライフリセット］ボタン

［感光体ライフリセット］ダイアログが表示されます。感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットする場合は、［OK］ボタンをクリックします。

参考

新しい感光体ユニットと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は感光体ライフを正しく表示できなくなります。

⑭［リセット］ボタン

プリンタ本体に記憶されている設定値と［設定］ダイアログに表示されている設定値を、工場出荷時の初期値に戻します。確認のダイアログが表示されますので、リセットを実行するかどうかを決定してください。

⑮［初期設定］ボタン

［設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。ただし、設定表示が初期設定になるだけですので、初期設定を有効にするには必ず［実行］ボタンをクリックしてください。

⑯［キャンセル］ボタン

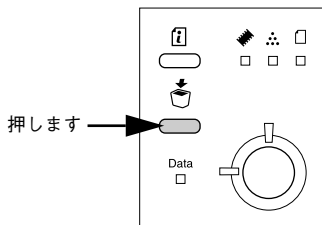
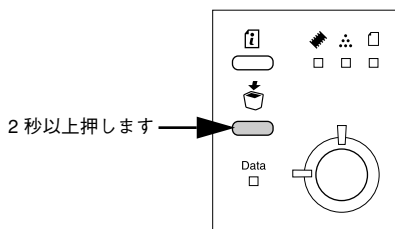
変更した設定を無効にします。

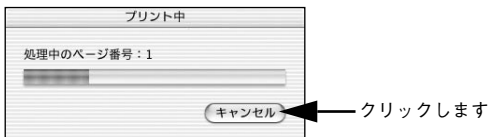
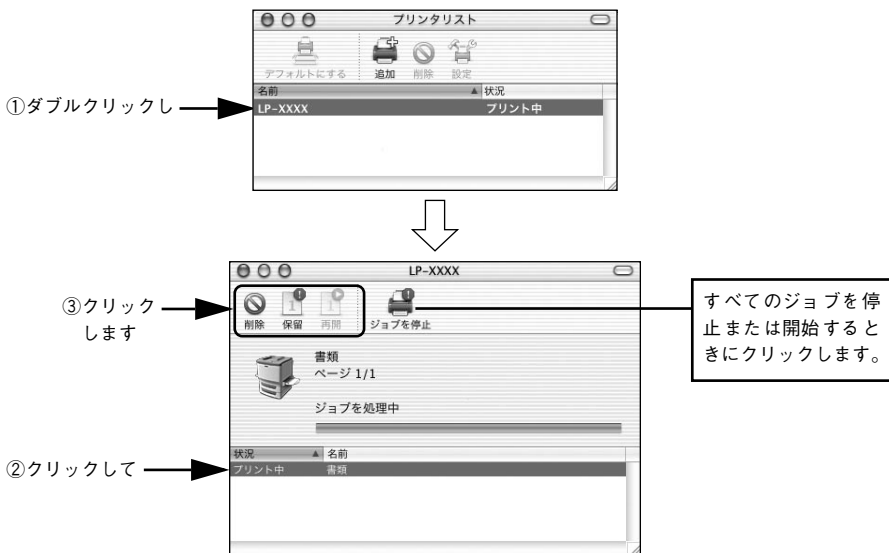
⑰［実行］ボタン

設定を変更した場合は必ずクリックしてください。設定値がプリンタのメモリに書き込まれて有効となります。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法でプリンタ上の印刷データを削除します。

● 印刷中のデータ（ジョブ単位）を削除する場合は、［ジョブキャンセル］スイッチを押します。

● すべての印刷データを削除するには、［ジョブキャンセル］スイッチを約 2 秒以上押し続けます。プリンタが受信したすべての印刷データが消去され、データランプが消灯します。

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- **印刷中のダイアログが表示されている場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン([キャンセル] など)をクリックして印刷を強制的に終了します。

- **印刷中は [Dock] に [プリントセンター] が現れます。[プリントセンター] を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。**

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタソフトウェアを削除する手順は以下の通りです。

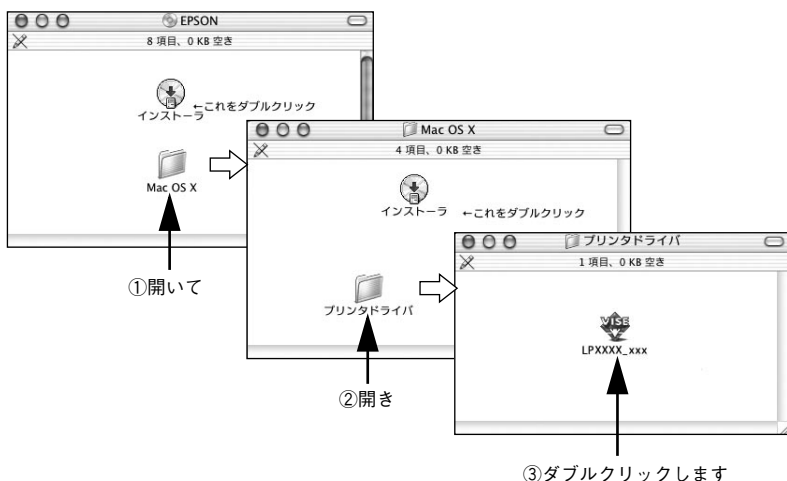
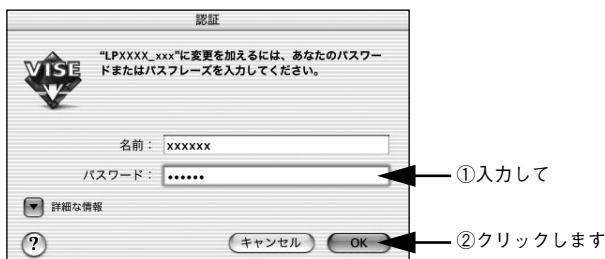
参考	プリンタソフトウェアのアンインストール（削除）は、管理者権限をお持ちの方が行ってください。

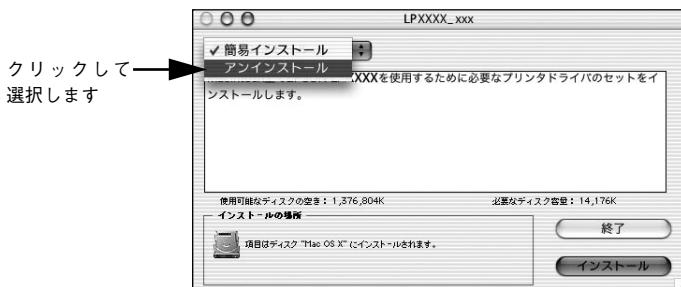
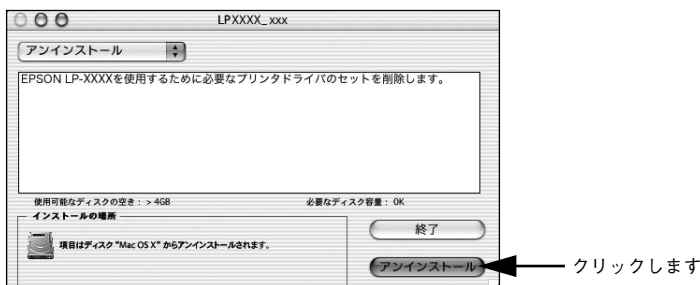
1. **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。**

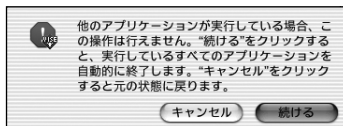
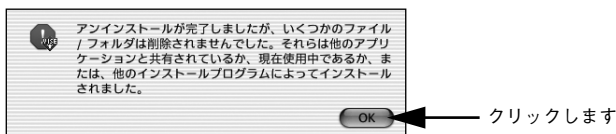
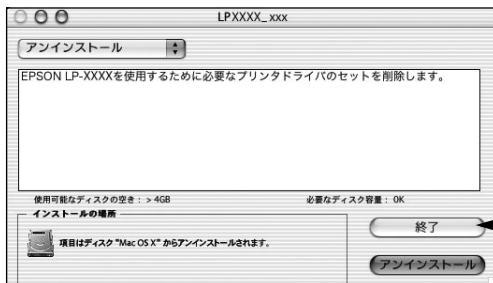
2. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。**

3. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Mac OS X］－［プリンタドライバ］の順に開き、［LP2500_xxx*］をダブルクリックします。**

［プリンタドライバ］フォルダが表示されていない場合は、［インストーラ］アイコンが表示されているフォルダ内を下にスクロールしてください。

*　例えば「10a」のようにインストーラのバージョンを表示します。

4. **［パスワード］を入力して［OK］をクリックします。**

5 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

6 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

7 ［アンインストール］ボタンをクリックします。
プリンタソフトウェアの削除が始まります。

参 考

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

使用可能な用紙と給紙方法

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

本書 243 ページ「特殊紙への印刷」

普通紙	普通紙 再生紙 *1	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙です。 紙厚は 60 〜 90g/m^2 の範囲内のものをお使いください。
	レターヘッド *2 (プレプリント紙)	罫線や会社のロゴなどが印刷された紙です。モノクロレーザープリンタ、またはカラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで一度印刷した用紙をプレプリント紙として使用することはできません。
	ボンド紙	印刷適性、耐久性に優れた、かたく締まった厚目の用紙です。紙厚が 90 〜 163g/m^2 *5 のものを使用する場合は、印刷前に用紙種類を［厚紙（大）］または［厚紙（小）］に設定してください。
	色つき *2	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。
特殊紙	官製ハガキ *3	官製ハガキが使用可能です。往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。
	封筒 *4	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号 /4 号 /6 号、長形 3 号 /4 号、角形 3 号です。紙厚が 85g/m^2 のものをお勧めします。
	厚紙 *5	紙厚が 90 〜 163g/m^2 の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートをお使いください。
	不定形紙	用紙幅が 76.2 〜 216.0mm、用紙長が 127.0 〜 355.6mm、紙厚が 60 〜 163g/m^2 の範囲内のものをお使いください。

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 〜 25 度、湿度 40 〜 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 耐熱温度 200 度以下でインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

*3 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、四面連刷ハガキは使用できません。

本書 315 ページ「給紙ローラのクリーニング」

*4 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

*5 厚紙の用紙厚は 90g/m^2 を超えて 163g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「90 〜 163g/m^2」という記載をしています。また、厚紙の用紙サイズによって、プリンタドライバでの設定が異なります。
厚紙（大）：用紙の横幅が 133mm 以上（A5、B5、A4、Half-Letter など）
厚紙（小）：用紙の横幅が 133mm 未満

本書 247 ページ「厚紙への印刷」

参考

- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、官製ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で一度印刷した後の裏紙
- カラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- 一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

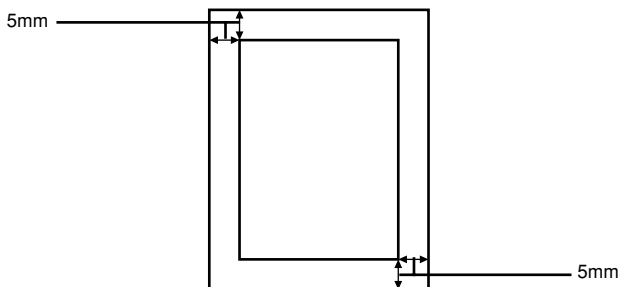
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（59g/m^2 以下の用紙）、厚すぎる用紙（官製ハガキ（190g/m^2）以外で 164g/m^2 以上の用紙）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

耐熱温度 200 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。

参 考	アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

セットできる用紙サイズと容量

給紙装置		使用できる用紙	容量 *1	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
標準	用紙トレイ	普通紙	300枚 *2	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、F4、不定形紙
		厚紙	10枚 *3	
		ラベル紙	10枚	A4、Letter（LT）
		OHPシート	5枚	
		封筒	10枚	洋形0号、洋形4号、洋形6号、長形3号、長形4号、角形3号
		官製ハガキ	50枚 *4	100mm × 148mm
		官製往復ハガキ		148mm × 200mm
	手差しガイド	普通紙	1枚	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、F4、不定形紙
		厚紙		
		ラベル紙		
		OHPシート		
		封筒		洋形0号、洋形4号、洋形6号、長形3号、長形4号、角形3号
		官製ハガキ		100mm × 148mm
		官製往復ハガキ		148mm × 200mm
オプション	増設1段カセットユニット（LPA4Z1CU1）	普通紙	500枚 *2	A4

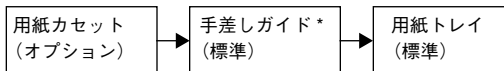
*1 用紙トレイまたは用紙カセットにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 64g/m^2 の場合です。

*3 90 ～ 163g/m^2 の場合です。

*4 190g/m^2 の場合です。官製四面連刷ハガキは使用できません。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバの設定で［給紙装置］を［自動選択］（初期設定）にすると、プリンタはドライバで設定された用紙サイズおよび用紙タイプが一致する用紙がセットされている給紙装置を次の順序で検索し、給紙します。

* 用紙サイズおよび用紙タイプが一致しなくても給紙します。

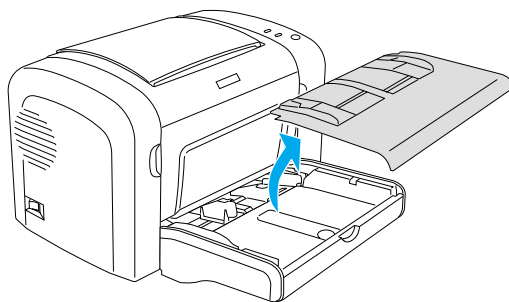
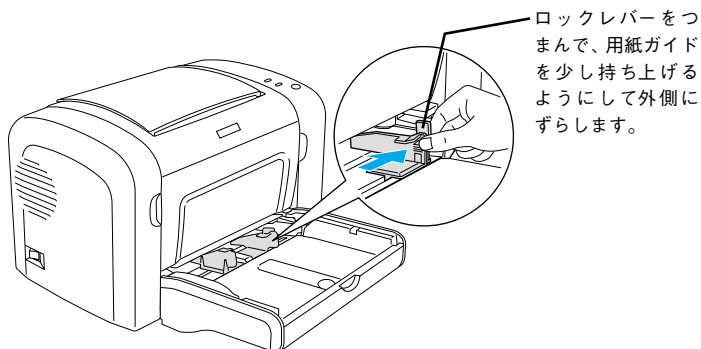
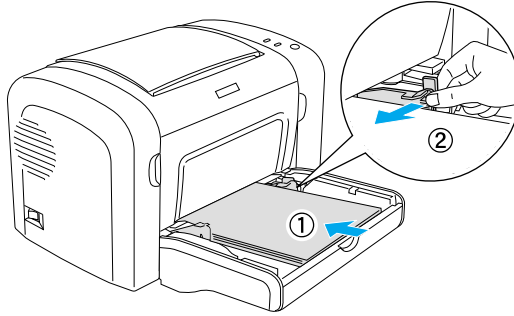
参考

- 印刷するデータの用紙サイズに合わせて同一サイズの用紙を用紙カセットと用紙トレイにセットすると、最大 800 枚の連続給紙ができます。
- 給紙装置を固定したい場合は、［給紙装置］の設定を［用紙トレイ］または［用紙カセット］にします。
☞ Windows：本書 21 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 199 ページ「［印刷設定］ダイアログ」
- 用紙トレイにセットした用紙のサイズや種類は［プリンタ設定］（Windows）または EPSON リモートパネル！（Macintosh）で設定します。
☞ Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 174 ページ「EPSON リモートパネル！」
☞ Mac OS X：本書 217 ページ「EPSON リモートパネル！」

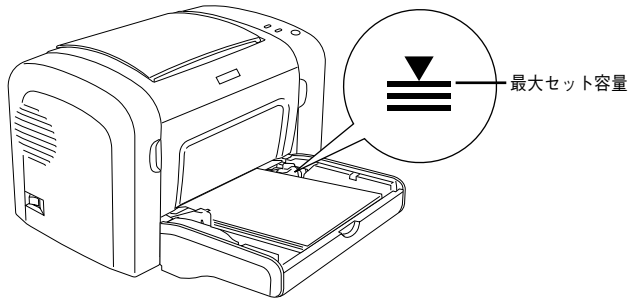
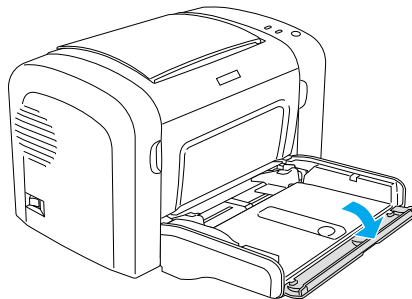
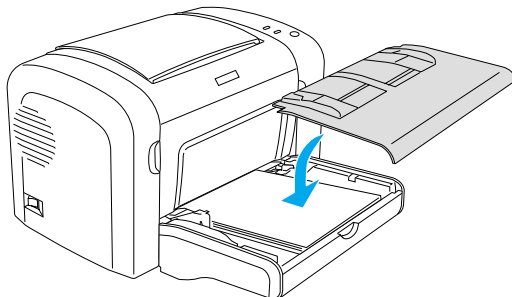
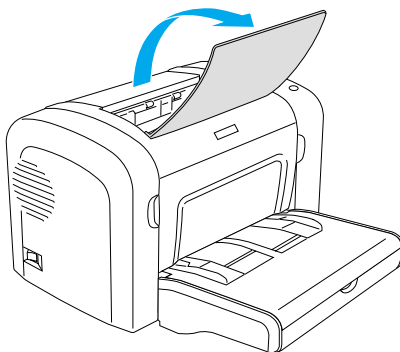
用紙トレイへの用紙のセット

用紙トレイへの用紙のセット方法を説明します。

> **参考**
> 用紙トレイにセットできる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。
> 本書 233 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

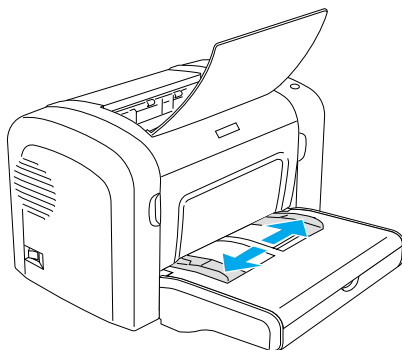
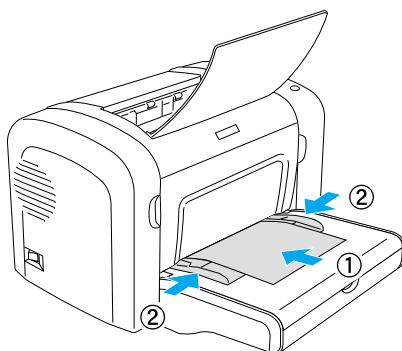
1. 用紙トレイのカバーを取り外します。

2. 右側の用紙ガイドをつまんで（ロックを解除して）、外側へずらします。

3 用紙を縦長にセットし、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

⚠注意 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

参考

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大 300 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

- A4 を超えるサイズ（用紙長 297mm を超えて 356mm 以下）の用紙をセットする場合は、用紙トレイ手前のカバーを開けてください。

4 カバーを用紙トレイに取り付けます。

5 排紙トレイを開けます。

以上で用紙トレイへの用紙のセットは終了です。

参 考	用紙トレイにセットした用紙サイズは自動検知できないため、必ずプリンタドライバまたは EPSON リモートパネル！で設定してください。また、用紙タイプ（種類）の設定は、必要に応じて行ってください。 ☞Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 ☞Mac OS 8/9：本書 174 ページ「EPSON リモートパネル！」 ☞Mac OS X：本書 217 ページ「EPSON リモートパネル！」 ☞本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

手差しガイドへの用紙のセット

1. **手差しガイドを広げます。**

2. **印刷する面を上にして用紙を縦長の状態でセットし、差し込み口に軽く当たるまで入れて、手差しガイドをセットする用紙の幅に合わせます。**
   手差しガイドにセットできる用紙は 1 枚のみです。

注意
手差しガイドにセットできる用紙は 1 枚のみです。2 枚以上の用紙をセットすると、給紙不良などの原因となりますのでご注意ください。

参考
- 給紙装置は［用紙トレイ］を選択してください。手差しガイドに用紙がセットされているときは、手差しガイドの用紙を優先して給紙します。
- 用紙サイズと異なるサイズの用紙をセットするときは、プリンタドライバでトレイ用紙サイズを設定し直してください。

以上で手差しガイドへの用紙のセットは終了です。

増設 1 段カセットユニットへの用紙のセット

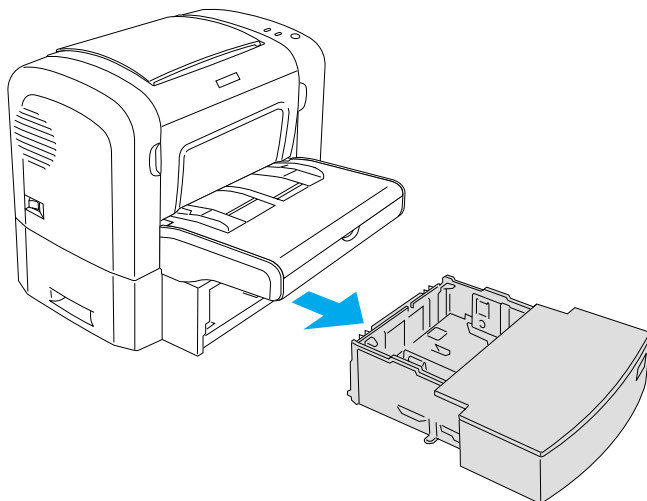
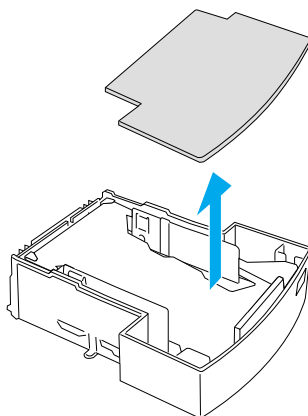
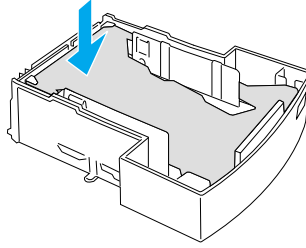
ここでは、オプションの増設 1 段カセットユニットへの用紙（A4 サイズ紙）のセット方法を説明します。増設 1 段カセットユニットの取り付け方法は以下のページを参照してください。

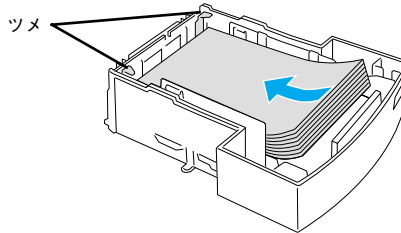
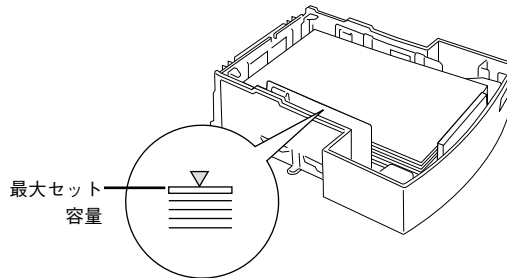
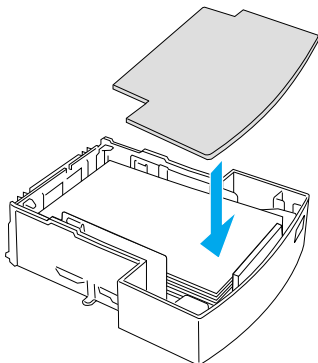
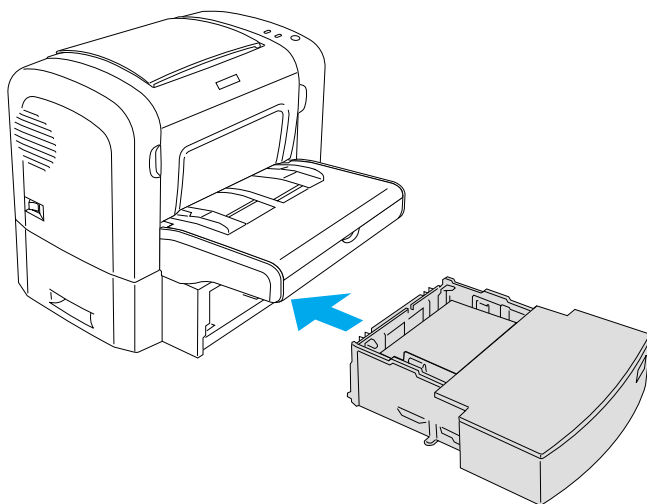
本書 291 ページ「増設 1 段カセットユニットの取り付け」

参考

増設 1 段カセットユニットにセットできる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。

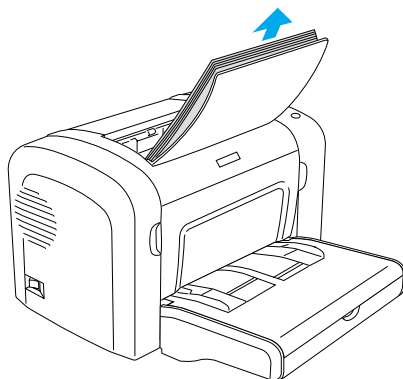
本書 233 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

1. **用紙カセットをカセットユニットから引き出して取り外します。**

2. **用紙カセットのカバーを取り外します。**

3 金属板を押し下げて固定します。

4 左右のツメの下に差し込むように縦長に A4 サイズの用紙をセットします。

参考

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

5 用紙カセットにカバーを取り付けます。

6 用紙カセットをカセットユニットに差し込んで取り付けます。

参考
用紙タイプ選択機能をお使いになる場合は、以下のページを参照して用紙タイプを設定してください。
本書 252 ページ「用紙タイプ選択機能」

以上で増設 1 段カセットユニットへの用紙のセットは終了です。

排紙方法について

本機は印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙部に排紙します。普通紙（用紙厚 64g/m² の場合）の場合で 100 枚まで排紙できます。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキや封筒など、特殊紙への印刷方法について説明します。

参考	特殊紙は必ず標準の用紙トレイまたは手差しガイドから給紙してください。オプションの増設1段カセットユニットからは給紙できません。

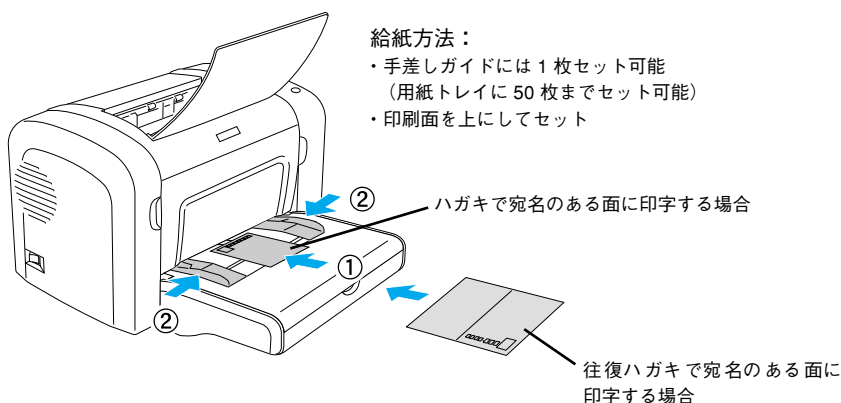
ハガキへの印刷

官製ハガキ、官製往復ハガキに印刷できます。印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

注意

下のハガキは使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

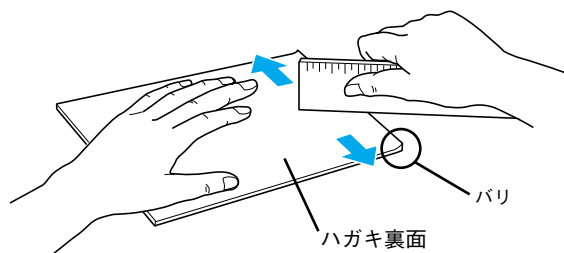
- インクジェットプリンタ用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ
- カラーレーザープリンタやカラー複写機で印刷した後のハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキ、官製四面連刷ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。

本書315ページ「給紙ローラのクリーニング」

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100mm × 148mm]
			給紙装置	[用紙トレイ]
	Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
	Mac OS X (10.2)	ページ設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		印刷設定	給紙装置	[用紙トレイ]
官製往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[往復ハガキ 148mm × 200mm]
			給紙装置	[用紙トレイ]
	Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
	Mac OS X (10.2)	ページ設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]
		印刷設定	給紙装置	[用紙トレイ]

参考

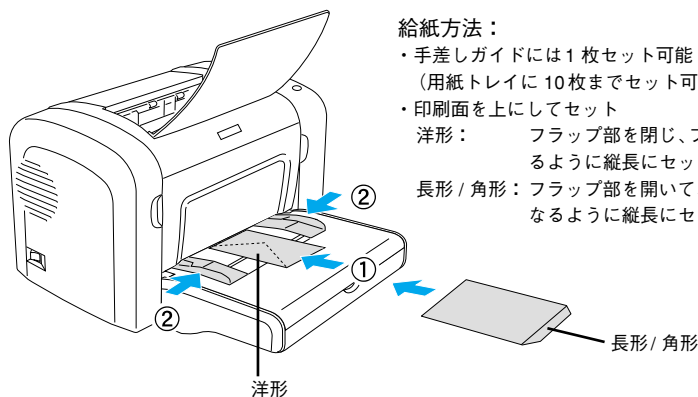
- [ハガキ]あるいは[往復ハガキ]を選択した場合、プリンタドライバの[用紙種類]の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 官製往復ハガキは用紙に折り跡がないものを使用してください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面(または表面)に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。また、反対面に印刷する場合のセット可能枚数は 20 枚になります。
- ハガキへの印刷は、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これはハガキに対して良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合は、ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ~ 2 回こすり、「バリ」を除去します。

注意	「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。 本書 315 ページ「給紙ローラのクリーニング」

封筒への印刷

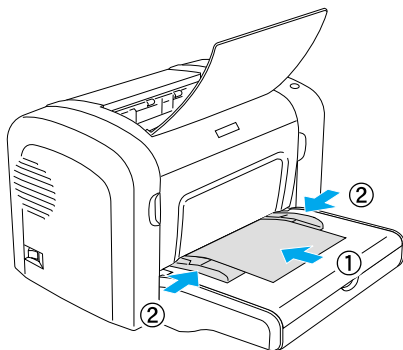
洋形０号、洋形４号、洋形６号、長形３号、長形４号、角形３号の封筒に印刷できます。封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注意	以下の封筒は使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。 ● 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷した封筒 ● 封の部分に糊付け加工が施されている封筒 ● 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒 ● リボン、フックなどが付いている封筒 ● 宛名用窓付きの封筒

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[洋形0号][洋形4号][洋形6号][長形3号][長形4号][角形3号]
		給紙装置	[用紙トレイ]
Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	[洋形0号][洋形4号][洋形6号][長形3号][長形4号][角形3号]
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
Mac OS X（10.2）	ページ設定	用紙サイズ	[洋形0号][洋形4号][洋形6号][長形3号][長形4号][角形3号]
	印刷設定	給紙装置	[用紙トレイ]

参考

- 本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形0号、洋形4号、洋形6号、長形3号、長形4号、角形3号です。紙厚は85g/m² のものをお勧めします。定形サイズ以外の封筒を使用する場合は、使用する封筒のサイズを［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Macintosh）で登録し、［用紙種類］を［厚紙（小）］に設定して印刷してください。
- 定形サイズの封筒を選択した場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 印刷効果が思う向きにならない場合は、[逆方向から印刷]（Windows プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログ）／［180 度回転印刷］（Mac OS 8/9* プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログ）をご利用ください。
  * Mac OS 8.6-9.x でのみ設定できます。Mac OS X 10.2 以降では設定できません。
- 封筒への印刷は、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは封筒に対して良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。

厚紙への印刷

紙厚 90 ～ 163g/m² の厚紙に印刷できます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

給紙方法：
- 手差しガイドには 1 枚セット可能
  （用紙トレイに 10 枚までセット可能）
- 印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[厚紙（小）]、[厚紙（大）] *
Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[厚紙（小）]、[厚紙（大）] *
Mac OS X（10.2）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[厚紙（小）]、[厚紙（大）] *

* 厚紙の用紙サイズによって、設定が異なります。
厚紙（大）：用紙の横幅が 133mm 以上（A5、B5、A4、Half-Letter など）
厚紙（小）：用紙の横幅が 133mm 未満

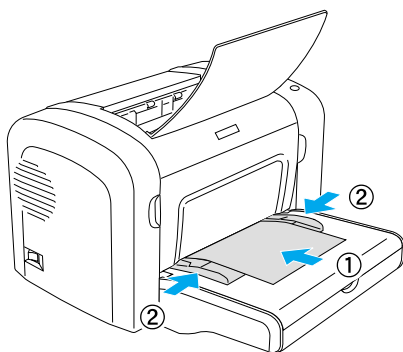
参考
- 紙厚 90 ～ 163g/m² の厚紙を使用してください。
- 厚紙への印刷は、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは厚紙に対して良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。

ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙

給紙方法：
・手差しガイドには1枚セット可能
（用紙トレイに10枚までセット可能）
・ラベルが貼ってある面を上にセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[ラベル]
Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[ラベル]
Mac OS X（10.2）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[ラベル]

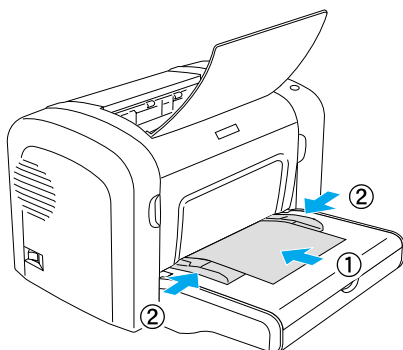
参考

モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙を使用してください。

OHP シートへの印刷

OHP シートの品質は、製造メーカーによって異なります。大量の OHP シートを購入する前や大量の印刷を行う前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注意

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ/インクジェットプリンタ専用のOHPシートは使用しないでください。故障の原因となります。

給紙方法：
・手差しガイドには1枚セット可能
（用紙トレイに5枚までセット可能）
・印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
Mac OS X（10.2）	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	印刷設定	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］

参考

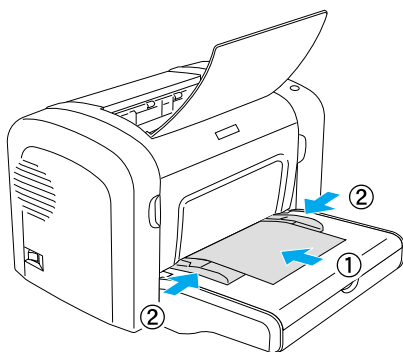
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートを使用してください。
- OHPシートに付属している説明書などで表裏を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- OHP シートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：76.2 ～ 216.0mm（3.00 ～ 8.50 インチ）
- 用紙長：127.0 ～ 355.6mm（5.00～ 14.00 インチ）

注意 不定形紙に印刷する場合は、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Macintosh）で用紙サイズを指定してください。用紙サイズの異なる定形紙などを選択して印刷し続けた場合、プリンタ内部の定着器が破損する場合があります。

参考 不定形紙の用紙長が長く（297mm を超えて 356mm 以下）用紙トレイにセットできない場合は、用紙トレイの先端を開けてセットしてください。

給紙方法：
・手差しガイドには 1 枚セット可能
（用紙トレイへのセット可能な枚数は、用紙種類によって異なります。）
本書 233 ページ「セットできる用紙サイズと容量」
・印刷面を上にしてセット

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［ユーザー定義サイズ］で設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙（小）］、［厚紙（大）］*
Mac OS 8/9	用紙設定	用紙サイズ	［カスタム用紙］で設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙（小）］、［厚紙（大）］*
Mac OS X（10.2）	ページ設定	用紙サイズ	［カスタム用紙サイズ］で設定
	印刷設定	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙（小）］、［厚紙（大）］*

* 厚紙の用紙サイズによって、設定が異なります。
厚紙（大）：用紙の横幅が 133mm 以上（A5、B5、A4、Half-Letter など）
厚紙（小）：用紙の横幅が 133mm 未満

参考

- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 用紙のセット方向は、[ユーザー定義サイズ]（Windows）/［カスタム用紙（サイズ)］（Macintosh）で設定した通りにプリンタにセットしてください。
Windows：本書 27 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
Mac OS 8/9：本書 133 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」
Mac OS X：本書 193 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

<例>ユーザー定義サイズ / カスタム用紙を「150 × 210mm」に設定した場合

<例>ユーザー定義サイズ / カスタム用紙を「210 × 150mm」に設定した場合

- 不定形紙への印刷は、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは不定形紙に対して良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。

用紙タイプ選択機能

各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプを調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぐことができます。

1 各給紙装置にセットした用紙のタイプを設定します。

設定値：普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 色つき /OHP シート */ ラベル *

* オプションの用紙カセットの場合は選択できません。

> **参考**
> 用紙トレイにセットした用紙サイズは、[トレイ用紙サイズ］で設定してください。オプションの増設 1 段カセットユニットにセットできる用紙サイズは A4 のみですので、用紙サイズを設定する必要はありません。

- **Windows の場合**

① Windows の場合は、プリンタプロパティの［環境設定］ダイアログから、[プリンタ設定］ダイアログを開きます。

②［トレイ用紙タイプ］と［カセット用紙タイプ］を設定します。

本書 48 ページ「[プリンタ設定］ダイアログ」

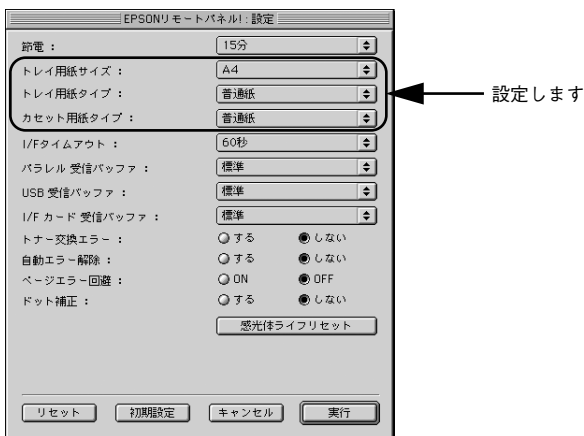
• **Macintosh の場合**

① EPSON リモートパネル!を起動します。

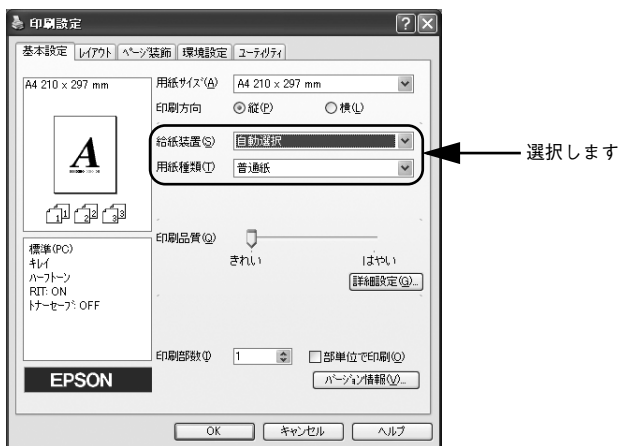
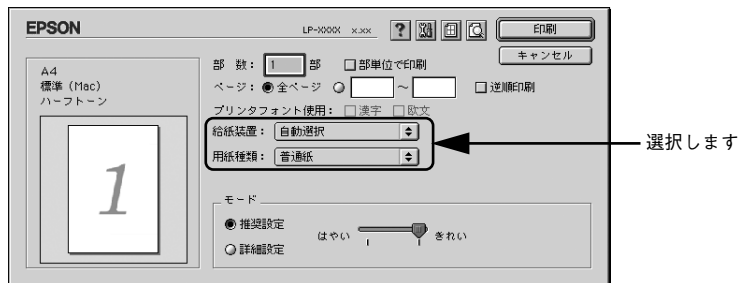
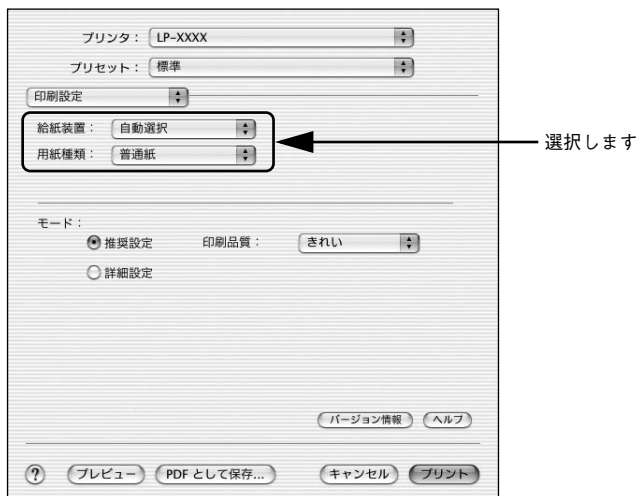
② ［トレイ用紙タイプ］と［カセット用紙タイプ］を設定します。

☞ Mac OS 8/9：本書 174 ページ「EPSON リモートパネル!」

☞ Mac OS X：本書 217 ページ「EPSON リモートパネル!」

<例> Mac OS 8/9 の場合

2 **印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［用紙種類］の中から、印刷したい用紙のタイプを選択します。**

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

Windows の［基本設定］ダイアログ

Mac OS 8/9 の［プリント］ダイアログ

Mac OS X の［印刷設定］ダイアログ

添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B* フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

*　OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット*	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

*　チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

トナーの濃度や紙質あるいは、お使いになられているアプリケーションソフトウェアによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
[基本設定]	[印刷品質]	きれい（600dpi）
[基本設定] - [詳細設定]	[トナーセーブ]	チェックマークなし（OFF）
[レイアウト]	[拡大 / 縮小]	チェックマークなし（OFF）
	[割り付け]	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
  （例＜＝＞ ⇨ ⟺）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞ 本書 263 ページ「各バーコードの概要」

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

本書 387 ページ「Windows システム条件」

ハードディスク：15 〜 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

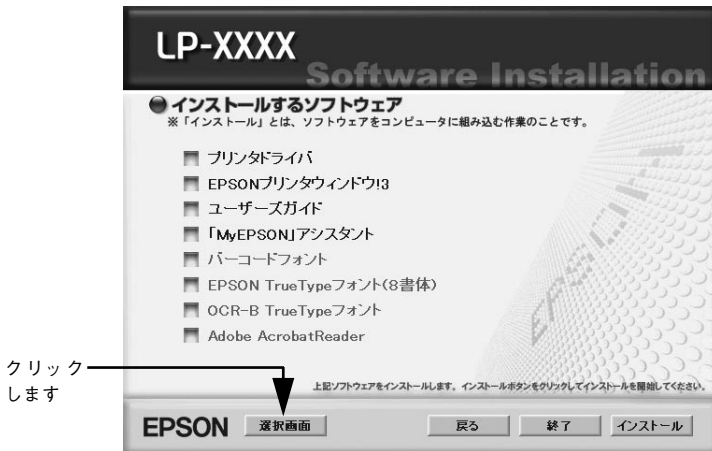
1. **Windows を起動してから、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

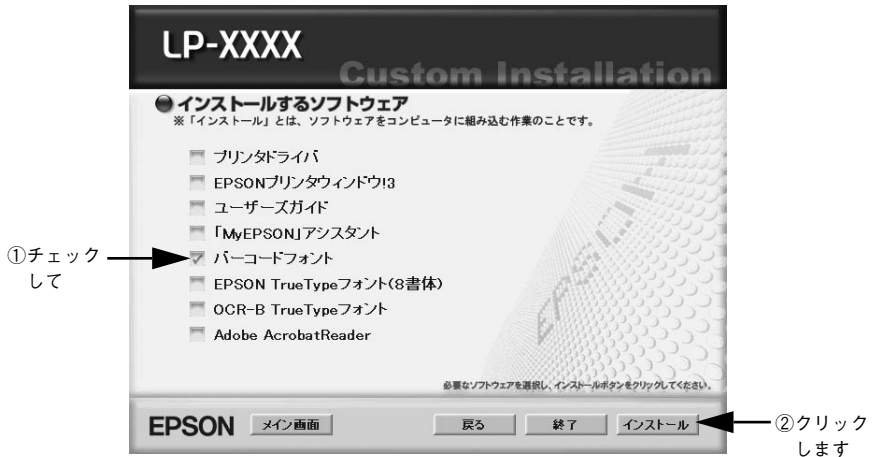
2. **ウィルスチェックプログラムに対処します。**
   - ウィルスチェックプログラムの実行中は、［インストール中止］をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
   - ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、［続ける］をクリックして次へ進みます。

参考	上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］ー［CD-ROM］ー［EPSETUP.EXE］をダブルクリックしてください。

3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

4 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

参考　［LPT 接続時の印刷の高速化］は Windows 2000/XP の場合のみ表示されます。
本書 102 ページ「パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化（Windows NT4.0/2000/XP）」

5 ［選択画面］ボタンをクリックします。

6 以下の画面が表示されたら、［バーコード］にチェックを付けて［インストール］ボタンをクリックします。

参考	その他の項目（プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 など）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

7 EPSON バーコードフォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

8 インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

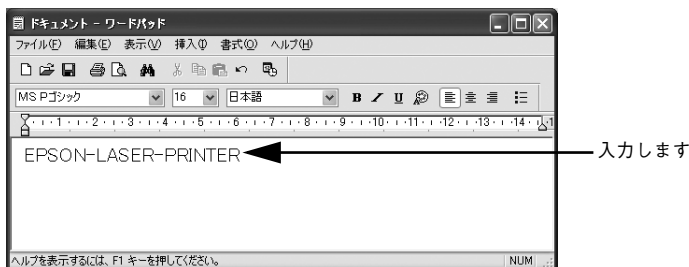
9 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

10 インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックします。

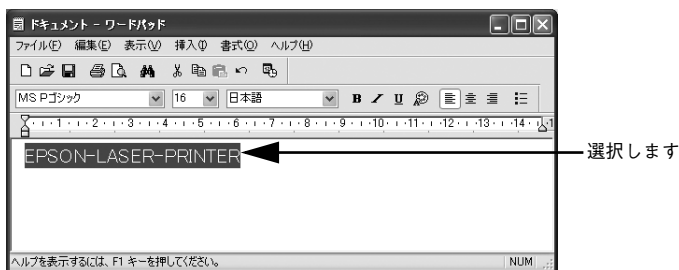
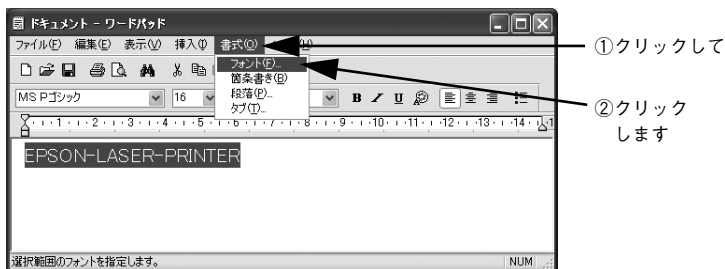
以上でEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

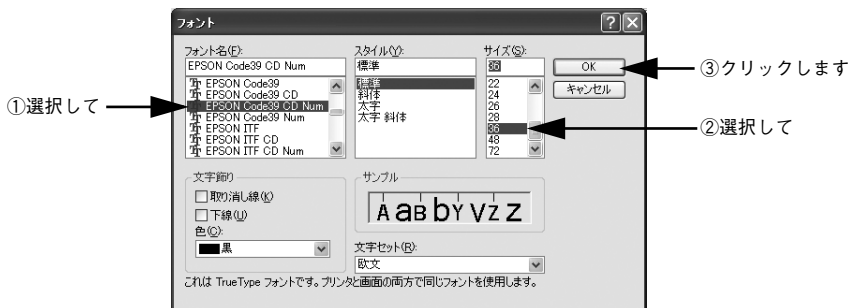
バーコードの作成

ここでは Windows XP に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

1 ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。

参考	文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

3 ［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。

4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

参考

- Windows NT4.0/2000/XP では96pt以上のフォントサイズは使用できません。
- アプリケーションソフトによっては、フォントの選択肢をそのフォント自身で表示する場合があり、バーコードフォントが正常に表示されない場合があります。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

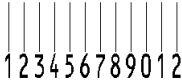
参考

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

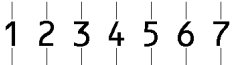
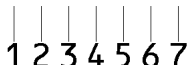
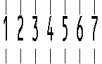
各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">52 ～ 130pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので､それ以外はJAN-8と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～ 90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
• EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 〜 150pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 〜90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

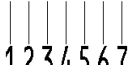
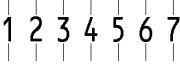
UPC-A			
● UPC-A は､アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。(UPC Symbol Specification Manual) ● Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	11 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー ● チェックデジット　● OCR-B　● センターバー			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901	12345678901	1 23456 78901 2

UPC-E			
● UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	6 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● レフト / ライトマージン　● レフト / ライトガードバー ● OCR-B　● チェックデジット　● ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456	123456	0 123456 5

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">
● Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはCode39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● スペースを“__”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“__”（アンダーライン）を入力してください。
● 1 行に2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～9）
記号（ー　.　スペース　＄　/　＋　%）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ　● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

左 / 右クワイエットゾーン
スタート / ストップキャラクタ
コードセットの変更キャラクタ
チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

Interleaved 2of5			
● Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5） ● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。 ● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。 ● Interleaved 2of5 は、キャラクタを2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） OCR-B なしの場合：26pt 以上 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt OCR-B ありの場合：36pt 以上 保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● 左 / 右クワイエットゾーン ● スタート / ストップキャラクタ ● チェックデジット ● 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
印刷例	入力時	EPSON ITF に変換	印刷
	1234567	1234567	
		EPSON ITF CD Num に変換	印刷
		1234567	12345670

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">

NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

左 / 右クワイエットゾーン
スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが､バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時のー（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 - 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付のEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM にはEPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

> **参考**　CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントの保証サイズは12 ポイントです。また、OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

Windows でのインストール

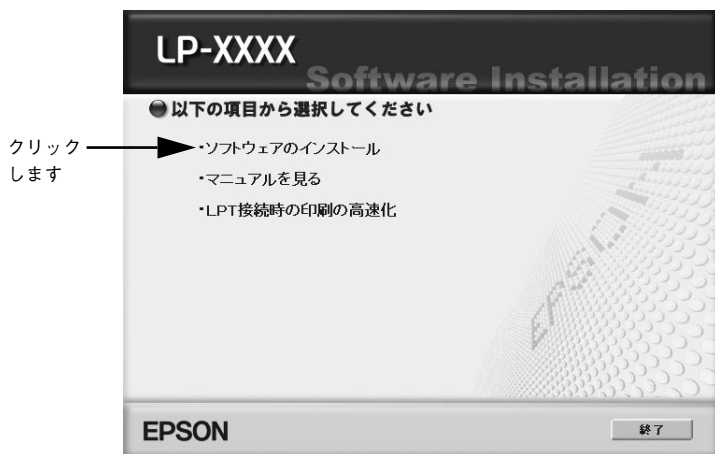
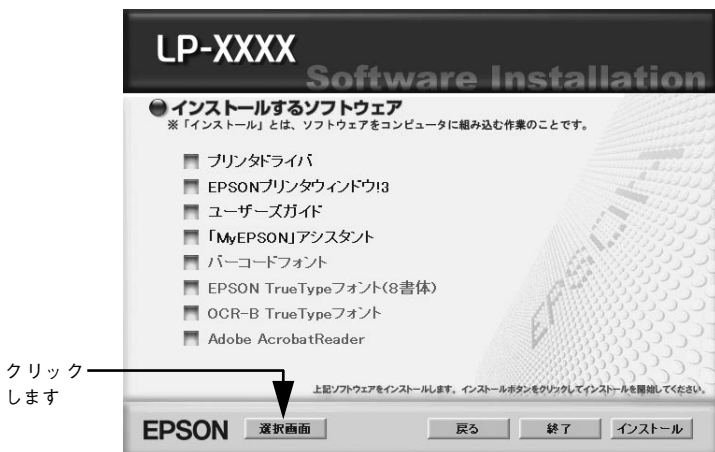
1 **Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2 **ウィルスチェックプログラムに対処します。**

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

> **参考**　上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ー [CD-ROM] ー [EPSETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

4 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

参考 ［LPT 接続時の印刷の高速化］は Windows 2000/XP の場合のみ表示されます。
本書 102 ページ「パラレルインターフェイス接続時の印刷の高速化（Windows NT4.0/2000/XP）」

5 ［選択画面］ボタンをクリックします。

6 以下の画面が表示されたら、インストールするフォントにチェックを付けて［インストール］ボタンをクリックします。

参考	その他の項目（プリンタドライバや EPSON プリンタウィンドウ !3 など）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

7 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

8 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

参考	［EPSON TrueType フォント（8 書体）］と［OCR-B TrueType フォント］の両方を 6 で選択した場合は、続けて 7 と 8 を 2 度繰り返します。

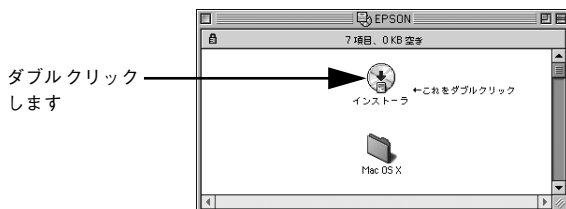
9 インストーラの終了画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックします。

以上でTrueTypeフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。

Macintosh でのインストール

Mac OS 8.9-9.x には以下の手順で EPSON TrueType フォント (8 書体) をインストールすることができます。なお、Mac OS X へのインストールはできません。

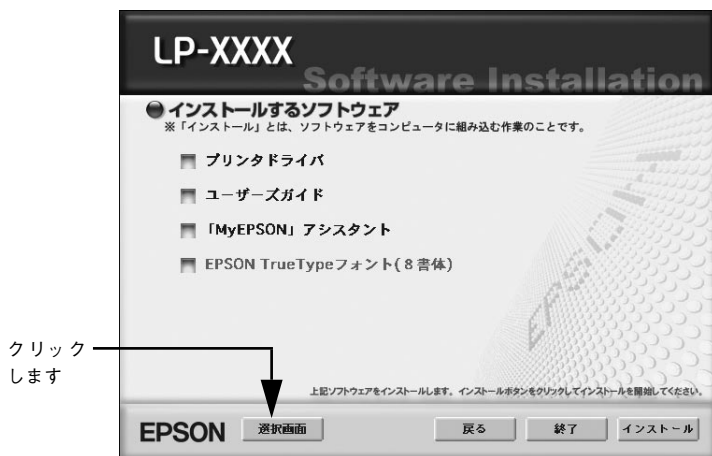
1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

2. [インストーラ] をダブルクリックします。

3. ウィルスチェックプログラムに対処します。

- ウィルスチェックプログラムの実行中は、[インストール中止] をクリックしてウィルスチェックプログラムを終了させてから作業を再開します。
- ウィルスチェックプログラムがないまたは停止中は、[続ける] をクリックして次へ進みます。

4. 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、[同意する] をクリックします。

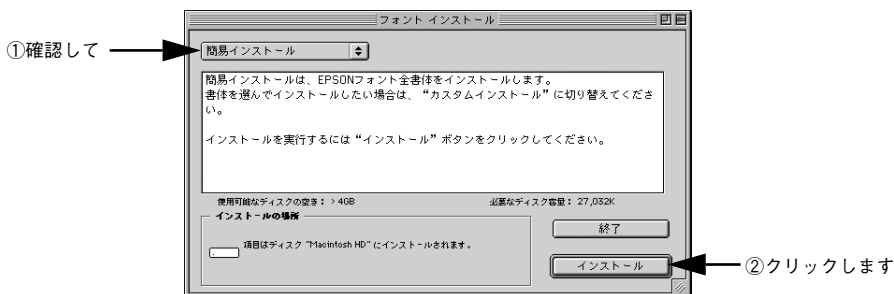
5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

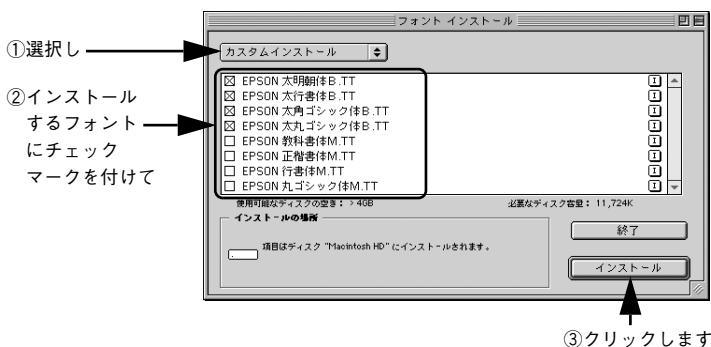
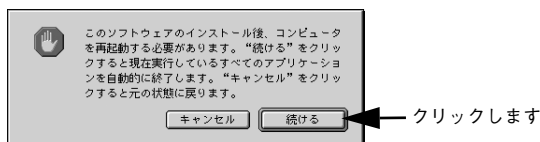
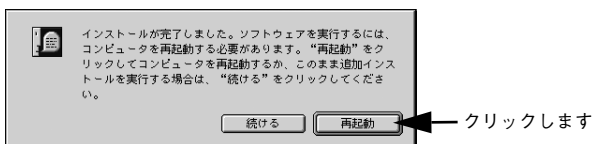
6 ［選択画面］ボタンをクリックします。

7 次の画面が表示されたら、［EPSON TrueType フォント（8 書体）のインストール］にチェックを付けて［インストール］ボタンをクリックします。

参考　その他の項目（プリンタドライバなど）がインストール済みの場合は、それぞれのチェックを外してください。各項目をクリックすることで、チェックする / しないが切り替わります。

8 フォントの使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意します］をクリックします。

9 ［簡易インストール］が選択されていることを確認して、［インストール］をクリックします。

フォントのインストールが始まります。

参考

［カスタムインストール］を選択すると、フォントを選択してインストールできます。使用するフォントをクリックしてチェックマークを付けてください。チェックマークの付かないフォントはインストールされません。

⑩ 次の画面が表示されたら、［続ける］ボタンをクリックします。

⑪ 次の画面が表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。

以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2003年7月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

<table>
<tr><th></th><th>メーカー</th><th>機　種</th><th>接続ケーブル</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">DOS/V系</td><td>EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社</td><td>DOS/V仕様機</td><td rowspan="2">PRCB4N</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>NEC</td><td>PC-98NXシリーズ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">PC98系</td><td rowspan="2">EPSON</td><td>EPSON PCシリーズデスクトップ</td><td>#8238</td><td>*1 *2</td></tr>
<tr><td>EPSON PCシリーズNOTE</td><td>市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。</td><td>*1 *2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">NEC</td><td>PC-9821シリーズ
（ハーフピッチ36ピン）</td><td>PRCB5N</td><td>*1</td></tr>
<tr><td>PC-9801シリーズデスクトップ
（14ピン）</td><td>#8238</td><td>*1 *2 *3</td></tr>
<tr><td>PC-9801シリーズNOTE
（ハーフピッチ20ピン）</td><td>市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。</td><td>*1 *2 *3</td></tr>
</table>

*1 拡張漢字（表示専用7921～7C7E）は印刷できません。
*2 Windows 95/98/Meの双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*3 ハーフピッチ36ピンのコンピュータにはPRCB5Nをご使用ください。

参考

- NEC PC-98LT/DOシリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/NシリーズはNEC製の専用ケーブルを使用してださい。
- 富士通FM/R、FM TOWNSは富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータと本機の間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECPモード対応コンピュータをECPモードで接続する場合、PRCB4Nをご使用ください。

接続方法については「セットアップガイド」を参照してください。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	商品名
USBCB2	EPSON USB ケーブル

参考

USB ハブ（HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については「セットアップガイド」を参照してください。

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアル I/F カード （バッファ：32KB）	本機をシリアルで接続するためのオプションです。
PRIF5E	IEEE1284 双方向パラレル I/F カード	本機に IEEE1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。
PRIF13	IBM5577 プリンタエミュレーションカード	本機に装着することで、IBM5577-H02 プリンタのエミュレーションを実現するオプションです。
PRIFNW3S	100BASE-TX/10BASE-T マルチプロトコル Ethernet I/F カード	IPX/SPX 、TCP/IP 、AppleTalk 、NetBEUI に対応しています。本機を Ethernet 接続するには、別途ケーブルが必要です。接続ケーブルについては、PRIFNW3S の取扱説明書をご覧ください。

取り付け方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 288 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

増設カセットユニット

プリンタの下に取り付けるオプションの用紙カセットユニットです。

型番	商品名	備考
LPA4Z1CU1	増設 1 段カセットユニット	• 使用できる用紙サイズ： A4 • 用紙カセット容量： 最大 500 枚（普通紙 64g/m²）

取り付け方法については以下のページを参照してください。

本書 291 ページ「増設 1 段カセットユニットの取り付け」

用紙のセット方法は、以下のページを参照してください。

本書 239 ページ「増設 1 段カセットユニットへの用紙のセット」

増設メモリ

メルコ製の以下のメモリを使用することにより、プリンタの内部メモリ（標準搭載メモリ容量 16MB*1）を増設することができます。メモリを増設することにより、サイズの大きいデータや複雑なデータを高解像度で印刷できるようになります。

*1 標準搭載のメモリを取り外すことはできません。

使用できるメモリの入手方法などについては、（株）メルコのお客様窓口までお問い合わせください。

型番	容量	プリンタのメモリ容量
EP01-16M シリーズ	16MB	32MB
EP01-32M シリーズ	32MB	48MB
EP01-64M シリーズ	64MB	80MB
EP01-128M シリーズ	128MB	144MB

取り付け方法については以下のページを参照してください。

本書 285 ページ「増設メモリの取り付け」

ET カートリッジ

印刷用のトナーが入ったカートリッジです。

型番	商品名
LPA4ETC8	ET カートリッジ（約 6,000 枚 * 印刷可能）

* 印刷可能枚数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。

交換方法については以下のページを参照してください。

本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」

参考	プリンタ本体にあらかじめセットされているETカートリッジの寿命は約1,500枚です。

感光体ユニット

ドラムの感光部分にトナーを付着させ、印刷画像を形成するユニットです。

型番	商品名
LPA4KUT4	感光体ユニット（約20,000 枚 * 印刷可能）

* 印刷可能枚数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。

交換方法については以下のページを参照してください。

本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

フォームオーバーレイユーティリティソフト

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows 上で使用可能）

作成したフォームデータを使用しての印刷はWindowsプリンタドライバ上で行います。

本書 34 ページ「[ページ装飾] ダイアログ」

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。ESC/Page または ESC/P コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名	機種固有情報について
ESC/Page リファレンスマニュアルー第4 版ー	ESC/Page リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。本機の機種固有情報につきましては、LP-9200 の項目をご覧ください。
ESC/P リファレンスマニュアルー第2 版ー	本機は ESC/P J84 に分類されます。

参考	上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。エプソン OA サプライ（株）のお問い合わせ先は、「製品ガイド」の巻末に記載されています。

使用済み ET カートリッジの回収について

資源の有効利用と地球環境保全のために

エプソン純正トナーカートリッジ（ET カートリッジ）は、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。

トナーカートリッジの回収については、カートリッジの梱包箱と添付の説明書をご確認ください

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法については、カートリッジの梱包箱をご覧ください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細につきましては、エプソン純正トナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソン販売株式会社のホームページ「I Love EPSON」でもご確認いただけます。
http://www.i-love-epson.co.jp/

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）
	受付時間：月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	取り扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 － 251 － 528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

増設メモリの取り付け

ここでは、本機に増設メモリを取り付ける方法について説明します。装着できる増設メモリについては、以下のページを参照してください。
☞ 本書 281 ページ「増設メモリ」

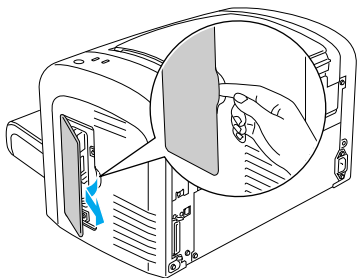
取り付けは以下の手順に従ってください。

⚠警告 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。

⚠注意 本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注意 増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

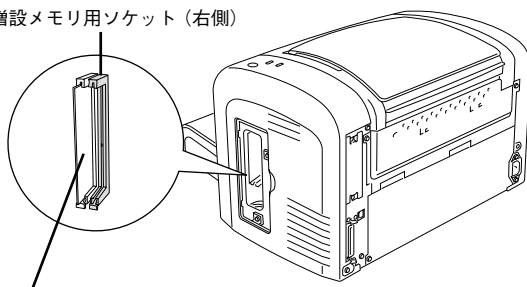
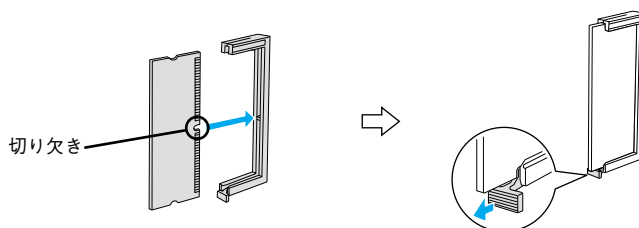
1. **プリンタの電源をオフ（〇）にして排紙トレイを閉じ、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

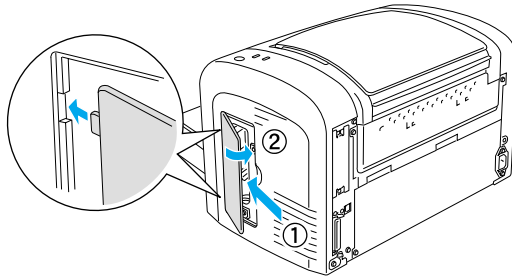
2. **プリンタ正面から見て右側のカバーを取り外します。**
本体側のくぼみに指をかけて、カバーを外側へ引き出して取り外します。

注意 プリンタ内部へ物を落としたりしないようにしてください。

3 増設メモリを取り付けます。

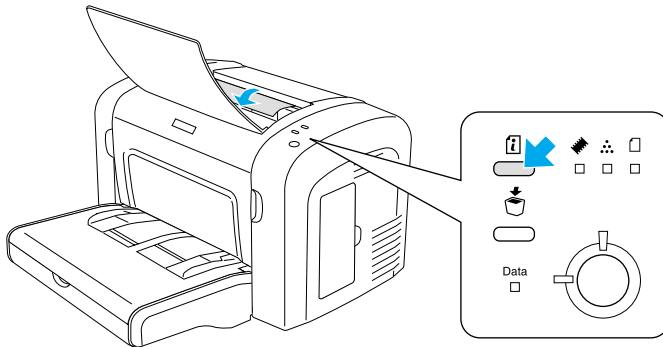
増設メモリは、1 枚取り付けられます。

- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。

① 増設メモリを取り付ける右側のソケットを確かめます。

② 増設メモリの下図の切り欠きがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ソケット下側のボタンが飛び出すまで増設メモリの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

4 **右側のカバーをプリンタに取り付けます。**

カバーの突起を本体のくぼみにかけて取り付けます。

5 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続し、排紙トレイを開けてプリンタの電源をオン（｜）にします。**

6 **プリンタが増設メモリを正しく認識していることを確認します。**

プリンタの操作パネルにある［ステータスシート］スイッチを押してステータスシートを印刷すると、増設メモリが正しく装着されているか確認できます。

正しく取り付けられているときは、［実装メモリ容量］の項目に総メモリ容量（標準搭載メモリ 16MB ＋増設したメモリ容量）が印刷されます。

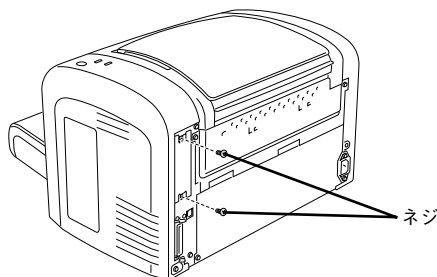
以上で増設メモリの取り付けは終了です。

参考	・Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに対して設定する必要があります。 本書 294 ページ「オプション装着時の設定（Windows)」 ・本機は、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。

インターフェイスカードの取り付け

ここでは、本機にインターフェイスカードを取り付ける方法について説明します。装着できるインターフェイスカードについては、以下のページを参照してください。
☞ 本書 280 ページ「インターフェイスカード」

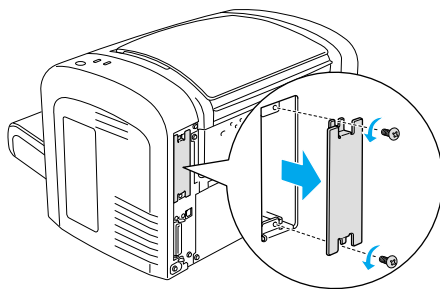
取り付けは以下の手順に従って行ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

⚠警告　指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。指示以外のネジは取り外さないでください。本作業で取り外すネジは以下の通りです。

⚠注意　本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

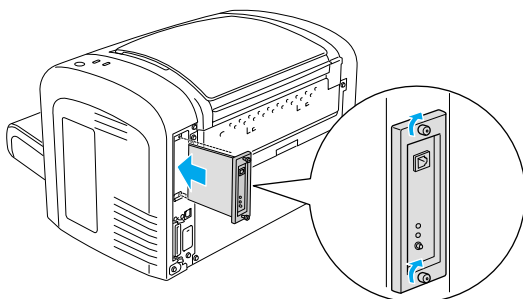
注意　インターフェイスカードの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1. **プリンタの電源をオフ(〇)にして排紙トレイを閉じ、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

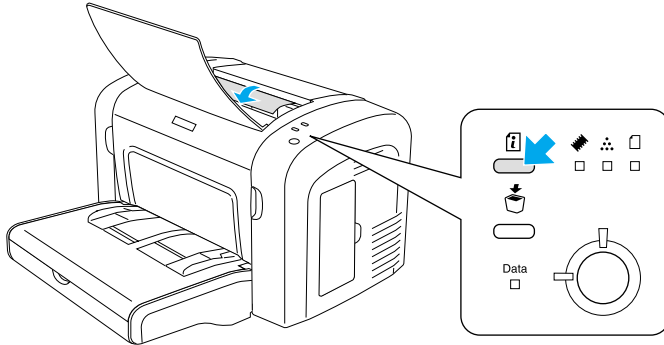
❷ プリンタ背面のコネクタカバーを取り外します。

コネクタカバーはネジ2個で固定されていますので、ネジを緩めて取り外します。

参考	取り外したコネクタカバーとネジは、インターフェイス カードを取り外した際に必要となりますので、大切に保管してください。

❸ インターフェイスカードをスロットに差し込み、インターフェイスカードに付属のネジ（2個）で固定します。

① インターフェイスカードの上下両側をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。
② インターフェイス カードのコネクタとプリンタ側のコネクタがしっかりかみ合うまで差し込んでから、ネジを締め付けて固定します。

❹ 取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続し、排紙トレイを開けてプリンタの電源をオン（ | ）にします。

5 **プリンタがインターフェイスカードを正しく認識していることを確認します。**

プリンタの操作パネルにある［ステータスシート］スイッチを押してステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

正しく取り付けられているときは、［インターフェイス］の項目に［I/F カード］と印刷されます。

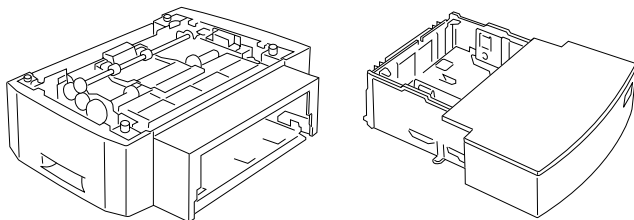
以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

増設 1 段カセットユニットの取り付け

ここでは、増設 1 段カセットユニットを取り付ける方法について説明しています。装着できる増設 1 段カセットユニットについては、以下のページを参照してください。

本書 281 ページ「増設カセットユニット」

参考

オプションの増設 1 段カセットユニットには、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないこと、カセットの保護材とテープを取り外してあることを確認してから作業を始めてください。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

⚠注意

本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

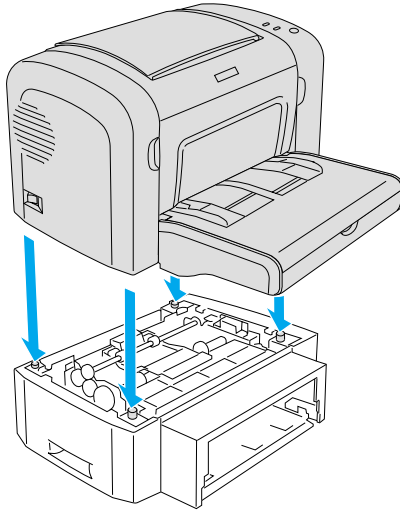
注意

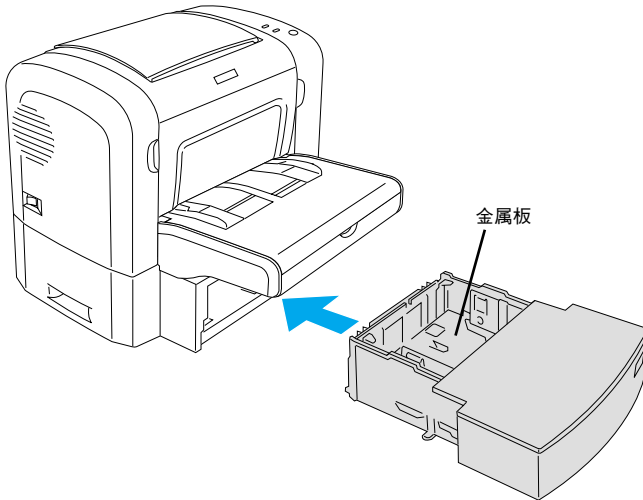
プリンタの電源がオン（ I ）の状態で増設 1 段カセットユニットを取り付けると、故障の原因になる場合があります。

1. **プリンタの電源をオフ（〇）にして排紙トレイを閉じ、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

2. **プリンタ本体を一旦別の場所に移動して、増設 1 段カセットユニットを設置場所に置きます。**

3 **増設 1 段カセットユニットの上にプリンタを置きます。**

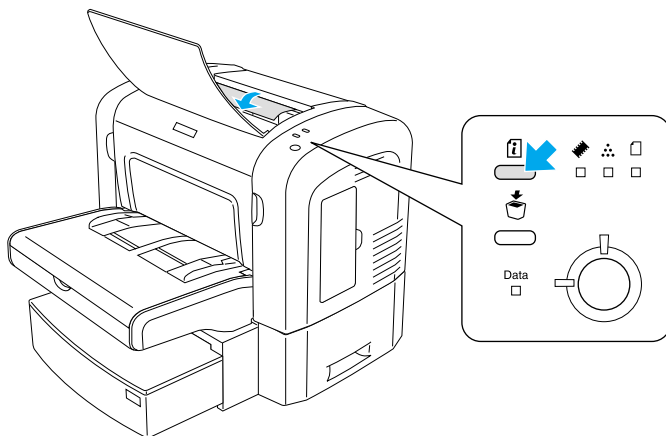
- プリンタ後部の角と増設1段カセットユニット後部の角を合わせるように重ねます。
- 増設1段カセットユニットには位置決め用の突起がついていますので、上に置くプリンタ底部の穴に合わせて正しく重ねます。

4 **用紙カセットをユニットに差し込んで取り付けます。**

用紙カセット内部の金属板を押し下げてからユニットに差し込みます。

用紙のセット方法については以下のページを参照してください。

☞ 本書 239 ページ「増設 1 段カセットユニットへの用紙のセット」

5 **取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続し、排紙トレイを開けてプリンタの電源をオン（ | ）にします。**

6 **プリンタが増設 1 段カセットユニットを正しく認識していることを確認します。**

プリンタの操作パネルにある［ステータスシート］スイッチを押してステータスシートを印刷すると、増設 1 段カセットユニットが正しく装着されているか確認できます。

正しく取り付けられているときは、［給紙装置］の項目に［カセット］と印刷されます。

以上で増設 1 段カセットユニットの取り付けは終了です。

参 考

- Windows をお使いの場合は、取り付けたオプションをプリンタドライバに対して設定する必要があります。
  本書 294 ページ「オプション装着時の設定（Windows）」
- Mac OS 8/9 でお使いの場合は、［セレクタ］で本機のプリンタドライバを選択し直してください。
- Mac OS X でお使いの場合は、［プリントセンター］で本機を追加し直してください。

オプション装着時の設定（Windows）

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。

参考
- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- ここでは Windows 98 のプロパティ画面を掲載しますが、手順は同じです。

1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタとFAX］を開きます。

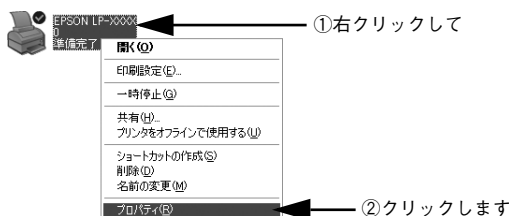
- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

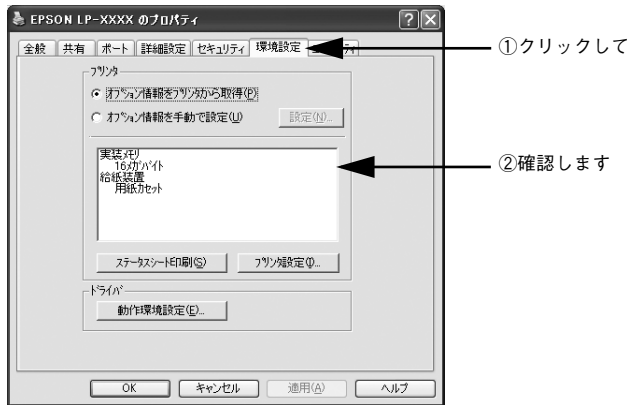
- Windows XPの場合

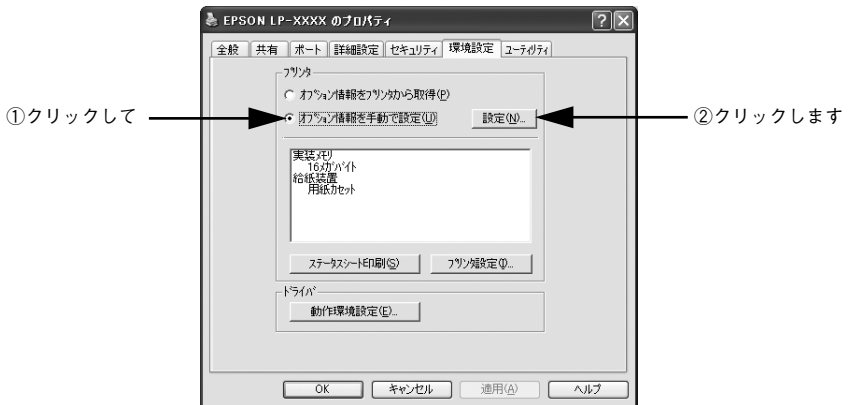
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2 へ進みます。
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③［プリンタとFAX］をクリックします。

2 LP-2500のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

参考
通信エラーが発生した場合は、［OK］ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 ［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。

- ［オプション情報をプリンタから取得］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。6 へ進みます。

- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。4 へ進みます。

4 ［オプション情報を手動で設定］をクリックして、［設定］ボタンをクリックします。
［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

5 **装着したオプションを選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

- ［実装メモリ］リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- ［オプション給紙装置］リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。

設定の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 47 ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」

6 **［OK］ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でオプションの設定は終了です。

参考	プリンタの操作パネルにある［ステータスシート］スイッチを押してステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

ET カートリッジの交換

ET カートリッジについて

本機で使用可能な ET カートリッジは次の通りです。

型番	商品名
LPA4ETC8	ET カートリッジ（約 6,000 枚 * 印刷可能）

* 印刷可能枚数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の連続印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によってトナーの消費量は異なります。

本 ET カートリッジには IC チップが搭載されており、カートリッジの固有情報が記録できる機能を有しています。この機能により、以下のようなメリットがあります。

- トナー残量カウンタリセットの操作が不要
- 使用中に取り外しても、再装着後のトナー残量を正しく検知
- トナー残量（寿命）情報を保持しているため、常に最適な条件での印刷が可能

本機は純正 ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

ET カートリッジの交換時期

- A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合、1 つの ET カートリッジ（LPA4ETC8）で約 6,000 枚まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 では、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージが表示されますので、新しい ET カートリッジと交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しい ET カートリッジと交換してください。

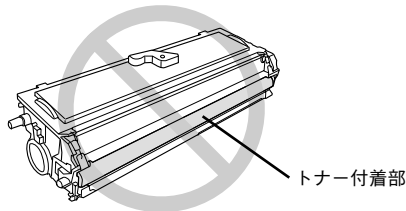
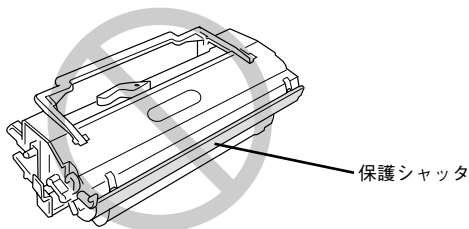
☞ Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞ Mac OS 8/9：本書 167 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞ Mac OS X：本書 209 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

参考

プリンタ本体にあらかじめセットされている ET カートリッジの寿命は約 1,500 枚です。

ET カートリッジ交換時の注意

⚠注意	交換作業中は、プリンタ内部の ET カートリッジと感光体ユニット以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- ET カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できないなどの原因となるおそれがあります。また、ET カートリッジの IC チップにトナー残量を記録しており、トナーを補充しても IC チップの残量値は書き換わらないため、使用できるトナーの量は変わりません。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、ET カートリッジを室温に慣らすため 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- ET カートリッジのトナー付着部には絶対に手を触れないでください。

- 感光体ユニットのドラム保護シャッタは開けないでください。また、内部の感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

ET カートリッジ保管上の注意

⚠注意	子供の手の届かないところに保管してください。

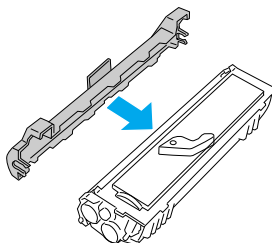
- ET カートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 30 ～ 85% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT ディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

使用済み ET カートリッジ

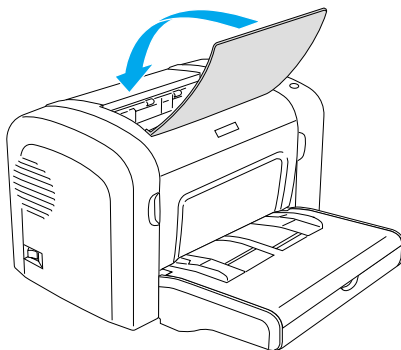
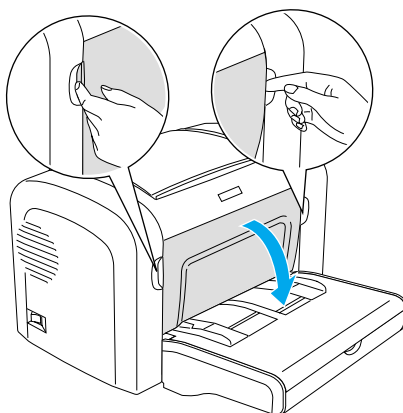
資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み ET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シート、または以下のページを参照してください。
☞ 本書 283 ページ「使用済み ET カートリッジの回収について」

やむを得ず、使用済み ET カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

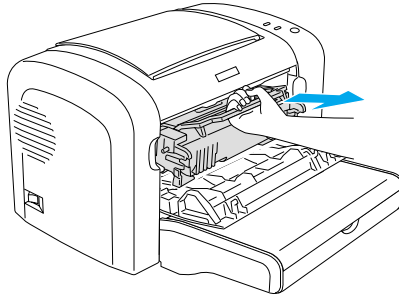
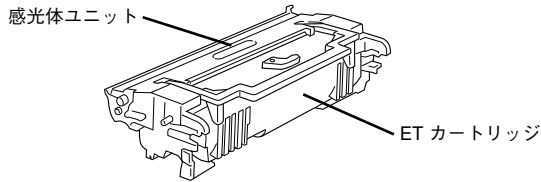
ET カートリッジは、購入時に取り付けられていたカバーを取り付けて回収または廃棄してください。

ET カートリッジの交換手順

ET カートリッジの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。
☞ 本書 299 ページ「ET カートリッジ交換時の注意」

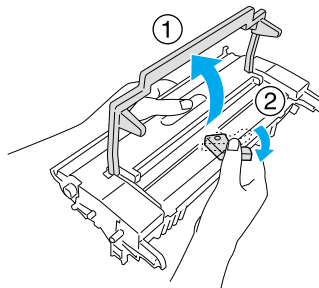
1. **排紙トレイを閉じます。**

2. **前カバーを開けます。**
プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて、前カバーを引き出すように開けます。

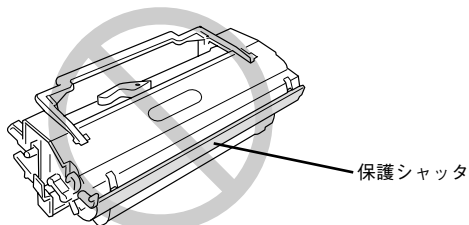
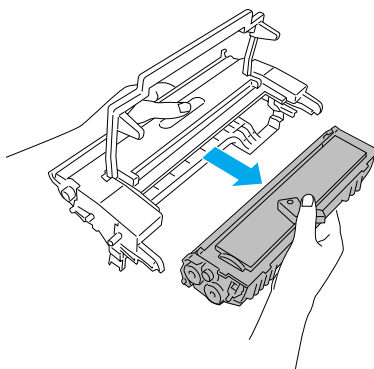
注意	プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

3 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタから取り外します。**

感光体ユニットの取っ手を持って手前にゆっくり引き抜き、取っ手を持ち上げるようにしてユニット全体を取り外します。

ET カートリッジは下図のように感光体ユニットに組み込まれた状態で取り外されます。

4 **ET カートリッジを感光体ユニットから取り外します。**

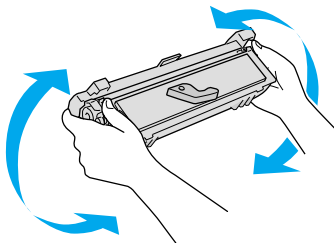
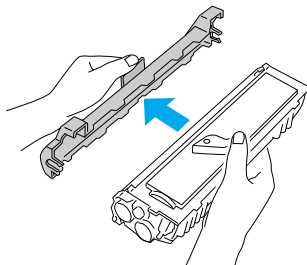
① 感光体ユニットの取っ手を上げてから、感光体ユニット中央のくぼみに指をかけて持ちます。

② ET カートリッジの上面と底面に図のように手を掛けて持ち、青いレバーを矢印の方向へ回します。

注意

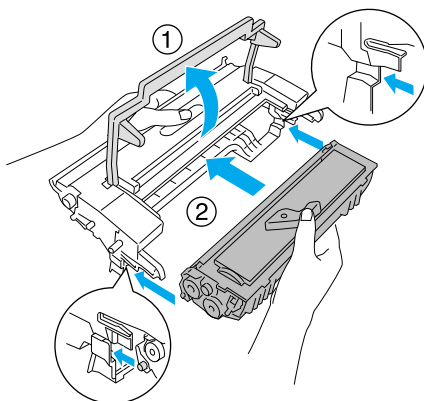
感光体ユニットのドラム保護シャッタは開けないでください。また、内部の感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

5 ETカートリッジを感光体ユニットから引き抜いて取り外します。

参考

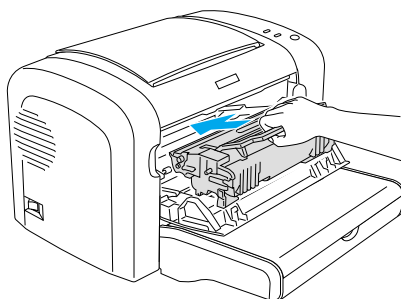
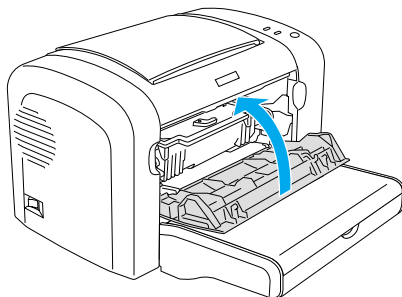
使用済みのETカートリッジについては、以下のページを参照してください。
本書300ページ「使用済みETカートリッジ」

6 新しいETカートリッジを梱包箱から取り出し、図のように左右に傾けながら7～8回ゆっくり振ります。

ETカートリッジ内部のトナーが均一な状態にします。

7 **ETカートリッジのカバーを取り外します。**

参考	取り外したカバーは、ET カートリッジを回収する際に取り付けますので捨てないでください。

8 **ETカートリッジを感光体ユニットに取り付けます。**

感光体ユニットの取っ手を立ててから、色の付いたET カートリッジの突起を、同じ色の付いた感光体ユニットのくぼみに合わせて、奥までしっかりと差し込んで取り付けます。

9 **感光体ユニット（ETカートリッジ）をプリンタに取り付けます。**

感光体ユニット左右下部の色部分をプリンタ本体のガイドに沿わせて、取っ手を倒しながら奥までしっかりと差し込んで取り付けます。

10 前カバーをしっかり閉じます。

以上で ET カートリッジの交換は終了です。

参 考	印刷時は、排紙トレイを開けてください。

感光体ユニットの交換

感光体ユニットについて

本機で使用可能な感光体ユニットは次の通りです。

型番	商品名
LPA4KUT4	感光体ユニット（約20,000 枚 * 印刷可能）

* 印刷可能枚数は、A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合です。ただし、使用状況や印刷の仕方によって感光体ライフ（寿命）は異なります。

本機は純正感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

感光体ユニットの交換時期

- A4サイズの紙に面積比で約5%の印刷を行った場合、通常の使用状況なら1つの感光体ユニットで、約 20,000 枚（A4）まで印刷できます。ただし、使用状況により感光体ライフ（寿命）は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSON プリンタウィンドウ!3 では、感光体ライフの目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
  Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Mac OS 8/9：本書 167 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Mac OS X：本書 209 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、ET カートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の 2 点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

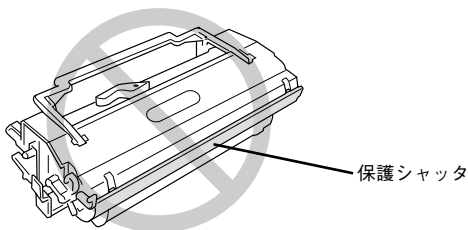
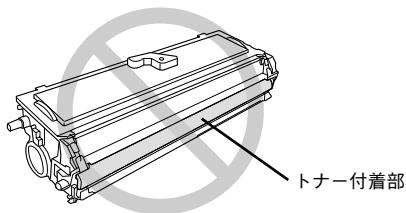
- ETカートリッジのトナー残量をEPSONプリンタウィンドウ!3で確認します。トナーが十分残っているか確かめてください。
  Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Mac OS 8/9：本書 167 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Mac OS X：本書 209 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
- 印刷が薄い場合は、印刷濃度を高めに調整してみてください。
  Windows：本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
  Mac OS 8/9：本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
  Mac OS X：本書 202 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

感光体ユニット交換時の注意

> ⚠警告　感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

> ⚠注意　交換作業中は、プリンタ内部の ET カートリッジと感光体ユニット以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

- 感光体ユニットの交換後は、手順に従って必ず感光体ライフカウンタをリセットしてください。感光体ライフカウンタをリセットしない場合、正確な感光体ライフ残量の検出ができません。

  本書 312 ページ「感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットします。」
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。
- 感光体ユニット交換時に取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。
- 感光体ユニットのドラム保護シャッタは開けないでください。また、内部の感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

- ET カートリッジのトナー付着部には絶対に手を触れないでください。

感光体ユニット保管上の注意

> ⚠注意　子供の手の届かないところに保管してください。

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 30 ～ 85% の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT ディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

使用済み感光体ユニット

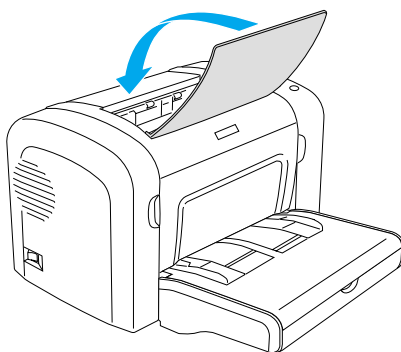
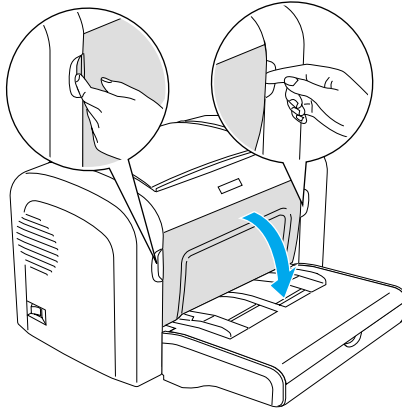
使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

> ⚠警告　感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。付着したトナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

感光体ユニットの交換手順

感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。なお、交換の前に必ず以下のページを参照して注意点を確認してください。

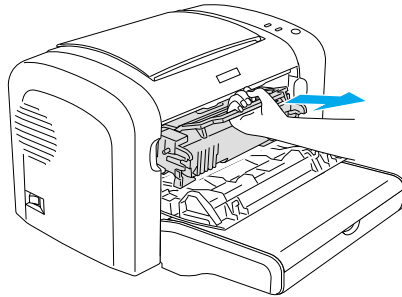
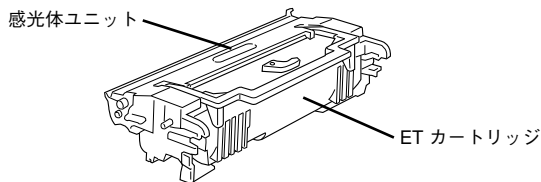
☞ 本書 307 ページ「感光体ユニット交換時の注意」

1 **排紙トレイを閉じます。**

2 **前カバーを開けます。**

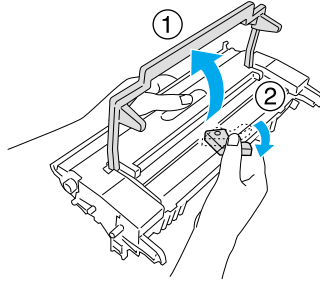
プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて、前カバーを引き出すように開けます。

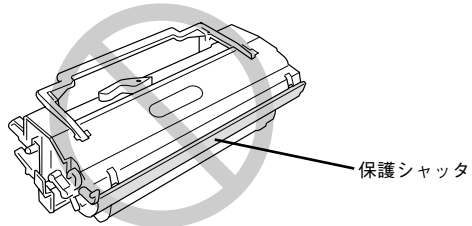
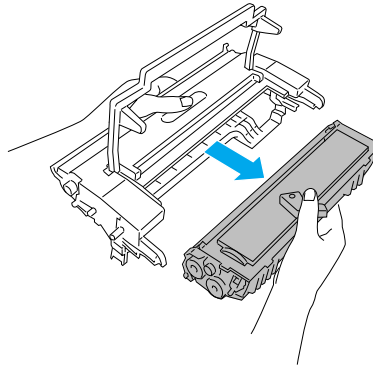
注意 プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

3 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタから取り外します。**

感光体ユニットの取っ手を持って手前にゆっくり引き抜き、取っ手を持ち上げるようにしてユニット全体を取り外します。

感光体ユニットにET カートリッジが組み込まれた状態で取り外されます。

4 **ETカートリッジを感光体ユニットから取り外します。**

① 感光体ユニットの取っ手を上げてから、感光体ユニット中央のくぼみに指をかけて持ちます。

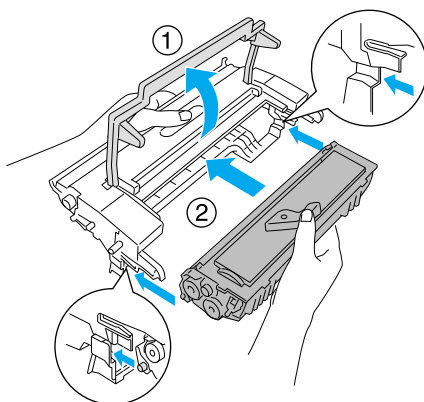
② ET カートリッジの上面と底面に図のように手をかけて持ち、青いレバーを矢印の方向へ回します。

注意

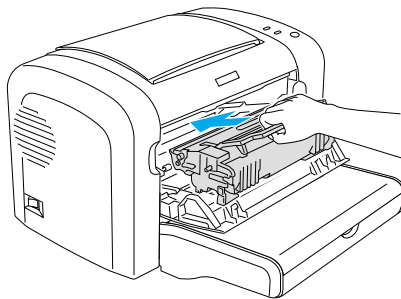
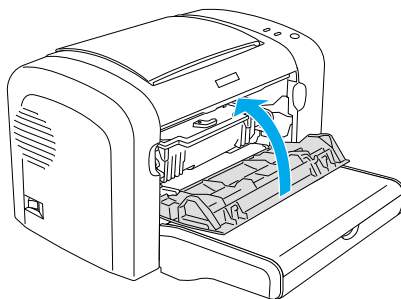
感光体ユニットのドラム保護シャッタは開けないでください。また、内部の感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

5 **ETカートリッジを感光体ユニットから引き抜いて取り外します。**

参考

使用済みの感光体ユニットについては、以下のページを参照してください。

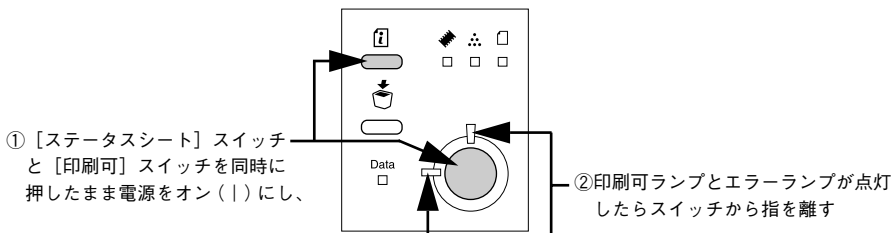
本書 308 ページ「使用済み感光体ユニット」

6 **新しい感光体ユニットをパッケージから取り出し、ET カートリッジを感光体ユニットに取り付けます。**

感光体ユニットの取っ手を立ててから、色の付いた ET カートリッジの突起を、同じ色の付いた感光体ユニットのくぼみに合わせて、奥までしっかりと差し込んで取り付けます。

7 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタに取り付けます。**

感光体ユニット左右下部の色部分をプリンタ本体のガイドに沿わせて、取っ手を倒しながら奥までしっかりと差し込んで取り付けます。

8 **前カバーをしっかり閉じます。**

9 感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットします。

以下いずれか一方の手順に従ってリセットを行います。

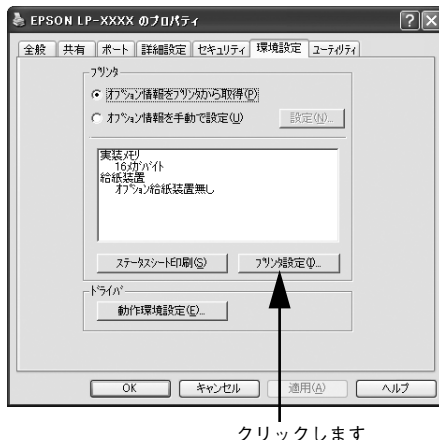
- プリンタの電源をオン（|）のまま感光体ユニットを交換した場合は、一旦電源をオフ（○）にし、［ステータスシート］スイッチと［印刷可］スイッチを同時に押したまま電源をオン（|）にして、印刷可ランプとエラーランプが点灯したらスイッチから指を離します。

- Windowsプリンタドライバや Macintosh用のEPSONリモートパネル!から以下の手順でリセットすることもできます。

Windows の場合

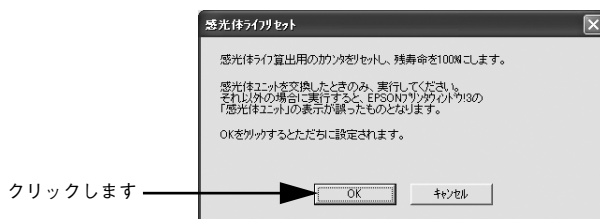
参考 Windwos NT4.0/2000/XP のアクセス権（ユーザーの属するグループ）が［Users/制限ユーザー］の場合は［プリンタ設定］ダイアログを開くことはできますが、カウンタのリセットはできません。カウンタをリセットする場合は、［Administrators または Power Users/コンピュータの管理者］で行ってください。

① プリンタの電源をオフ（○）のまま感光体ユニットを交換した場合は、まず電源をオン（|）にします。
② プリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］タブの［プリンタ設定］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 95/98/Me

＜例＞Windows NT4.0/2000/XP

③［プリンタ設定］ダイアログ内の［感光体ライフリセット］ボタンをクリックします。

参考	印刷中は［感光体ライフリセット］ボタンをクリックしないでください。

④リセットの確認をして［OK］ボタンをクリックします。

⑤リセットが終了したらすべてのダイアログを閉じます。

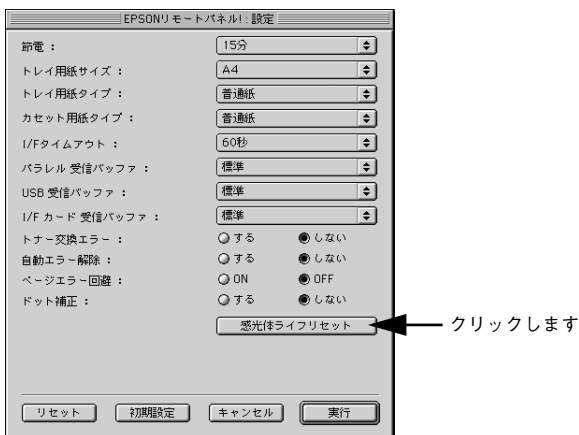
Macintosh の場合

① プリンタの電源をオフ（○）のまま感光体ユニットを交換した場合は、まず電源をオン（｜）にします。

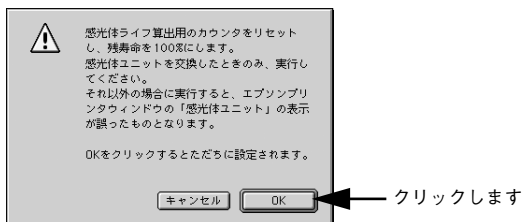
② EPSON リモートパネル！を起動します。

☞ Mac OS 8/9：本書 174 ページ「EPSON リモートパネル！の操作方法」
☞ Mac OS X：本書 217 ページ「EPSON リモートパネル！の操作方法」

③［設定］ダイアログを開いて、［感光体ライフリセット］ボタンをクリックします。

<例> Mac OS 8/9 の場合

参 考	印刷中は［感光体ライフリセット］ボタンをクリックしないでください。

④リセットの確認をして［OK］ボタンをクリックします。

<例> Mac OS 8/9 の場合

⑤ リセットが終了したら、すべてのダイアログを閉じます。

以上で感光体ユニットの交換は終了です。

給紙ローラのクリーニング

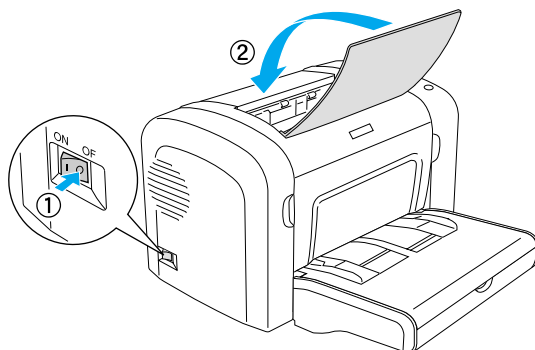
用紙トレイから給紙できなくなったときにはプリンタ内部の給紙ローラをクリーニングしてください。

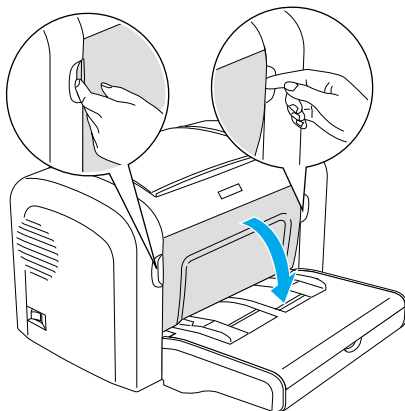
⚠注意

- 作業中は、プリンタ内部の感光体ユニット（ETカートリッジ）以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。
- プリンタの清掃は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注意

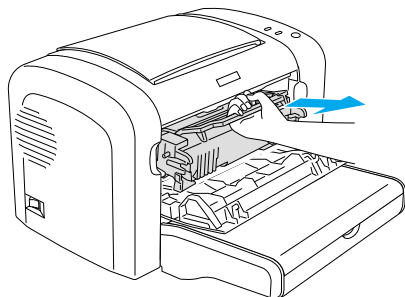
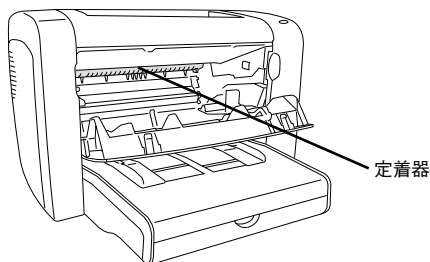
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

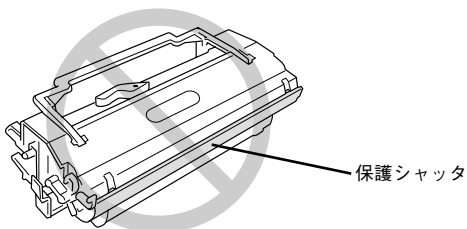
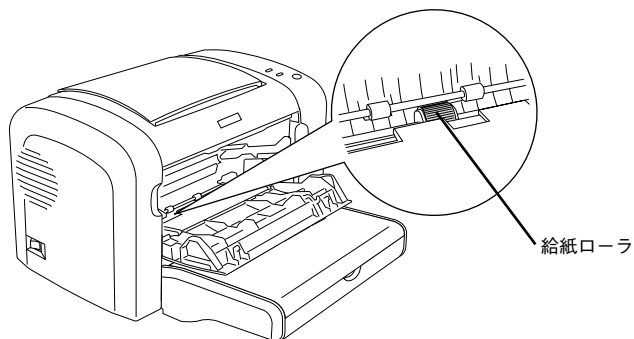
1 プリンタの電源をオフ（○）にして、排紙トレイを閉じます。

2 **プリンタの前カバーを開けます。**

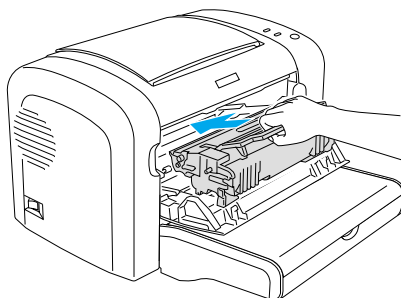
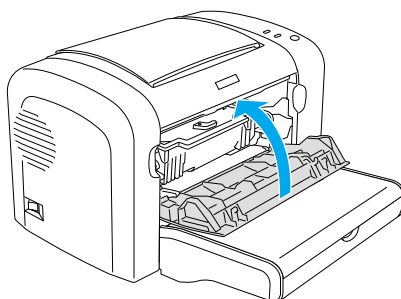
プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて、前カバーを引き出すように開けます。

注意	プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

3 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタから取り外します。**

感光体ユニットの取っ手を持って手前にゆっくり引き抜き、取っ手を持ち上げるようにしてユニット全体を取り外します。

⚠注意

プリンタ使用中に前カバーを開けて感光体ユニット（ET カートリッジ）を取り外したたときは、注意ラベルで示すプリンタ内部の定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。

注 意

- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。
- 感光体ユニットは、ET カートリッジからトナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。
- 感光体ユニットのドラム保護シャッタは開けないでください。また、内部の感光体ドラム（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

4 **水を湿らせてかたく絞った布で給紙ローラのゴム部分をていねいに拭きます。**

5 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタに取り付けます。**

感光体ユニット左右下部の色部分をプリンタ本体のガイドに沿わせて、取っ手を倒しながら奥までしっかりと差し込んで取り付けます。

6 **プリンタの前カバーをしっかり閉じます。**

以上で給紙ローラのクリーニングは終了です。

参 考	印刷時は、排紙トレイを開けてください。

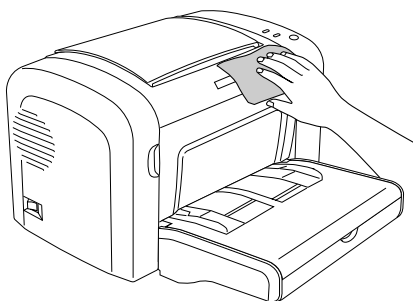
プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

⚠注意　プリンタの清掃は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

注 意

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

輸送と移動の方法

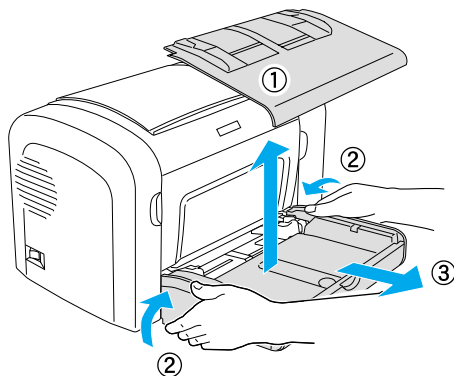
まず、プリンタの電源をオフ（○）にして排紙トレイを閉じてから、以下のものを取り外してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ内の用紙
- 用紙トレイ（下記手順に従って取り外します）
- オプションの増設 1 段カセットユニット（装着時のみ）

プリンタを運搬するときは、もう一度梱包してください。プリンタを設置していた台を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

用紙トレイの取り外し方

用紙トレイを取り外すときは、下図のように引き抜いてください。

① 用紙トレイのカバーを外します。
② 用紙トレイの側面（左右）を図のように内側に少したわめます。
③ 用紙トレイを手前に引き抜きます。

輸送時の注意

プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。ページプリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 使用中 / 使用済みの感光体ユニット（ET カートリッジ）を取り外した場合は、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

電源コンセントに電気が来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

> **参考**
> 以上の3点を確認の上で電源スイッチをオン(I)にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口へのご相談先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

印刷できない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ 本書 279 ページ「オプションと消耗品の紹介」

プリンタが印刷できない状態です。

プリンタのランプの状態を確認します。エラーが表示されている場合は、以下のページを参照してエラーを解除してください。

☞ 本書 330 ページ「プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

- ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。
- オプションのI/Fカードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windowsの場合

LP-2500のプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

1. **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］/［プリンタ］を開きます。**
   - **Windows XPの場合**

   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタとFAX］が表示されている場合は、［プリンタとFAX］をクリックして、2へ進みます。
   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③［プリンタとFAX］をクリックします。
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合**

   ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

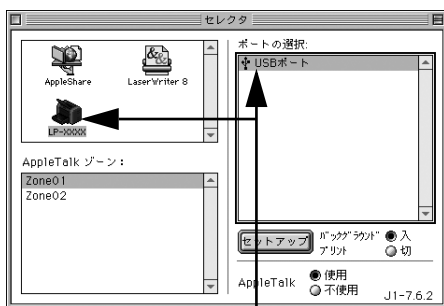
- **Windows XP の場合**

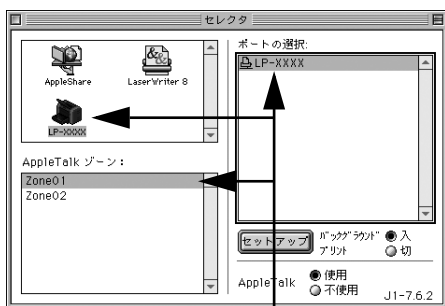
  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（LP-2500）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  使用するプリンタ名（LP-2500）を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

Mac OS 8/9の場合

お使いの機種のプリンタドライバが、［セレクタ］で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

選択したプリンタドライバが正しいか確認します

＜ネットワーク接続の場合＞

選択したプリンタドライバが正しいか確認します

Mac OS Xの場合

お使いのプリンタが［プリントセンター］の［プリンタリスト］に追加されているか、また複数のプリンタが追加されている場合は通常使うデフォルトプリンタとして選択されているか（プリンタ名が太文字で表示されているか）確認してください。

Windows プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

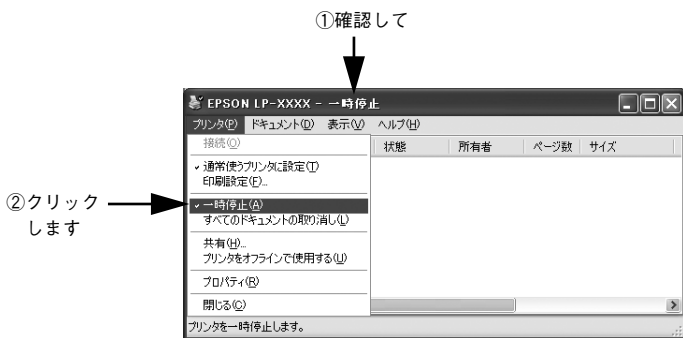
1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

- **Windows XP の場合**

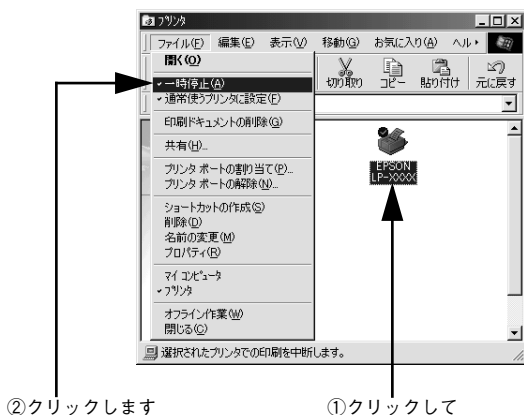
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

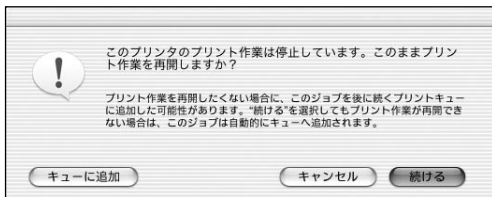
- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 **LP-2500 のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。**

Windows 95/98/Me の場合

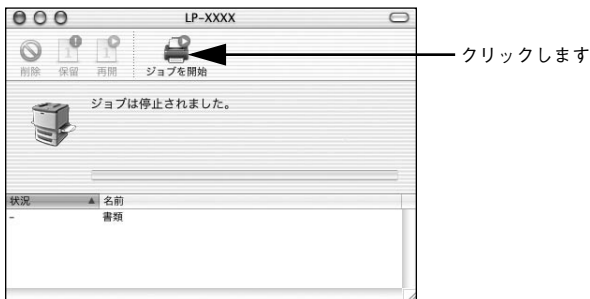
① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

② LP-2500 のアイコンをクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

Mac OS X でプリンタが一時停止になっていませんか？

Mac OS X の場合、［プリントセンター］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［続ける］をクリックすると、プリンタ作業が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

①［プリントセンター］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。

②プリンタ名（LP-2500）をダブルクリックします。

③［ジョブを開始］をクリックします。

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

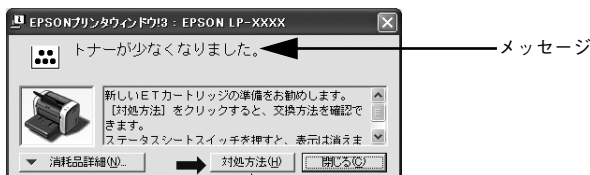
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

本書 96 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしている場合に、プリンタに問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

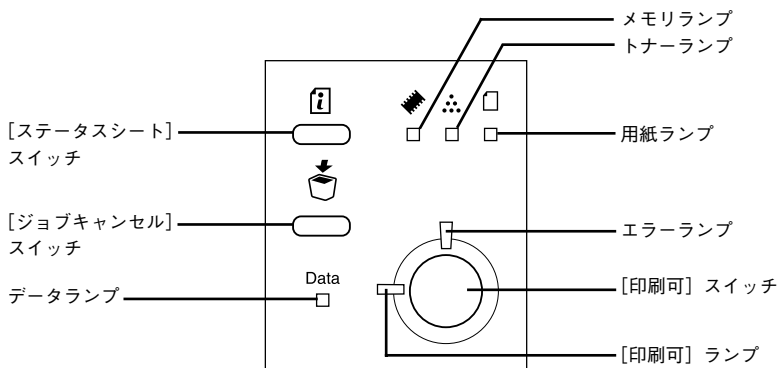
＜例＞ Windows の EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合

［対処方法］ボタンがある場合には、そのボタンをクリックすると対処方法が表示されます。対処方法に従って問題を解決することができます。

参考

プリンタにエラーや問題が発生すると、プリンタのランプが点灯または点滅してお知らせします。以下のページに詳しく対処方法を説明していますので参照してください。

本書 330 ページ「プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？」

プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？

参考　ランプの表示だけでは、プリンタの状態を判断しづらい場合があります。コンピュータの画面上で EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して確認してください。

ランプの組み合わせで表示されるプリンタの状態には、ワーニング、エラー、ステータスの３種類があります。

プリンタの状態	説明
ワーニング	プリンタに何らかの問題が発生している状態です。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。ワーニングは、［ステータスシート］スイッチを押して消すことができます。
エラー	プリンタに何らかのエラーが発生していて印刷が実行できない、あるいは指定された条件での印刷が実行できずにプリンタ側で自動的にエラー回避の手段を取ったことを意味します。以降の説明を参照して適切な処置をしてください。
ステータス	プリンタの現在の状態です。

参考

- エラーとワーニングが発生している場合は、ワーニングの表示を行いません。
- ワーニング発生中に他のワーニングが発生した場合は、該当するすべてのランプが点滅します。
- 自動復帰できないエラーが発生した場合は、［印刷可］スイッチを押してもエラーを解除することはできません（ただし、エラーランプは一時的に消えます）。［印刷可］スイッチから指を離すとエラーランプが再度点灯しますので、適切な処置を行ってエラーを解除してください。

ランプ状態の記載の意味は、以下の通りです。

記載	意味
点灯	点灯
ー	状況によって点滅または点灯します。
消灯	消灯

記載	意味
点滅１	点灯 0.3 秒、消灯 0.3 秒の点滅
点滅２	点灯 0.6 秒、消灯 0.6 秒の点滅
点滅３	点灯 0.6 秒、消灯 2.4 秒の点滅

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
点灯	消灯	消灯	ー	消灯	点滅 1	**エラー：ページエラー（オーバーラン）が発生しました。** 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。 Windows:本書 48 ページ「[プリンタ設定]ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 176 ページ「[設定] ダイアログ」 Mac OS X：本書 219 ページ「[設定] ダイアログ」 ［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、次のどちらかの操作を行ってください（[自動エラー解除］をオンに設定しておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 • ［印刷可］スイッチを押します。 • ジョブキャンセルを行います。 プリンタドライバの［ページエラー回避］をオンにすると、このエラーは発生しません。 Windows:本書 48 ページ「[プリンタ設定]ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 176 ページ「[設定] ダイアログ」 Mac OS X：本書 219 ページ「[設定] ダイアログ」 また、解像度を下げて印刷したり、あるいは［印刷モード］を［標準（PC）］（Windows）または［CRT 優先］（Mac OS 8/9*）にすることによってエラーの発生を回避できる場合があります。 Windows：本書 53 ページ「[拡張設定] ダイアログ」 Mac OS 8/9:本書 139 ページ「[詳細設定]ダイアログ」 * Mac OS 8.6-9.x でのみ設定できます。Mac OS X 10.2 以降では設定できません。
						エラー：メモリオーバーでメモリが足りません。 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できません。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。 Windows:本書 48 ページ「[プリンタ設定]ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 176 ページ「[設定] ダイアログ」 Mac OS X：本書 219 ページ「[設定] ダイアログ」 ［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、次のどちらかの操作を行ってください（[自動エラー解除］をオンに設定しておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 • ［印刷可］スイッチを押します。 • ジョブキャンセルを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を下げるか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
点灯	消灯	消灯	ー	消灯	点灯	**エラー：オプション RAM エラー** オプションの増設メモリにエラーが発生しました。 - 一旦電源をオフ（○）にし、増設メモリの装着状態を確認してください。
点灯	消灯	消灯	ー	消灯	点灯	**エラー：I/F カードエラーが発生しました。** 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。 - 電源をオフにした後、インターフェイスカードを抜きます。
点滅 1	ー	ー	ー	ー	消灯	**ワーニング：印刷できませんでした。** 間違ったプリンタドライバで印刷を実行し、印刷できませんでした。 - 表示を消すには、［ステータスシート］スイッチを押します。本機のプリンタドライバを使って印刷を実行してください。
						ワーニング：部数指定できませんでした。 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、1 部だけ印刷します。 - プリンタドライバで解像度を下げて印刷することで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。
						ワーニング：解像度を落としました。 メモリ不足により指定された解像度での印刷ができず、解像度を下げて印刷しました。 - 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、ジョブキャンセルを行います。 印刷後に表示を消すには、［ステータスシート］スイッチを押します。 再度印刷するときは解像度を下げて印刷してください。または、メモリを増設してください。
						ワーニング：メモリの増設をお勧めします。 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。 - 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、ジョブキャンセルを行います。印刷後に表示を消すには、［ステータスシート］スイッチを押します。 再度印刷するときは、解像度を下げて印刷してください。または、メモリを増設してください。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
消灯	点灯	消灯	ー	消灯	点灯	**エラー：トナーカートリッジを入れてください。** ET カートリッジが装着されていません。 - ET カートリッジを装着してください。
						エラー：トナーカートリッジ ID エラー 装着されている ET カートリッジは LP-2500 用ではありません。または、正しく装着されていません。 - ET カートリッジを装着し直してください。同じエラーが発生する場合は、新しい ET カートリッジと交換してください。
						エラー：トナーカートリッジ R/W エラー 装着している ET カートリッジが正常に利用できません。または、正しく装着されていません。 - ET カートリッジを装着し直してください。同じエラーが発生する場合は、新しい ET カートリッジと交換してください。
消灯	点灯	消灯	ー	消灯	点滅 1	**エラー：非純正品トナーカートリッジ** 純正品ではない ET カートリッジが装着されています。 - ［印刷可］スイッチを押すと印刷を再開します。
消灯	点灯	消灯	ー	消灯	点滅 2	**エラー：トナーカートリッジを交換してください。** ET カートリッジのトナーがなくなりました。 - 新しい ET カートリッジと交換してください。 本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」 このメッセージは、［印刷可］スイッチを押すと一時的に消去できます。ただし、［トナー交換エラー（表示）］をオンに設定している場合は、1 枚印刷するごとにエラーが発生します。エラーが発生するたびに［印刷可］スイッチを押してエラーを解除してください。 Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 176 ページ「［設定］ダイアログ」 Mac OS X：本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」
ー	点滅 1	ー	ー	ー	消灯	**ワーニング：トナーが少なくなりました。** トナー残量が少なくなりました。 - ［ステータスシート］スイッチを押すと、メッセージを消去します（メッセージを消去しなくても使用上問題ありません）。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
ー	点滅 3	ー	ー	ー	消灯	**ワーニング：非純正品トナーカートリッジ** 純正品ではない ET カートリッジが装着されています。 - 表示を消すには、[ステータスシート] スイッチを押します。
消灯	消灯	点灯	ー	消灯	点灯	**エラー：給紙ミスで用紙が詰まりました。** 給紙口で紙詰まりが発生し、正常に給紙が行われませんでした。 - 給紙口の紙詰まりを取り除き、前カバーを一旦開閉します。 • 用紙トレイから給紙している場合は、用紙を用紙トレイにセットし直します。 • 手差しガイドから給紙している場合は、新しい用紙を手差しガイドにセットし直します。 • オプションの増設 1 段カセットユニットから給紙している場合は、用紙を用紙カセットにセットし直して、用紙カセットをユニットに取り付けます。 エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。 本書 344 ページ「給紙部で用紙が詰まった場合は」
						エラー：プリンタ内部で用紙が詰まりました。 プリンタ内部（給紙口以外）で紙詰まりが発生しました。 - 前カバーを開けて用紙を取り除き、前カバーを閉じます。 エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。 本書 352 ページ「内部で用紙が詰まった場合は」
						エラー：排紙部で用紙が詰まりました。 プリンタ排紙部の定着器付近で紙詰まりが発生しました。 - 排紙カバーを開けて用紙を取り除き、排紙カバーを閉じます。続けて、前カバーを一旦開閉します。エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。 本書 357 ページ「排紙部で用紙が詰まった場合は」
						エラー：オプションの用紙カセットエラー オプションの増設 1 段カセットユニットの用紙カセットから給紙できませんでした。 - 用紙カセットがカセットユニットに正しく取り付けられているか確認してください。

ランプ						説明 / 処置
メモリ	トナー	用紙	データ Data	印刷可	エラー	
消灯	消灯	点滅 1	ー	消灯	点灯	**エラー：用紙がありません。** ① 印刷のために給紙しようとした給紙口に用紙がセットされていません。 ② すべての給紙口に用紙がセットされていません。 - ① 給紙しようとした給紙装置に正しいサイズの用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 ② いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態が解除されます。
消灯	消灯	点滅 1	ー	消灯	点滅 1	**エラー：用紙を交換してください。** 給紙を行おうとした給紙装置にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズが異なっています。 - 以下のページを参照して［自動エラー解除］の設定を確認してください。［自動エラー解除］がオフに設定されている場合は、以下の 3 つのうちいずれかの操作を行ってください（［自動エラー解除］をオンに設定しておくと、一定時間（5 秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 176 ページ「［設定］ダイアログ」 Mac OS X：本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」 • 給紙装置に正しいサイズの用紙をセットします。［印刷可］スイッチを押して印刷します。 • 用紙を交換しないで［印刷可］スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 • ジョブキャンセルを行います。
ー	ー	点滅 1	ー	ー	消灯	**ワーニング：用紙サイズが正しくありません。** 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。 - ［用紙サイズのチェックをしない］をオンに設定すると、用紙サイズエラーは表示されなくなります。 Windows：本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」 Mac OS X：本書202 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
						ワーニング：指定したタイプの用紙がありませんでした。 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 - メッセージは［ステータスシート］スイッチを押すと消えます。以下のページを参照して各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。 Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」 Mac OS 8/9：本書 176 ページ「［設定］ダイアログ」 Mac OS X：本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」

<table>
<tr><th colspan="6">ランプ</th><th rowspan="2">説明 / 処置</th></tr>
<tr><th>メモリ</th><th>トナー</th><th>用紙</th><th>データ
Data</th><th>印刷可</th><th>エラー</th></tr>
<tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>点灯</td><td>消灯</td><td>ステータス：印刷可能です。
印刷可状態です。</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>点滅 1</td><td>消灯</td><td>ステータス：ウォーミングアップしています。
ウォーミングアップ中です。
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
しばらくお待ちください。</td></tr>
<tr><td>点滅 1</td><td>ー</td><td>消灯</td><td>ー</td><td>点滅 1</td><td>点滅 1</td><td>ステータス：全ジョブをキャンセルします。
印刷処理を中止して、すべてのデータを削除しました。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>ー</td><td>消灯</td><td>ー</td><td>点滅 1</td><td>点滅 1</td><td>ステータス：ジョブをキャンセルします。
印刷処理を中止して、データ（ジョブ単位）を削除しました。</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>点滅 1</td><td>点滅 1</td><td>ステータス：ジョブをキャンセルします。
コンピュータから印刷処理を中止して、データ（ジョブ単位）を削除しました。</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>点滅３</td><td>消灯</td><td>ステータス：節電しています。
節電状態です。データを受信すると解除されます。
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
節電状態を解除するには、印刷を開始してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">消灯</td><td rowspan="2">消灯</td><td rowspan="2">消灯</td><td rowspan="2">ー</td><td rowspan="2">消灯</td><td rowspan="2">点灯</td><td>エラー：前カバーが開いています。
前カバーが開いています。
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
前カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。</td></tr>
<tr><td>エラー：排紙カバーが開いています。
排紙カバーが開いています。
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
排紙カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。</td></tr>
<tr><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>消灯</td><td>点滅３</td><td>ステータス：印刷できない状態です。
［印刷可］スイッチが押されていません。
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
印刷するには、［印刷可］スイッチを押してください。</td></tr>
<tr><td colspan="6">• 「全点灯→全消灯→エラーコード点灯→全消灯」の順序で繰り返す。
• 「メモリ/トナー/用紙ランプが消灯、データ/印刷可/エラーランプが点灯→全消灯→エラーコード点灯→全消灯」の順序で繰り返す。</td><td>エラー：サービスへ連絡してください。
サービスコールエラーが発生しました。
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
一旦電源をオフ（○）にし、数分後にオン（｜）にします。再度発生したときは、エラーコード点灯（6 つのランプの点灯組み合わせ）を記録してから、保守契約店あるいは販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。</td></tr>
</table>

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

Windows プリンタドライバの設定を確認してください。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh でプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていますか？

Mac OS 8/9 の場合

［セレクタ］で本機のプリンタドライバを選択してください。

☞ 本書 127 ページ「印刷を始める前に」

Mac OS Xの場合

［プリントセンター］で本機のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］ダイアログで本機を選択してください。

☞ 本書 187 ページ「印刷を始める前に」
☞ 本書 195 ページ「［プリント］ダイアログ」

正しいゾーン、プリンタが選択されていますか？

Mac OS 8/9の場合

AppleTalkゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、[セレクタ] で正しい [AppleTalkゾーン] と本機を選択してください。

本書127ページ「印刷を始める前に」

Mac OS Xの場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、[プリントセンター] の [EPSON AppleTalk] から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認して、[プリントセンター] で正しい [AppleTalk Zone] を選択して本機を追加してください。

本書187ページ「印刷を始める前に」

Macintoshでプリンタが認識されない

QuickDraw GXを使用していませんか？

本プリンタドライバは、Mac OS 8/9のQuickDraw GXに対応していません。QuickDraw GXを使用停止にしてください。

本書389ページ「Macintoshシステム条件」

Mac OS XでAppleTalkが有効になっていますか？

[プリントセンター] で [EPSON AppleTalk] を選択して本機を追加する場合は、AppleTalkがオン（使用可能）である必要があります。Mac OS XではAppleTalkはオフ（使用しない）に初期設定されています。AppleTalkが使用できない場合は、[システム環境設定] から [ネットワーク] を開き、[ApplTalk] タブで使用可能になっているか確認してください。

Mac OSX：本書187ページ「印刷を始める前に」

AppleTalkネットワークゾーンの設定が違いませんか？

Mac OS 8/9の場合

AppleTalkゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を選択する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく選択してください。

本書127ページ「印刷を始める前に」

Mac OS Xの場合

AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている本機を、[プリントセンター] の [EPSON AppleTalk] から追加する場合は、本機が接続されているゾーンを管理者の方に確認の上、正しく追加してください。

本書187ページ「印刷を始める前に」

プリンタ名またはホスト名、IP アドレスを変更していませんか？
ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタ名またはホスト名、IP アドレスに設定してください。
☞ Mac OS 8/9：本書 127 ページ「印刷を始める前に」
☞ Mac OSX：本書 187 ページ「印刷を始める前に」

エラーが発生する

プリンタのメモリ容量は十分ですか？
プリンタのメモリが足りないと メモリ関連のエラーが発生します。[印刷品質]（解像度）を［はやい］にすると印刷できる場合があります。
☞ Windows：本書 21 ページ「[基本設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 135 ページ「[プリント］ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 199 ページ「[印刷設定］ダイアログ」
またはプリンタへのメモリの増設をお勧めします。

Macintosh をお使いの場合、正しいバージョンの OS を使用していますか？
プリンタドライバの動作可能環境は、Mac OS（8.6-9.x）または Mac OS X（10.2.x）です。
☞ 本書 389 ページ「Macintosh システム条件」

Mac OS 8.6-9.x のシステムメモリの空き容量は十分ですか？
Mac OS 8.6-9.x 用のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

本書230ページ「用紙について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

オプションの増設1段カセットユニット装着時に、用紙カセットが正しくセットされていますか？

用紙カセットを正しくセットしてください。

本書235ページ「用紙トレイへの用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートを印刷して、給紙装置の用紙サイズを確認してください。

Windows：本書44ページ「［環境設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書156ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
Mac OS X；本書217ページ「EPSONリモートパネル！の操作方法」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

Windows：本書21ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書135ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書199ページ「［印刷設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？

アプリケーションソフトによっては、データの最後に排紙命令を出さないものもあります。［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消してから［印刷可］スイッチを約2秒間押してください。

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラを拭いてください。

本書315ページ「給紙ローラのクリーニング」

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

プリンタの前カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンサービスコールセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？

用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

裏面に印刷された用紙を使用していませんか？

一度印刷した後の裏紙は使用できません。

☞ 本書 231 ページ「印刷できない用紙」

用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。

☞ 本書 230 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙が完全に排紙される前に手差しガイドに給紙していませんか？

手差しガイドへの給紙は、必ず直前に印刷した用紙が完全に排紙されてから行ってください。

用紙トレイへセットした用紙の用紙指定は正しく行われていますか？

セットした用紙サイズや用紙タイプ（種類）は、プリンタドライバまたはユーティリティで正しく設定してください。

☞ Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 174 ページ「EPSON リモートパネル !」
☞ Mac OS X：本書 217 ページ「EPSON リモートパネル !」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？

特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞ 本書 279 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

Windows の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。

- Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

I/F カードがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

NetWare 共有プリンタを監視するには、監視するプリンタにインターフェイスカード（PRIFNW3S）を装着する必要があります。

他のインターフェイスから印刷していませんか？

印刷の終了後に再度印刷を実行してみてください。

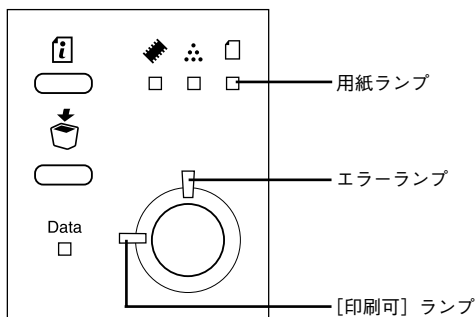
参考

お使いのネットワーク環境（NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、EPSON プリンタウィンドウ !3 がネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このような場合には、［ユーティリティ］タブ内の［印刷中プリンタのモニタを行う］のチェックを外してお使いください。

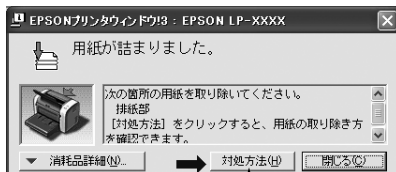
☞ 本書 58 ページ「［ユーティリティ］ダイアログ」

用紙が詰まったときは

用紙が詰まる主な原因と、詰まった用紙を取り除く方法を説明します。

紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプと用紙ランプが点灯してお知らせします。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON プリンタウィンドウ!3 が紙詰まりをお知らせします。［対処方法］ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って作業してください。

Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Mac OS 8/9：本書 167 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Mac OS X：本書 209 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

＜例＞Windows：排紙部で詰まった場合

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙が正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
  ☞ 本書 230 ページ「印刷できる用紙の種類」
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  ☞ 本書 315 ページ「給紙ローラのクリーニング」

注意

- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。

給紙部で用紙が詰まった場合は

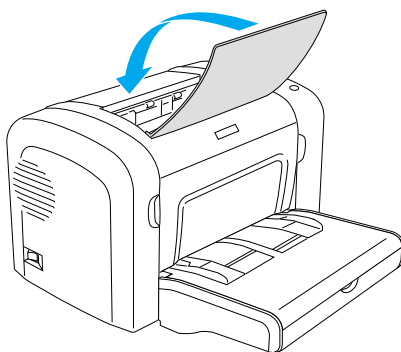
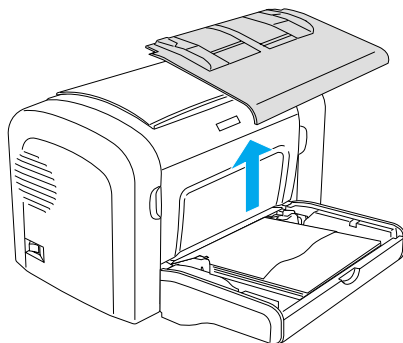
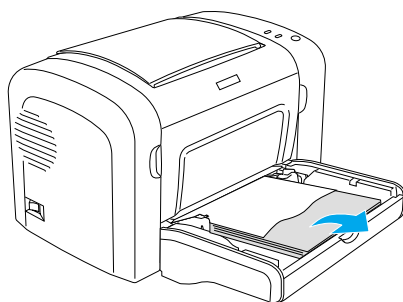
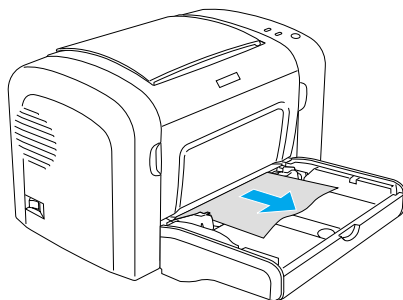
プリンタの給紙部（用紙トレイ、手差しガイド、またはオプションの増設 1 段カセットユニットの用紙カセット）で紙詰まりが発生した場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

参考

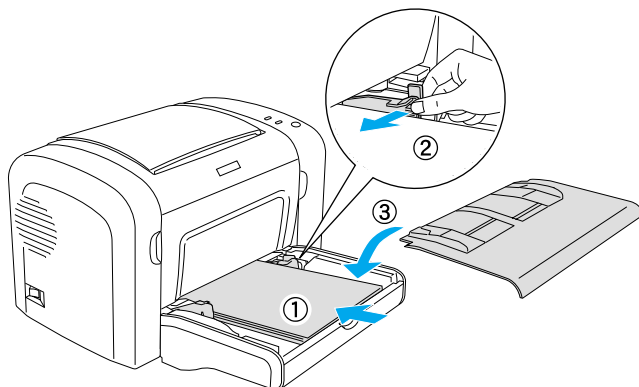
用紙がなくなったときも、給紙部で用紙が詰まったときと同じエラーを表示します。用紙がなくなっている場合は、用紙をセットした後、EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージ画面にある［続行］ボタンをクリックすると、エラーが解除され、印刷を続行することができます。

用紙トレイでの紙詰まり

用紙トレイでの紙詰まりは、以下の手順で取り除いてください。

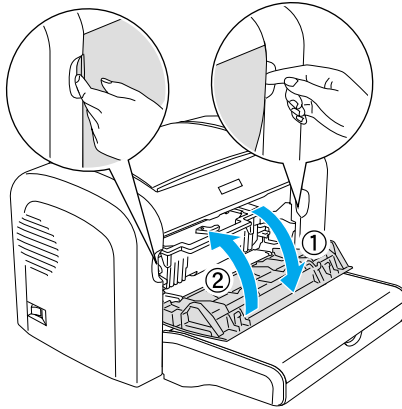
1. **排紙トレイを閉じます。**

2 用紙トレイのカバーを取り外します。

3 用紙トレイにセットされている用紙を取り除きます。

4 詰まっている用紙を手前にゆっくり引き抜きます。

注意

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。破れた紙片がプリンタ内に残ると故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

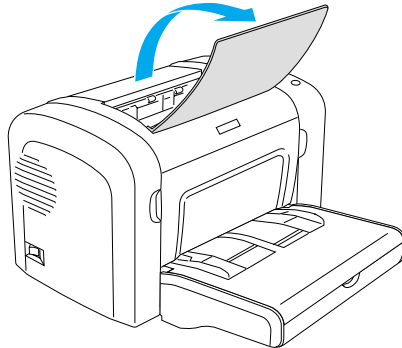
5 用紙トレイに用紙をセットしてからカバーを取り付けます。

参考

用紙トレイ奥（プリンタ内部）の底板が押し下げられていることを確認してから、用紙をセットし直してください。

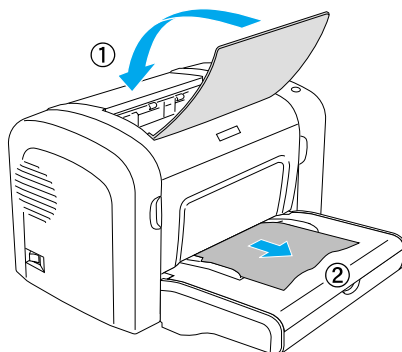
6 **前カバーをゆっくり開閉します。**

プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて前カバーを開け、すぐにしっかり閉めてください。前カバーの開閉でエラー状態を解除します。

参考	用紙を取り除いてもエラーは解除されません。前カバーを必ず一度開閉してエラーを解除してください。

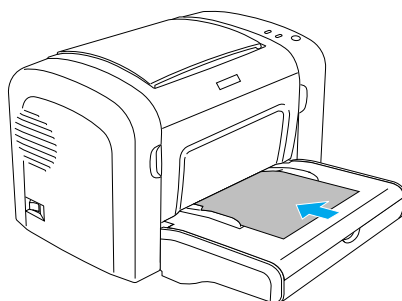
7 **排紙トレイを開けます。**

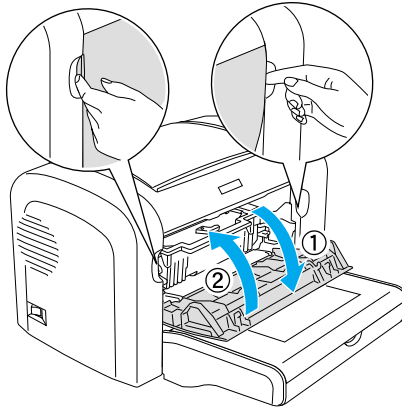
前カバーが閉まると、正常に印刷排紙できなかったページから自動的に再度印刷されますので、すぐに排紙トレイを開けます。

手差しガイドでの紙詰まり

手差しガイドでの紙詰まりは、以下の手順で取り除いてください。

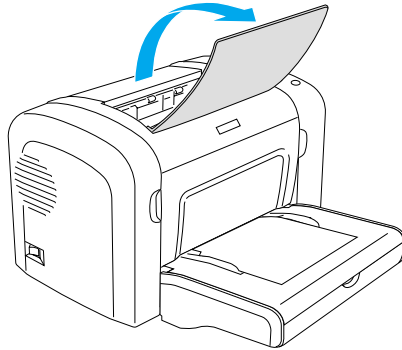
1. **排紙トレイを閉じて、詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。**

注意

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。破れた紙片がプリンタ内に残ると故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

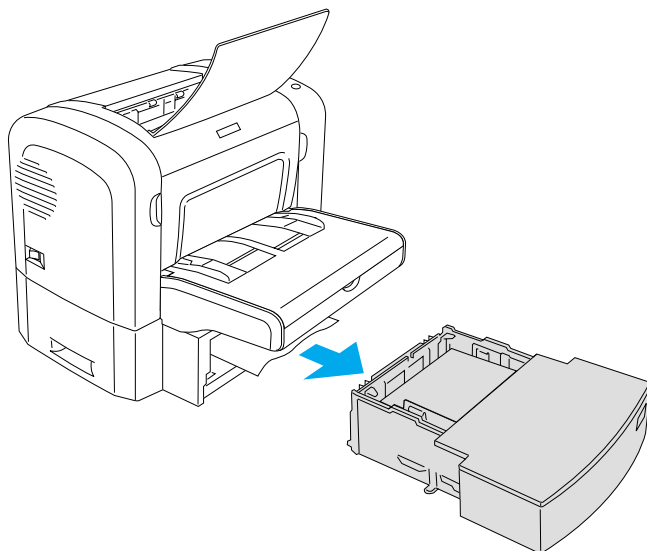
2. **新しい用紙を手差しガイドにセットし直します。**

3 前カバーをゆっくり開閉します。

プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて前カバーを開け、すぐにしっかり閉めてください。

参考	用紙を取り除いてもエラーは解除されません。前カバーを必ず一度開閉してエラーを解除してください。

4 排紙トレイを開けます。

前カバーが閉まると、正常に印刷排紙できなかったページから自動的に再度印刷されますので、すぐに排紙トレイを開けます。

増設 1 段カセットユニットでの紙詰まり

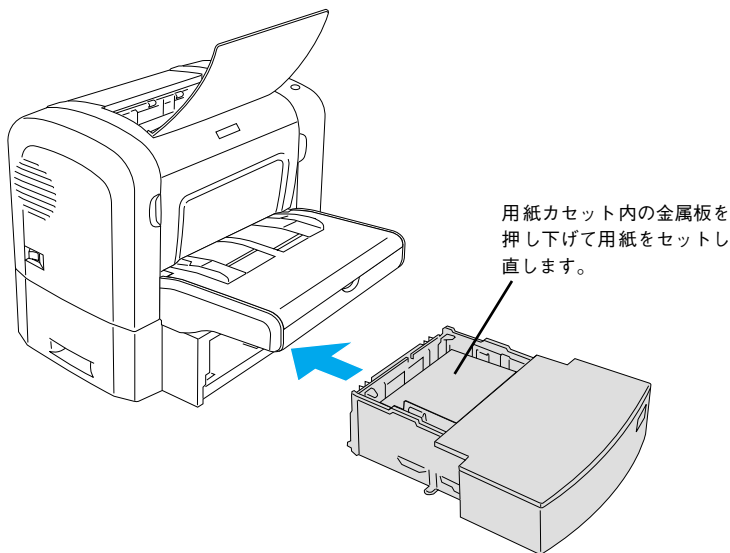
オプションの増設 1 段カセットユニットでの紙詰まりは、以下の手順で取り除いてください。

1. 用紙カセットを取り外します。

2. 用紙カセット内で詰まった用紙があれば取り除きます。

3. ユニットの挿入口の奥から詰まっている用紙を手前にゆっくり引き抜きます。

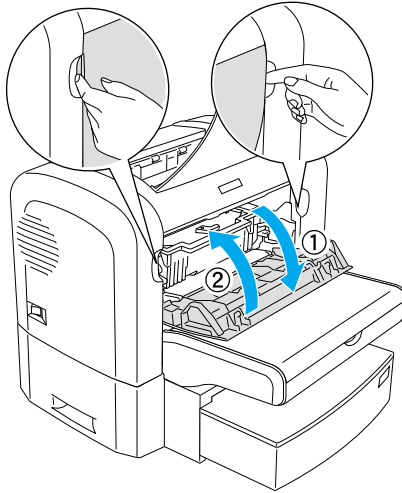
注意

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。破れた紙片がプリンタ内に残ると故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

4 **用紙カセットに用紙をセットし直して、用紙カセットをユニットに取り付けます。**

参考

用紙カセット内部の金属板が押し下げられていることを確認してから、用紙カセットをプリンタにセットしてください。

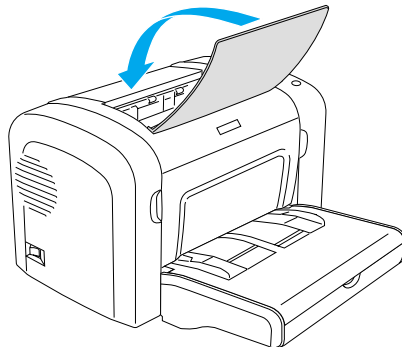
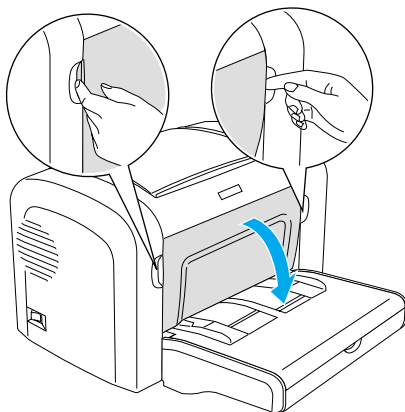
5 **前カバーをゆっくり開閉します。**

プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて前カバーを開け、すぐにしっかり閉めてください。前カバーの開閉でエラー状態を解除します。

前カバーが閉まると、正常に印刷排紙できなかったページから自動的に再度印刷されます。

参考	用紙を取り除いてもエラーは解除されません。前カバーを必ず一度開閉してエラーを解除してください。

内部で用紙が詰まった場合は

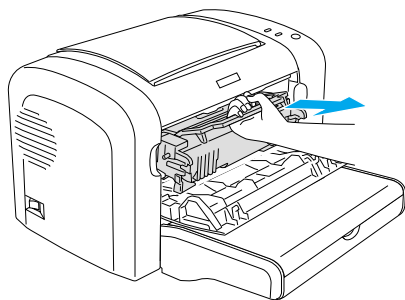
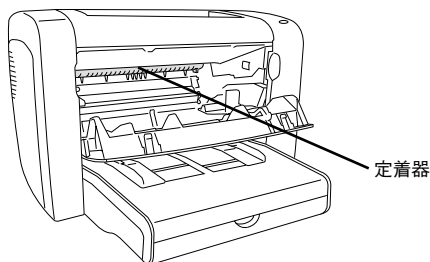
プリンタの内部で紙詰まりが発生した場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

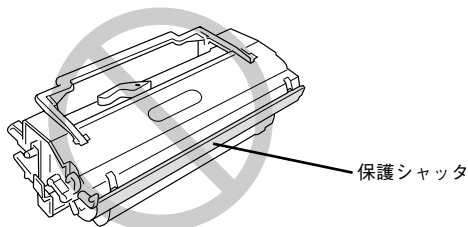
1 **排紙トレイを閉じます。**

2 **前カバーを開けます。**

プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて、前カバーを引き出すように開けます。

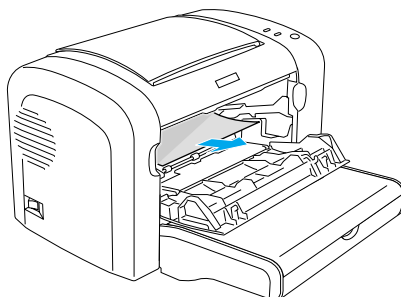
注 意	プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

3 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタから取り外します。**

感光体ユニットの取っ手を持って手前にゆっくり引き抜き、取っ手を持ち上げるようにしてユニット全体を取り外します。

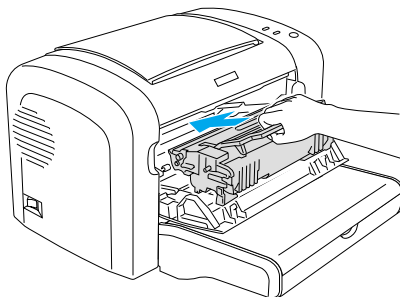
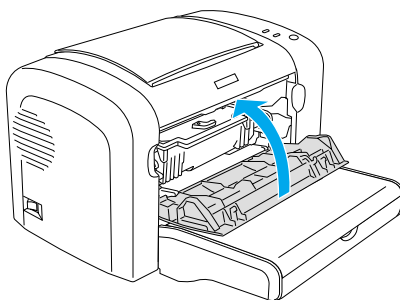
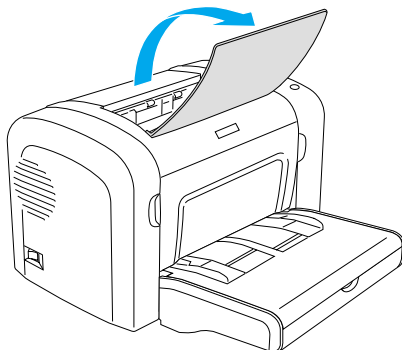
⚠注意

プリンタ使用中に前カバーを開けて感光体ユニット（ET カートリッジ）を取り外したたときは、注意ラベルで示すプリンタ内部の定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。

注意

- 感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

- トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

4 詰まっている用紙を手前にゆっくりと引き抜きます。

注 意

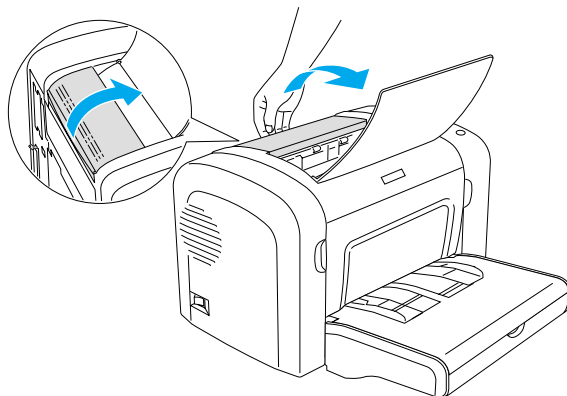
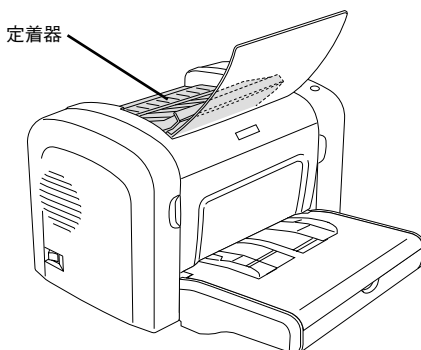
- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。破れた紙片がプリンタ内に残ると故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

5 **感光体ユニット（ET カートリッジ）をプリンタに取り付けます。**

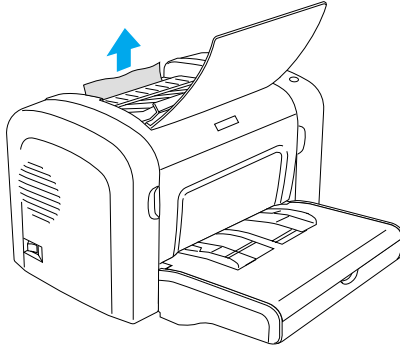
感光体ユニット左右下部の色部分をプリンタ本体のガイドに沿わせて、取っ手を倒しながら奥までしっかりと差し込んで取り付けます。

6 **前カバーをしっかり閉じます。**

7 排紙トレイを開けます。

前カバーが閉まると、正常に印刷排紙できなかったページから自動的に再度印刷されます。

排紙部で用紙が詰まった場合は

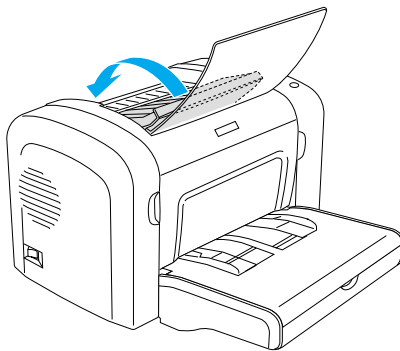
プリンタの排紙部で紙詰まりが発生した場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

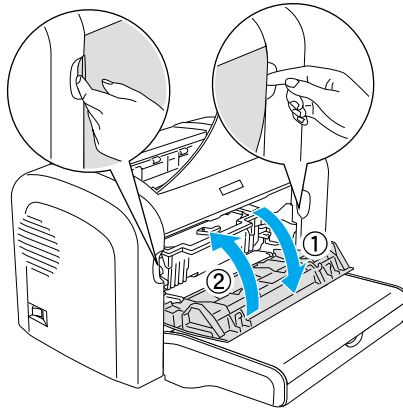
1. **排紙カバーを開けます。**

⚠注意 プリンタ使用中に排紙カバーを開けたとき、注意ラベルで示すプリンタ内部の定着器部分に触れないでください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。

2 **詰まっている用紙をゆっくりと上方向に引き抜きます。**

上方向に用紙を引き抜けない場合は、無理に引き抜かずに以下のページの手順に従って取り除いてください。

本書 352 ページ「内部で用紙が詰まった場合は」

注意

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。破れた紙片がプリンタ内に残ると故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

3 **排紙カバーを閉じます。**

4 **前カバーをゆっくり開閉します。**

プリンタ本体にある前カバー両側のくぼみに指をかけて前カバーを開け、すぐにしっかり閉めてください。前カバーの開閉でエラー状態を解除します。

前カバーが閉まると、正常に印刷排紙できなかったページから自動的に再度印刷されます。

参 考	用紙を取り除いてもエラーは解除されません。前カバーを必ず一度開閉してエラーを解除してください。

印刷品質に関するトラブル

ETカートリッジおよび感光体ユニットは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正ETカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。ETカートリッジおよび感光体ユニットは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるETカートリッジおよび感光体ユニットの当社純正品については、以下のページを参照してください。

本書281ページ「ETカートリッジ」
本書282ページ「感光体ユニット」

きれいに印刷できない

［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：本書25ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書139ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書199ページ「［印刷設定］ダイアログ」

印刷品質（解像度）が［きれい］（600dpi）または［1200dpi］に設定されていますか？

印刷品質（解像度）を［きれい］（600dpi）または［1200dpi］に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、メモリを増設してください。

Windows：本書21ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書135ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書199ページ「［印刷設定］ダイアログ」/203ページ「［カラー/グラフィック設定］ダイアログ」

Macintoshで、文字とグラフィックスデータが重なった印刷データを印刷していませんか？

文字とグラフィックスを重ねていて問題がある場合は、印刷モードを［CRT優先］*に設定して印刷してください。

Mac OS 8/9：本書139ページ「［詳細設定］ダイアログ」

* Mac OS（8.6-9.x）でのみ設定できます。Mac OS X（10.2.x）では設定できません。

Macintosh で PGI 機能を使用する際に、[画質] が [速度優先] に設定されていませんか？

[PGI] の [画質] を [品質優先] に設定します。

☞ Mac OS 8/9：本書 139 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 203 ページ「[カラー / グラフィック設定] ダイアログ」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 25 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 139 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 199 ページ「[印刷設定] ダイアログ」

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

☞ 本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows：本書 25 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 139 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 199 ページ「[印刷設定] ダイアログ」

プリンタドライバの [明暗（調整）] の設定を確認してください。

[グラフィック] の明暗設定を調整してください。

☞ Windows：本書 25 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 139 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 203 ページ「[カラー / グラフィック設定] ダイアログ」

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してみてください。

☞ Windows：本書 53 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS 8/9：本書 142 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Mac OS X：本書 202 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

印刷が薄いまたはかすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定は適切ですか?
印刷濃度を調整してください。
Windows:本書 53 ページ「[拡張設定]ダイアログ」
Mac OS 8/9:本書 142 ページ「[拡張設定]ダイアログ」
Mac OS X:本書 202 ページ「[拡張設定]ダイアログ」

ET カートリッジ(または感光体ユニット)が劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジ(または感光体ユニット)に交換してください。
本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

ET カートリッジにトナーが残っていますか?
トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。
Windows:本書 65 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS 8/9:本書 169 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS X:本書 211 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」

感光体ユニットは使用できますか?
感光体ユニットのライフ(寿命)を確認して、新しい感光体ユニットに交換してください。
Windows:本書 65 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS 8/9:本書 169 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS X:本書 211 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか?
トナーセーブ機能を解除してください。
Windows:本書 25 ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Mac OS 8/9:本書 139 ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Mac OS X:本書 199 ページ「[印刷設定]ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 21 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書 199 ページ「［印刷設定］ダイアログ」

1200dpi 印刷で極細線が薄い、または印刷されない

［ドット補正］をしていますか？

1200dpi 印刷時に極細線（1 ドット相当の細い線）が薄く印刷されたり、とぎれてしまったり、または印刷されないときは、プリンタドライバまたはユーティリティで［ドット補正］をオンに設定して印刷してください。

Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 176 ページ「［設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」

ただし、グラフィック画像を伴うデータの場合、ドット補正をすると、グラフィック画像に影響が出ることがあります。このような場合は、［ドット補正］をオフに設定し、アプリケーションソフト側で極細線を太い線に変更してから印刷してください。

> **参考**
> ［印刷モード］が［標準（PC）］（Windows）/［CRT 優先］（Mac OS 8/9*）のときは、［ドット補正］は有効になりません。
> * Mac OS（8.6-9.x）でのみ設定できます。Mac OS X（10.2.x）では設定できません。

1200dpi 印刷で薄い色や特定のパターンが印刷されない

別の色やパターンにできますか？

印刷されない薄い色を別の色（濃い色）に変更して印刷してみてください。印刷されないパターンの塗りつぶしパターンを変更して印刷してみてください。

黒点が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 230 ページ「印刷できる用紙の種類」

ETカートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しいETカートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。
本書298ページ「ETカートリッジの交換」
本書306ページ「感光体ユニットの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の用紙経路が汚れていませんか？
用紙を数枚印刷してください。

ETカートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいETカートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。
本書298ページ「ETカートリッジの交換」
本書306ページ「感光体ユニットの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。
本書230ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
Windows：本書21ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書135ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書199ページ「［印刷設定］ダイアログ」

黒い部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。
本書230ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

用紙全体が黒く印刷されてしまう

ET カートリッジ（または感光体ユニット）は正しくセットされていますか？
ET カートリッジ（または感光体ユニット）を正しくセットし直してください。
☞ 本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。
☞ 本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

黒線が印刷される

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が損傷または劣化している可能性があります。
新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。
☞ 本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

何も印刷されない

ET カートリッジ（または感光体ユニット）は正しくセットされていますか？
ET カートリッジ（または感光体ユニット）を正しくセットしてください。
☞ 本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

プリンタ内で用紙が詰まっている可能性があります。
プリンタ内部 / 排紙部での用紙詰まりがないか確認してください。
☞ 本書 352 ページ「内部で用紙が詰まった場合は」
☞ 本書 357 ページ「排紙部で用紙が詰まった場合は」

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていますか？または、感光体ユニットは使用できますか？

ET カートリッジのトナー残量や感光体ユニットのライフ（寿命）を確認して、新しい ET カートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

Windows：本書 65 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS 8/9：本書 169 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS X：本書 211 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」
本書 306 ページ「感光体ユニットの交換」

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

適切な用紙を使用してください。

本書 230 ページ「印刷できる用紙の種類」

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してください。

Windows：本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 202 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 21 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」
Mac OS X：本書 199 ページ「［印刷設定］ダイアログ」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？

用紙を数枚印刷してください。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 110 ページ「印刷の中止方法」
☞ Mac OS 8/9：本書 183 ページ「印刷の中止方法」
☞ Mac OS X：本書 224 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

Windows の場合

［拡張設定］ダイアログの［TrueType フォント］設定［TrueType フォントでそのまま印刷］をクリックします。

☞ 本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

Mac OS 8/9* の場合

［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログにある［プリンタフォント使用］の［漢字］/［欧文］をクリックしてチェックを外します。

☞ 本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ 本書 139 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

* Mac OS 8.6-9.x でのみ設定できます。Mac OS X 10.2 以降では設定できません。

画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード（JISX0208-1990）を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。

プログラムを組む際に、コントロールコードが間違っていませんか？

ESC/P または ESC/Page のコントロールコードでプログラムしてください。ESC/P では、先頭行に［ESC@］のコードを入れてください。

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

Windows：本書 21 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 132 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 192 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

参考

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。なお、Mac OS X の場合は、印刷の縮小率（%）を指定して印刷してください。

Windows：本書 30 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」
Mac OS 8/9：本書 146 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」
Mac OS X：192 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

Windows：本書 21 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 132 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 192 ページ「［ページ設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで印刷開始位置のオフセットを調整してください。

Windows：本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 142 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 202 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで、お使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、お使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定してください。

エプソン PC シリーズ、NECPC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフトとプリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

楕円のような模様が印刷される

トナー残量が残り少ない可能性があります。

トナー残量が少ないと楕円のような模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

Windows：本書 65 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS 8/9：本書 169 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Mac OS X：本書 211 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
本書 298 ページ「ET カートリッジの交換」

ハーフトーンの印刷が画面と異なる

［PGI］機能を使用していませんか？

アプリケーションソフトが独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。［PGI］機能を使用しないで印刷してください。

Windows：本書 25 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 139 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 203 ページ「［カラー / グラフィック設定］ダイアログ」

外字データまたはフォーマットデータが印刷できない

I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？

DOS で本機をお使いの場合、I/F タイムアウトが短いと正しく印刷できない場合があります。Windows のプリンタドライバや Macintosh の EPSON リモートパネル！からプリンタの［I/F タイムアウト］を長く設定してください。

Windows：本書 48 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 176 ページ「［設定］ダイアログ」
Mac OS X：本書 219 ページ「［設定］ダイアログ」

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP プレインストールマシンまたは Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

本書 387 ページ「Windows システム条件」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

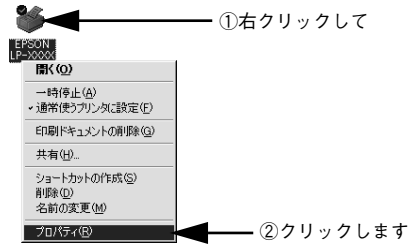
1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows XP の場合**

   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③［プリンタと FAX］をクリックします。

   - **Windows 98/Me/2000 の場合**

   ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 LP-2500 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

＜例＞ Windows 98 の場合

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷先のポート］/［印刷するポート］を確認します。

- **Windows 2000/XP の場合**

① ［ポート］タブをクリックします。

② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

- **Windows 98/Me の場合**

① ［詳細］タブをクリックします。

② ［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-2500)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

＜例＞ Windows 98 の場合

①クリックして

②確認します

EPSON LP-XXXXのプロパティ

詳細 | 共有 | 基本設定 | レイアウト | ページ装飾 | 環境設定 | ユーティリティ

EPSON LP-XXXX

印刷先のポート(P):

EPUSB1: (EPSON LP-XXXX)

ポートの追加(T)... ポートの削除(D)...

印刷に使用するドライバ(U):

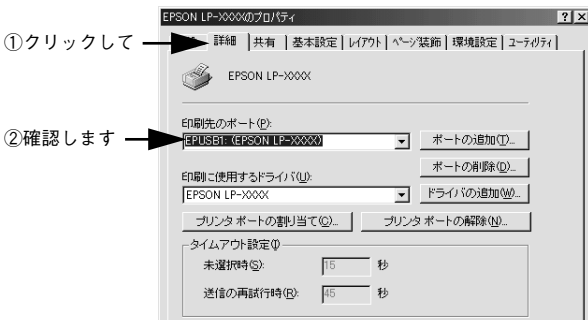
EPSON LP-XXXX

ドライバの追加(W)...

プリンタ ポートの割り当て(C)... プリンタ ポートの解除(N)...

タイムアウト設定(I)

未選択時(S): 15 秒

送信の再試行時(R): 45 秒

参考

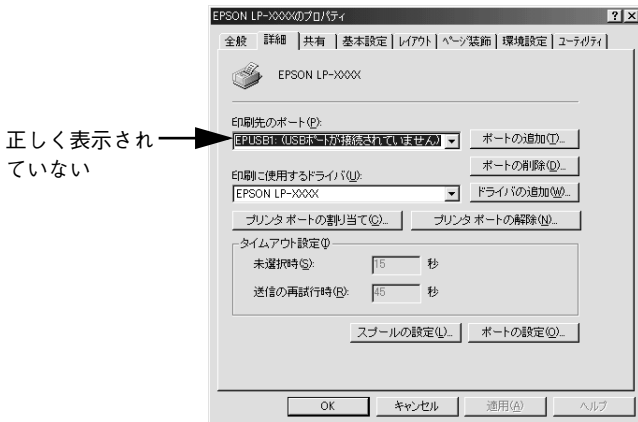
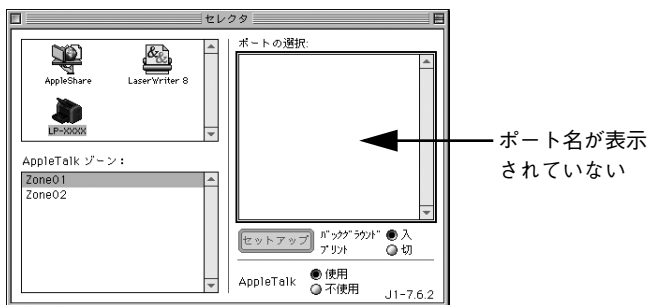
- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは､USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
本書 112 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

使用するプリンタ名が印刷先のポートに表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windowsの場合

＜例＞ Windows 98 の場合

Mac OS 8/9の場合

Mac OS Xの場合

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？

Windows の [デバイスマネージャ] の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

参考

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueType フォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

Windows の場合

［拡張設定］ダイアログの［TrueType フォント］で［設定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックします。

☞ 本書 53 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

Mac OS 8/9* の場合

［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログにある［プリンタフォント使用］の［漢字］/［欧文］をクリックしてチェックを付けます

☞ 本書 135 ページ「［プリント］ダイアログ」
☞ 本書 139 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

* Mac OS（8.6-9.x）でのみ設定できます。Mac OS X（10.2.x）では設定できません。

Mac OS 8/9 をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Mac OS 8/9 をお使いの場合、［バックグラウンドプリント］を［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、［バックグラウンドプリント］を［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。［バックグラウンドプリント］を［切］に設定して印刷してください。

☞ 本書 181 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

アプリケーションソフトの部単位印刷を指定していませんか？

アプリケーションソフトで部単位印刷の指定を行わないで、プリンタドライバで部単位印刷を指定してください。

Windows：本書 21 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Windows：本書 29 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 135 ページ「[プリント] ダイアログ」
Mac OS 8/9：本書 144 ページ「[レイアウト] ダイアログ」
Mac OS X：本書 196 ページ「[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ」
Mac OS X：本書 197 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

プログラムリスト / ハードコピーがとれない

エプソン PC シリーズ、NECPC-9800 シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

- エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
- NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

ステータスシートを印刷します。
［ステータスシート］ボタンを押して印刷を実行します。

印刷できる	印刷できない

プリンタ本体に問題はありません。 **プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？（DOS を除く）**		プリンタ本体のトラブルです。 **保守契約をされていますか？**	
できる	できない	している	していない
エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。	• ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。 • ネットワーク接続している場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。	保守契約店にご相談ください。	以下のページをご覧ください。 本書 385 ページ「保守サービスのご案内」 ご相談先は「製品ガイド」の巻末に記載されています。

参考　お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

DOS 環境でお使いのお客様へ

本機を DOS アプリケーションソフトで使用する場合、プリンタドライバをインストールする必要はありません。

プリンタ機種名の選択

DOS アプリケーションソフトの場合、お使いのアプリケーションソフト上でプリンタの機種名を選択することにより、そのプリンタが使用可能になります。設定項目の名称や設定方法は、ご使用のアプリケーションソフトによっても異なりますが、多くの場合［プリンタ名の選択・設定］、［プリンタ設定］などの項目でプリンタ名を指定するようになっています。詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考 不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本機の機能を 100%利用できない場合があります。また、プリンタの初期設定（購入時の設定のまま）で正しく印刷される場合に限り DOS 環境からの印刷が可能です。

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

1. **DOS アプリケーションソフトを起動します。**

2. **DOS アプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。**

   使用している DOS アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して実行してください。

3. **お使いのプリンタの機種名を選択します。**

   お使いのプリンタの機種名がない場合は、次の優先順位で機種名を指定します。

1	LP-2400/2200/8600FX/8600F/8400FX/8400F/8300F/8700/8100/9400/8900/7700
2	LP-9600S/9600/9300/9200SX/9200S/9200
3	LP-8600/8400/8300S/8300/8200
4	LP-9000
5	LP-1900/1800/1700S/1700/800
6	LP-1600
7	LP-8000/8000S/8000SE/8000SX
8	LP-8500
9	ESC/Page
10	LP-1500/1500S/2000/3000
11	LP-7000/7000G

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版アプリケーションソフトを使用する場合は、次の優先順位でプリンタ名を選択します

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

参考

- 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、本機での印刷はできません。
- アプリケーションソフトに関するお問い合わせはアプリケーションソフトの販売元または開発元にお問い合わせください。

印刷の手順

1 レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズや向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや向きや給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。

- 印刷前に必ず設定する項目：給紙方法、用紙サイズ、用紙方向
- 必要に応じて設定する項目：コピー枚数、縮小、解像度

3 印刷を実行します。

アプリケーションソフトから印刷を実行します。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSONの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 *1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」IDとパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせは「製品ガイド」巻末の一覧をご覧ください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

参考　各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、「製品ガイド」の巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮*1 ファイルとなっていますので､次の手順でファイルをダウンロードし､解凍*2してからインストールしてください。

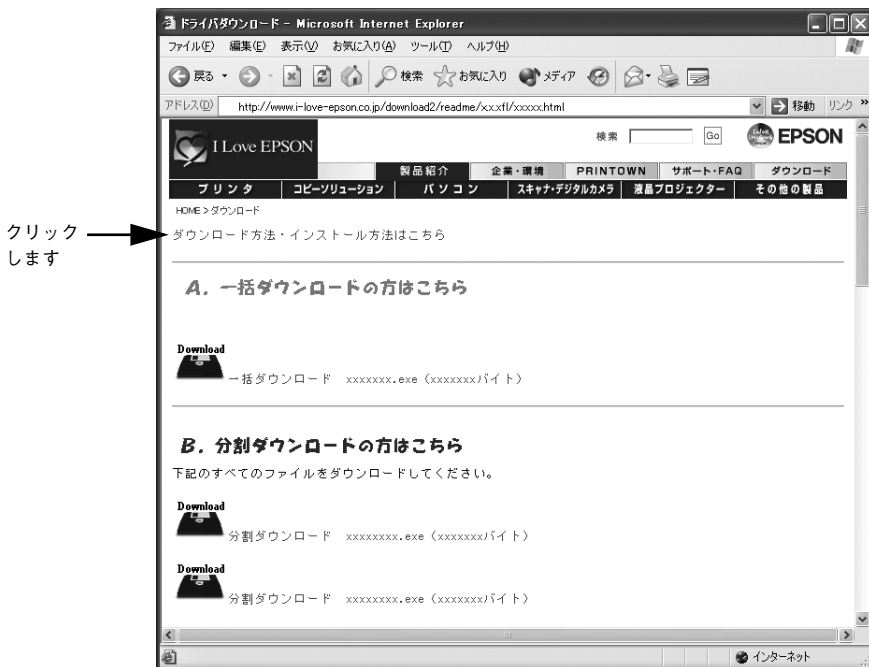
*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

> **参考**
> インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。
> Windows：本書 112 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
> Mac OS 8/9：本書 184 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
> Mac OS X：本書 226 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1 ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。

2 プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに以下のページをまずお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

本書 321 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがございます。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造停止後6年間です。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
  （「製品ガイド」巻末の一覧表をご覧ください）
  受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間：9:00 ～ 17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、以下の保守サービスを用意しております。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	● 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ● 修理のつど発生する修理代・部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。 ● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	● 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 ● 修理のつど発生する修理代・部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。 ● 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 * 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	有償 （出張料のみ）	出張料+技術料+部品代 修理完了後そのつどお支払いください
持込 / 送付修理		● 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料+技術料+部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドアサービス		● 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ● 保証期間外の場合は、ドアto ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア toドアサービス料金のみ）	有償 （ドアto ドアサービス料金 + 修理代）

仕様

Windows システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2003 年 7 月現在）。

対象 OS*	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Server 2003
空きハードディスク	50MB 以上

* 各 OS の「必要システム」条件を満たしていること。

参考

- 本機を USB 接続で使用する場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。
  - USBに対応していて、コンピュータメーカーにより USBポートの動作が保証されているコンピュータ
  - Windows 98/Me/2000/XPがプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP がインストールされているコンピュータ）または Windows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
- OS に登録するコンピュータ名は、次の点に注意して必ず設定してください。
  - OS が禁止している文字をコンピュータ名に使用しないでください。
  - プリンタを共有（またはネットワーク接続）している場合、固有のコンピュータ名にしてください。
- Windows XP のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

  * 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能
- EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp
- Microsoft Windows Server 2003 をご利用のお客様は、エプソン販売（株）のホームページより最新情報を入手してからお使いください。

  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support

EPSON プリンタウィンドウ !3 の Windows 動作環境（対象機種）

- DOS/V 仕様機（双方向通信機能 *1 のある機種）*2
- NEC PC-9821シリーズ（双方向通信機能 *1 のある機種）*3

*1 ローカル接続でご利用の場合は、お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが双方向通信機能に対応しているかをコンピュータメーカーにお問い合わせください。

*2 パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は、「PRCB4N」を使用してください。

*3 パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は「PRCB5N」を使用してください

参考

- お使いのコンピュータの機種により、プリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。
- ネットワーク環境（NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時など）によっては、ネットワークプリンタの監視はできません。
- NEC のPC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0 でのローカルプリンタの監視はできません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

Macintosh システム条件

プリンタソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は下記の通りです（2003 年 7 月現在）。

コンピュータ		Power PC 搭載機種
接続方法	USB 接続	下記オプションケーブルをプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）
	AppleTalk 接続	下記オプションインターフェイスカードをプリンタに取り付けて使用します。 • Ethernet I/F カード（型番：PRIFNW3S）
システム		• Mac OS 8.6-9.x QuickTime Ver. 3.0 以上 Open Transport Ver. 1.1.1 以上 ただし、QuickDraw GX には対応していません（下記注意を参照ください）。 • Mac OS X 10.2 以降
印刷時の空きメモリ（RAM）容量		8MB 以上（32MB 以上を推奨）

注意

Mac OS 8/9 の QuickDraw GX で本製品を使用することはできません。以下の手順で QuickDraw GX を使用停止にしてください。

①caps lock キーを解除しておきます。

②スペースキーを押したまま Macintosh を起動します（機能拡張マネージャが開きます）。

③QuickDraw GX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします（チェック印のない状態になります）。

④機能拡張マネージャを閉じます。

参考

- Mac OS X 10.2 以降でのご利用においては、OS またはプリンタドライバの制限事項により使用できない機能があります。制限事項の詳細については、以下のホームページにてご確認ください。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp/support
- OS に登録するコンピュータ名は、次の点に注意して必ず設定してください。
  - OS が禁止している文字をコンピュータ名に使用しないでください。
  - プリンタを共有（またはネットワーク接続）している場合、固有のコンピュータ名にしてください。
- 本機を接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、ネットワーク上のほかの Macintosh から本機を共有することができます。設定については「ユーザーズガイド」（PDF）を参照してください。
- EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
  アドレス：http://www.i-love-epson.co.jp

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分電子写真方式
解像度	300dpi/600dpi/1200dpi dpi：25.4mm（1 インチ）あたりのドット数 （Dots Per Inch）
プリント速度 （標準用紙トレイ）	300/600dpi　：20.0PPM（A4） 1200dpi　：10.0PPM（A4） PPM ＝枚 / 分（Pages Per Minute）
ウォームアップ時間	21 秒以下（室温23 度、定格電圧にて）
ファーストプリント	用紙トレイ　：13 秒（A4） 用紙カセット（オプション）　：16 秒（A4）
稼働音	稼働時　：約 54dB（A） 待機時　：約 39dB（A） 節電時　：約 30dB（A）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990 準拠
書体	欧文 ローマン、サンセリフ Windows 対応TrueType 互換 14 書体 • Times New Roman（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Arial（Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Courier （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Symbol • Wingdings 和文 • 明朝、ゴシック

用紙仕様

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

用紙種類	普通紙 • 60 ～ 90g/m² • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド 特殊紙 • ラベル紙、官製ハガキ、官製往復ハガキ、封筒、OHP シート、厚紙（90 ～ 163g/m²）、不定形紙
排紙容量	フェイスダウントレイ　：最大 100 枚（普通紙 64g/m²）

給紙装置と用紙（種類、容量、サイズ）

給紙装置		用紙種類	容量 *1	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
標準	用紙トレイ	普通紙	300 枚 *2	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、F4、不定形紙
		厚紙	10 枚 *3	
		ラベル紙	10 枚	A4、Letter（LT）
		OHP シート	5 枚	
		封筒	10 枚	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 3 号
		官製ハガキ	50 枚 *4	100mm × 148mm
		官製往復ハガキ		148mm × 200mm
	手差しガイド	普通紙	1 枚	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、F4、不定形紙
		厚紙		
		ラベル紙		
		OHP シート		
		封筒		洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 3 号
		官製ハガキ		100mm × 148mm
		官製往復ハガキ		148mm × 200mm
オプション	増設 1 段カセットユニット（LPA4Z1CU1）	普通紙	500 枚 *2	A4

*1 用紙トレイまたは用紙カセットにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 64g/m^2 の場合です。

*3 90 ～ 163g/m^2 の場合です。

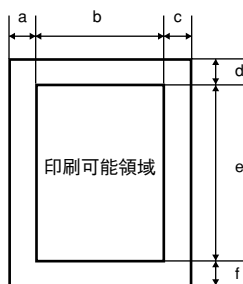
*4 190g/m^2 の場合です。官製四面連刷ハガキは使用できません。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			用紙トレイ / 手差しガイド	用紙カセット*1	用紙セット方向
A4		210 × 297mm	○	○	縦長
A5		148 × 210mm	○	×	縦長
B5		182 × 257mm	○	×	縦長
Letter（LT）		8.5 × 11 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	×	縦長
Half-Letter（HLT）		5.5 × 8.5インチ（139.7 × 215.9mm）	○	×	縦長
Legal（LGL）		8.5 × 14 インチ（215.9 × 355.6mm）	○	×	縦長
Executive（EXE）		7.25 × 10.5インチ（184.15 × 266.7mm）	○	×	縦長
Government Legal（GLG）		8.5 × 13 インチ（215.9 × 330.2mm）	○	×	縦長
Government Letter（GLT）		8 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	×	縦長
F4		210 × 330mm	○	×	縦長
不定形紙		用紙幅 76 ～216mm 用紙長 127 ～ 356mm	○*2	×	登録した用紙サイズの向き
官製ハガキ		100 × 148mm	○	×	縦長
官製往復ハガキ		148 × 200mm	○	×	縦長
封筒	洋形 0 号	120 × 235mm	○	×	縦長*3
	洋形 4 号	105 × 235mm	○	×	縦長*3
	洋形 6 号	98 × 190mm	○	×	縦長*3
	長形 3 号	120 × 235mm	○	×	縦長*3
	長形 4 号	90 × 205mm	○	×	縦長*3
	角形 3 号	216 × 277mm	○	×	縦長*3

○：使用可能
×：使用不可能
*1 オプションの増設 1 段カセットユニット（LPA4Z1CU1）に装着する用紙カセットから給紙できる用紙サイズを表します。
*2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。
*3 封筒のセット方法は、封筒によって異なります。
本書245 ページ「封筒への印刷」

印刷可能領域

用紙の各端面から5mm を除く領域に印刷可能

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
官製往復ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
封筒	洋形０号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形４号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形６号	120	2074	120	120	4248	120
	長形３号	120	2594	120	120	5310	120
	長形４号	120	1886	120	120	4602	120
	角形３号	120	4862	120	120	6304	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1560	120	120	2760	120
最大サイズ	120	4863	120	120	8160	120

参考 アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%		
定格電流	9.2A		
周波数	50-60Hz ± 3Hz（国内向）		
消費電力	最大	:	900W
	印刷時平均	:	376Wh
	待機時平均	:	47Wh（ヒータオン時）
	低電力モード時	:	6Wh（ヒータオフ時）
	電源オフ時	:	0Wh

環境使用条件

動作時	温度	:	10 ～ 35 度
	湿度	:	15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	:	76.0 ～ 101.0kpa（2500m 以下）
	水平度	:	傾き 1 度以下
	照度	:	3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	:	上方 300mm、左側方 100mm、右側方 100mm、 前方 300mm、後方 150mm（表記寸法以上を保つこと）
保存・輸送時	温度	:	0 ～ 35 度
	湿度	:	30 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

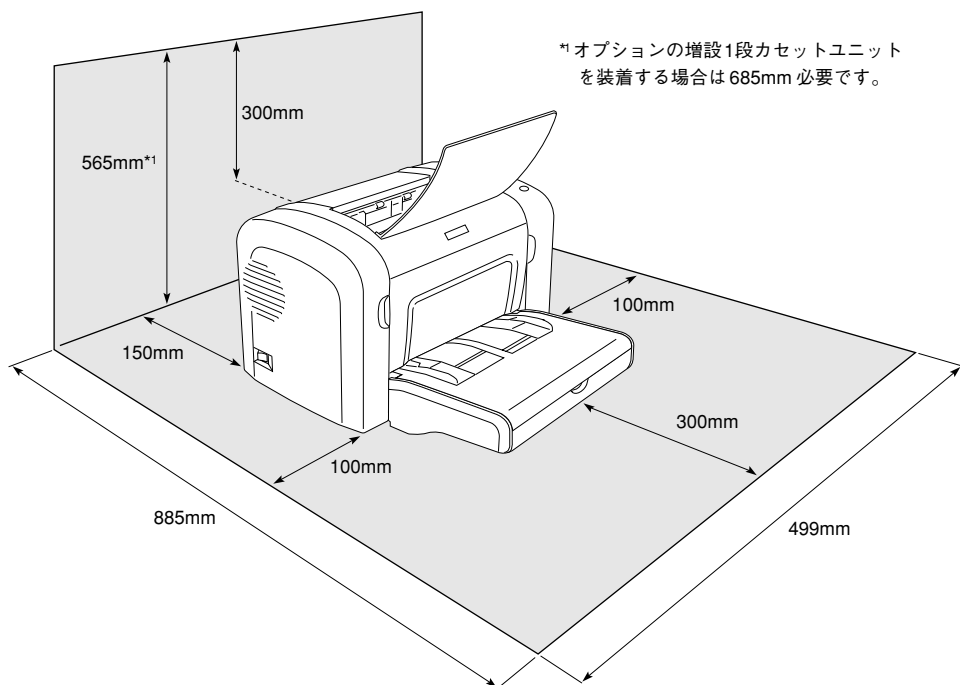
RAM	標準	:	16MB
	オプション増設時	:	最大 144MB（1 ソケット）
インターフェイス	標準	:	パラレル IEEE1284 準拠双方向（ECP モード、ニブルモード） USB 1.1 準拠
	オプション	:	Type B I/F（1 スロット）
内蔵モード	標準	:	ESC/Page モード（双方向機能） ESC/P モード（VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別）
	その他	:	EJL モード（双方向機能）

外形仕様（小数点以下四捨五入）

品名	幅	奥行き	高さ	重量
プリンタ（排紙トレイ未使用時）	407mm	436mm*1	261mm	7kg*2
プリンタ（排紙トレイ使用時）			372mm	
増設 1 段カセットユニット（LPA4Z1CU1）	401mm	438mm	119mm	4kg

*1 用紙トレイを装着した状態
*2 消耗品、オプション類は含まない状態

設置スペース（小数点以下四捨五入）

以下のスペースを確保してください。

パネル操作

機能	操作方法
感光体ライフリセット	［印刷可］スイッチと［ステータスシート］スイッチを押したままプリンタの電源をオンにし、印刷可ランプとエラーランプが点灯したらスイッチから指を離します。
16 進ダンプ	［印刷可］スイッチを押したままプリンタの電源オンにし、印刷可ランプとエラーランプが点灯したらスイッチから指を離します。通常の印刷モードに戻るには、電源をオフにして、しばらく時間がたってから電源をオンにします。

環境基本仕様

消費電力	最大	900W
	電源オフ時	0W
省資源機能	割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
回収リサイクル体制	使用済み ET カートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの ET カートリッジの回収にご協力ください。使用済みET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 本書385 ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造停止後 6 年	
消耗品の最低保有期間	製品の製造停止後 6 年	

索引

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

ふ

へ

改訂履歴

Version	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0158_00	全て	新規制定	